

令和4年度
秋田県学習状況調査

調査結果報告書

令和5年3月

秋田県教育委員会

ま え が き

県教育委員会では、令和4年11月下旬から12月上旬にかけて、小学校第4学年から中学校第2学年までの全ての児童生徒を対象として秋田県学習状況調査を実施しました。今年度の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症による影響が収束してきたとはいえ、予断を許さない状況の中、県内各市町村教育委員会及び各学校の御協力により、円滑に調査を実施することができました。

本調査のねらいは、県として、①学習指導要領の内容等の定着の程度を把握すること、②少数学習の成果や課題を捉えること、そして、各学校において、③児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導の工夫改善を図ること、④全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用した学習指導における検証改善サイクルを確立することなどにより、本県の教員の学習指導の改善・充実や児童生徒の学力向上に役立てるところにあります。

本調査は、「教科に関する調査」と「学習の意欲等に関する質問紙調査」で構成しています。教科に関する調査の特色として、県の課題の改善状況を明らかにするための複数学年にわたる共通問題や、本県で重視している“「問い」を発する子ども”を育成するための基盤づくりに資する問題、高校入試と関連した問題等を出題しました。また、学習の意欲等に関する質問紙調査では、国のGIGAスクール構想により各学校に整備された1人1台端末の活用状況に係る質問項目をはじめ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況に係る質問項目など、全国学力・学習状況調査等の質問項目と対応させることにより、各学校が自校の児童生徒の学習に対する意識等を的確に捉え、学習指導の一層の改善・充実に役立てることができるようにしました。

各学校においては、児童生徒に求められている資質・能力を育成するため、これまでの実践とICTとを最適に組み合わせながら、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させていくことが一層大切になります。今年度の全国学力・学習状況調査及び本調査の質問紙調査の結果からは、授業におけるICT活用の推進が図られている様子や、児童生徒が主体的・対話的な学びを通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている様子がうかがえました。このことは、各学校が諸調査等を自校の検証改善サイクルの中に位置付けて、成果と課題を分析することによる授業改善の取組を継続的に行ってきたことや、「秋田の探究型授業」の基本プロセスを基盤にICTの効果的な活用に資する取組を推進しながら、問題を発見し、解決していく力等の育成を図る教育活動を展開してきたことの表れと捉えております。

この度、令和4年度の本調査の結果に基づき、全県的な学習状況や今後の授業改善のポイント等を報告書としてまとめました。各学校や市町村教育委員会においては、この報告書及び調査問題を日常の学習指導や教育への取組の改善・充実に積極的に活用していただきたいと考えております。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました県内全ての市町村教育委員会、各学校の皆様にご心から御礼申し上げます。

令和5年3月

秋田県教育委員会

目 次

1	調査の概要	-----	3
2	調査の特徴、用語等	-----	4
3	調査結果の概要	-----	5
	(1) 教科に関する調査の結果		
	① 設定通過率との比較	-----	5
	② 各教科の観点別の設定通過率との比較	-----	6
	③ 類似問題との比較	-----	7
	④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較	-----	8
	(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果		
	① 学習全般についての結果概要	-----	13
	② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要	-----	13
	③ 学習全般について	-----	14
	④ 生活全般について	-----	16
	⑤ 家庭学習について	-----	19
	⑥ 授業について	-----	20
	⑦ ICT活用の状況について	-----	22
	⑧ 各教科等の学習に対する意識について	-----	23
	⑨ 読書について	-----	32
4	結果と考察	-----	33
本章は、各学年とも、「評価規準と評価の観点」「小問別通過率と設定通過率」「小問別反応率、小問別通過率度数分布表」「調査結果の考察」で構成されています。			
	(1) 国語		
	・小学校第4学年	-----	34
	・小学校第5学年	-----	38
	・小学校第6学年	-----	42
	・中学校第1学年	-----	46
	・中学校第2学年	-----	50
	(2) 社会		
	・小学校第5学年	-----	54
	・小学校第6学年	-----	58
	・中学校第1学年	-----	62
	・中学校第2学年	-----	66
	(3) 算数、数学		
	・小学校第4学年	-----	70
	・小学校第5学年	-----	74
	・小学校第6学年	-----	78
	・中学校第1学年	-----	82
	・中学校第2学年	-----	86
	(4) 理科		
	・小学校第4学年	-----	90
	・小学校第5学年	-----	94
	・小学校第6学年	-----	98
	・中学校第1学年	-----	102
	・中学校第2学年	-----	106
	(5) 英語		
	・中学校第1学年	-----	110
	・中学校第2学年	-----	114

令和4年度
秋田県学習状況調査

- 1 調査の概要
- 2 調査の特徴、用語等
- 3 調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査、本調査及び高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査対象学年、実施教科等、調査参加児童生徒数

※本報告書において、「小・中学校」は義務教育学校、「小学校」は義務教育学校の前期課程、「中学校」は義務教育学校の後期課程をそれぞれ含んでいる。

(人)

校種・学年 実施教科等	小 学 校			中 学 校	
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年
国 語	6,095	6,278	6,428	6,368	6,343
社 会		6,276	6,425	6,373	6,336
算数・数学	6,096	6,276	6,425	6,378	6,346
理 科	6,094	6,278	6,427	6,378	6,333
英 語				6,376	6,337
学習の意欲等に関する アンケート	6,089	6,281	6,415	6,405	6,363
参 加 者	6,096	6,281	6,428	6,405	6,363
小・中ごとの参加者計	18,805			12,768	
参加者合計	31,573				

(3) 出題内容

① 基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質・能力の定着度、指導上の問題点を明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、「ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目」について出題する。

② 出題の範囲

調査対象学年の児童生徒が、前学年の後半で履修した教科の内容及び当該学年の前半で履修した教科の内容を基本とする。

ただし、これまで明らかになった課題の改善状況を把握するため、それ以前の学年で履修した内容を含む場合もある。

(4) 調査実施日

小学校 令和4年12月 1日(木)

中学校 令和4年11月30日(水)

2 調査の特徴、用語等

(1) 特徴

- ① 評価規準の設定
 - ・観点別評価の実施
 - ・調査する基礎・基本の明確化
- ② 設定通過率の設定
 - ・県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定
- ③ 教科に関する調査と学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握
 - ・多面的な学力の把握
- ④ 過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較
 - ・学力の経年変化の把握
- ⑤ 複数学年にわたる共通問題
 - ・身に付けておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容の定着度の把握
 - ・前年度までの調査において課題が見られた問題についての改善状況の把握
- ⑥ 思考力、判断力、表現力等に関する問題
 - ・本県児童生徒の学習状況における課題等の改善に資する問題
 - ・“「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題
- ⑦ 秋田県公立高等学校における学力検査の現状分析に基づいた問題
 - ・改善状況の把握
- ⑧ 調査結果の活用の工夫
 - ・各学校における結果分析に基づいた指導の改善
 - ・報告書の作成

(2) 用語

- ① 通過率
 - ・各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合
(各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%)
- ② 平均通過率
 - ・全問題の通過率の平均
- ③ 設定通過率
 - ・問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足できる状況」とするかをあらかじめ定めた値（分析する上での参考値として示している）
- ④ 正答数別度数分布
 - ・正答数ごとの児童生徒数の度数分布を示したグラフ
- ⑤ 小問別通過率度数分布表
 - ・各小問における通過率ごとの学校数を示した表

(3) データ処理の方法

採点、データ入力・集約

- ・本調査は、各校において採点を行い、その結果を学習状況調査集計・分析システムに登録することにより、全県データを集約している。
- ・各学校の教科に関する調査及び学習への意欲等に関する質問紙調査の結果は、学習状況調査集計・分析システムの登録状況を閲覧することにより、自校の結果と全県データを比較することができる。

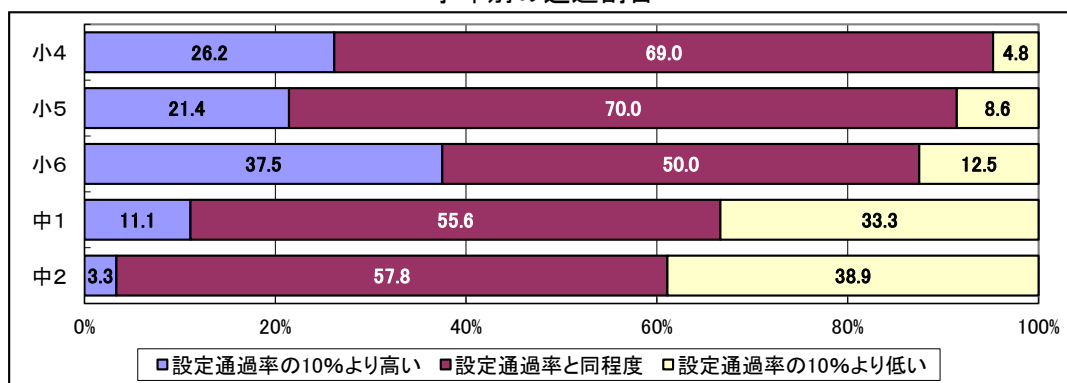
3 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査の結果

① 設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）を学年別に見ると、小学校第4学年が95.2%、小学校第5学年が91.4%、小学校第6学年が87.5%、中学校第1学年が66.7%、中学校第2学年が61.1%であった。昨年度に比べて、小学校は全ての学年で高くなっており、特に第4学年は9.5ポイント高くなっている。一方、中学校第2学年は2.9ポイント低くなっている。
- ・平均通過率が設定通過率の平均を上回っている学年・教科は、小学校では第4学年国語、理科、第5学年国語、理科、第6学年国語、理科、中学校では第1学年国語、第2学年国語であった。一方、10ポイント以上下回っている学年・教科は、中学校の第1学年数学、英語、第2学年社会、数学、理科、英語であった。

学年別の通過割合



学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

校種	教科	学年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
小学校	国語	第4学年	79.6	71.7	7.9	91.7%
		第5学年	79.7	70.6	9.1	93.8%
		第6学年	84.5	72.8	11.7	100.0%
	社会	第5学年	63.6	70.0	-6.4	94.4%
		第6学年	68.1	70.0	-1.9	77.8%
	算数	第4学年	68.8	72.2	-3.4	94.4%
		第5学年	68.4	71.1	-2.7	83.3%
		第6学年	70.2	70.8	-0.6	83.3%
	理科	第4学年	77.8	73.3	4.5	100.0%
第5学年		79.8	74.4	5.4	94.4%	
第6学年		77.9	73.6	4.3	88.9%	
中学校	国語	第1学年	72.3	71.7	0.6	88.9%
		第2学年	73.0	71.1	1.9	88.9%
	社会	第1学年	61.9	70.0	-8.1	61.1%
		第2学年	50.7	70.0	-19.3	44.4%
	数学	第1学年	55.0	70.0	-15.0	50.0%
		第2学年	58.5	70.6	-12.1	61.1%
	理科	第1学年	65.9	70.3	-4.4	77.8%
		第2学年	53.3	70.3	-17.0	61.1%
英語	第1学年	54.9	70.0	-15.1	55.6%	
	第2学年	53.5	70.0	-16.5	50.0%	

※通過割合：全小問のうち、設定通過率と同程度（±10%の範囲内）及びそれを上回る（+10%より高い）の小問の割合

② 各教科の観点別の設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）が75%以上であるのは、小学校では国語、社会、算数、理科の全観点、中学校では国語の全観点であった。
- ・通過率が設定通過率を下回る問題が多く見られたのは、中学校の社会、英語の全観点、数学の「知識・技能」、理科の「思考・判断・表現」であった。

<小学校>

教科名	観点	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	知識・技能	24	15 (62.5%)	9 (37.5%)	0 (0.0%)
	思考・判断・表現	22	12 (54.5%)	8 (36.4%)	2 (9.1%)
社会	知識・技能	17	1 (5.9%)	15 (88.2%)	1 (5.9%)
	思考・判断・表現	19	4 (21.1%)	11 (57.9%)	4 (21.1%)
算数	知識・技能	36	5 (13.9%)	27 (75.0%)	4 (11.1%)
	思考・判断・表現	18	0 (0.0%)	15 (83.3%)	3 (16.7%)
理科	知識・技能	27	6 (22.2%)	18 (66.7%)	3 (11.1%)
	思考・判断・表現	21	10 (47.6%)	11 (52.4%)	0 (0.0%)

<中学校>

教科名	観点	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	知識・技能	19	4 (21.1%)	13 (68.4%)	2 (10.5%)
	思考・判断・表現	17	3 (17.6%)	12 (70.6%)	2 (11.8%)
社会	知識・技能	16	1 (6.3%)	7 (43.8%)	8 (50.0%)
	思考・判断・表現	20	1 (5.0%)	10 (50.0%)	9 (45.0%)
数学	知識・技能	22	0 (0.0%)	10 (45.5%)	12 (54.5%)
	思考・判断・表現	14	0 (0.0%)	10 (71.4%)	4 (28.6%)
理科	知識・技能	21	1 (4.8%)	14 (66.7%)	6 (28.6%)
	思考・判断・表現	15	1 (6.7%)	9 (60.0%)	5 (33.3%)
英語	知識・技能	19	2 (10.5%)	8 (42.1%)	9 (47.4%)
	思考・判断・表現	17	0 (0.0%)	9 (52.9%)	8 (47.1%)

③ 類似問題との比較

・類似問題において過去の通過率を上回った問題数は、小学校では86問中52問（60.5%）、中学校では88問中58問（65.9%）であった。

・学年・教科別に見ると、類似問題における過去の通過率を上回った問題数の割合が70%以上だったのは、小学校では第4学年の国語、第5学年の国語、算数、第6学年の理科であった。中学校では第1学年の国語、社会、数学、理科、第2学年の英語であった。
（図1参照）

・類似問題の通過率の平均を比較すると、算数・数学は全ての学年で過去の通過率の平均を上回っている。小学校第4学年の理科、第6学年の国語、中学校第1学年の社会、英語、第2学年の社会は下回っているものの、その差は-2ポイント以内である。
（図2参照）

図1 類似問題において過去の通過率を上回った問題数の割合

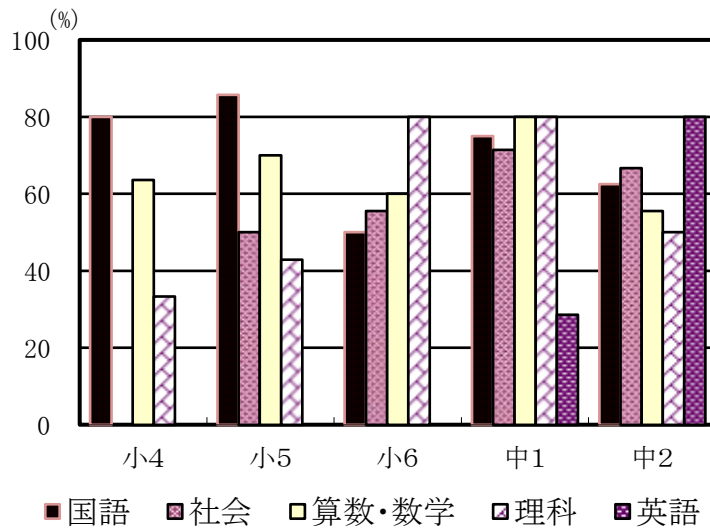
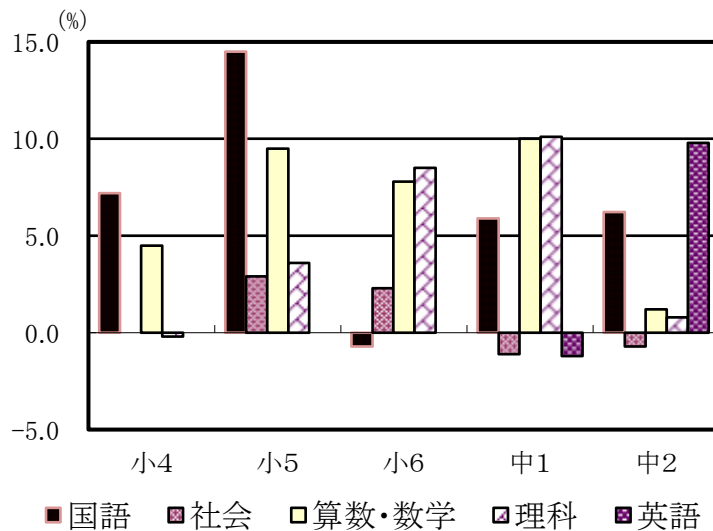


図2 類似問題において過去の通過率の平均を基準とした今年度の通過率の平均



④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

【国語】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

小4

番号	設定	通過率	類似
1)	80	93.6	
2)	80	88.6	
3)	80	91.2	
4)	80	91.3	
5)	70	69.4	69.2
6)	70	94.6	
7)	70	85.0	53.8
8)	70	67.4	58.7
9)	60	60.5	49.8
10)	70	95.1	
11)	60	46.7	
12)	70	72.1	87.1

設定通過率	71.7		
平均通過率		79.6	
類似問題		70.9	63.7

小5

番号	設定	通過率	類似
1)	80	96.3	
2)	80	99.6	
3)	70	83.5	
4)	70	84.8	
5)	80	73.7	71.2
6)	60	69.6	58.2
7)	80	96.4	
8)	60	52.1	
9)	70	87.6	64.7
10)	70	77.5	
11)	70	88.7	51.7
12)	70	91.5	
13)	70	81.1	64.1
14)	60	66.0	
15)	60	38.0	26.6
16)	80	88.0	88.3

設定通過率	70.6		
平均通過率		79.7	
類似問題		75.2	60.7

小6

番号	設定	通過率	類似
1)	80	96.7	
2)	80	83.3	
3)	70	87.4	
4)	70	85.2	
5)	60	53.7	
6)	80	92.6	88.6
7)	80	81.1	
8)	80	97.5	
9)	70	62.9	91.0
10)	70	90.5	67.1
11)	70	81.6	
12)	70	83.6	
13)	70	71.5	90.0
14)	80	96.3	95.6
15)	70	95.6	
16)	70	84.5	87.9
17)	60	87.3	70.7
18)	80	89.8	89.8

設定通過率	72.8		
平均通過率		84.5	
類似問題		84.4	85.1

○中学校

中1

番号	設定	通過率	類似
1)	80	98.0	
2)	80	70.5	
3)	70	64.1	
4)	70	69.3	
5)	80	77.0	92.1
6)	70	71.4	48.8
7)	70	57.3	61.0
8)	70	74.3	60.1
9)	70	79.0	
10)	70	96.4	
11)	80	93.2	82.9
12)	60	21.2	
13)	80	88.2	
14)	70	65.5	64.8
15)	60	52.3	35.2
16)	70	92.0	
17)	60	50.0	
18)	80	82.0	80.9

設定通過率	71.7		
平均通過率		72.3	
類似問題		71.6	65.7

中2

番号	設定	通過率	類似
1)	80	88.4	77.0
2)	60	39.3	63.9
3)	80	91.0	81.2
4)	70	73.1	
5)	70	74.6	
6)	70	75.4	
7)	70	84.8	
8)	70	51.0	
9)	80	85.2	
10)	70	63.9	50.7
11)	80	96.6	
12)	70	71.6	96.3
13)	70	74.1	15.2
14)	70	73.2	67.4
15)	70	79.4	
16)	60	59.0	
17)	60	52.9	
18)	80	80.5	80.5

設定通過率	71.1		
平均通過率		73.0	
類似問題		72.8	66.5

【社会】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

番号	設定	通過率	類似
1)	80	71.3	
2)	70	63.6	85.9
3)	75	67.7	79.5
4)	60	28.3	
5)	65	61.1	
6)	70	62.1	
7)	65	57.5	
8)	65	67.5	
9)	75	67.6	43.2
10)	75	67.0	64.3
11)	60	54.9	62.6
12)	80	72.4	
13)	70	60.6	73.4
14)	60	54.2	31.6
15)	80	77.1	
16)	75	88.0	59.9
17)	70	61.8	
18)	65	61.5	

番号	設定	通過率	類似
1)	85	77.3	
2)	80	82.3	
3)	75	61.4	
4)	70	69.4	
5)	60	25.5	
6)	70	73.8	24.9
7)	75	86.1	85.0
8)	70	65.9	67.8
9)	75	83.4	82.9
10)	65	69.5	78.6
11)	60	49.6	
12)	65	63.6	87.5
13)	75	87.4	78.8
14)	65	64.8	88.1
15)	75	89.2	
16)	65	69.1	48.9
17)	70	81.8	
18)	60	25.9	

設定通過率	70.0		
平均通過率		63.6	
類似問題		65.5	62.6

設定通過率	70.0		
平均通過率		68.1	
類似問題		73.7	71.4

○中学校

番号	設定	通過率	類似
1)	80	83.5	
2)	60	18.0	
3)	85	97.0	
4)	60	53.9	
5)	60	19.8	58.4
6)	70	73.9	
7)	65	46.2	
8)	80	77.4	75.8
9)	75	66.0	68.8
10)	60	41.7	30.3
11)	75	78.3	
12)	65	54.1	
13)	80	80.8	75.3
14)	65	40.9	
15)	80	88.0	74.8
16)	65	51.8	
17)	70	80.6	
18)	65	61.8	59.9

設定通過率	70.0		
平均通過率		61.9	
類似問題		62.2	63.3

番号	設定	通過率	類似
1)	75	49.9	
2)	65	47.6	36.7
3)	65	49.0	41.0
4)	85	82.6	
5)	80	71.5	
6)	65	33.5	
7)	75	23.7	67.2
8)	85	75.1	
9)	70	63.9	53.7
10)	60	53.6	46.3
11)	70	32.7	
12)	65	48.7	56.1
13)	70	63.6	56.5
14)	60	51.3	49.9
15)	60	25.9	
16)	75	53.2	
17)	75	65.6	65.7
18)	60	20.3	

設定通過率	70.0		
平均通過率		50.7	
類似問題		51.9	52.6

【算数、数学】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

番号	設定	通過率	類似
1)	80	76.5	
2)	80	73.5	
3)	75	78.2	69.3
4)	75	73.8	56.5
5)	80	72.5	77.9
6)	70	67.4	62.1
7)	65	66.2	56.0
8)	65	57.5	
9)	75	70.6	
10)	75	74.2	85.8
11)	80	72.1	81.7
12)	60	44.3	
13)	80	74.8	82.4
14)	70	66.3	52.8
15)	75	70.3	
16)	65	62.0	45.7
17)	65	68.6	
18)	65	69.0	56.8

設定通過率	72.2		
平均通過率		68.8	
類似問題		70.6	66.1

番号	設定	通過率	類似
1)	80	73.7	
2)	80	72.0	77.3
3)	75	71.1	66.8
4)	75	76.8	77.3
5)	75	77.1	
6)	75	74.0	72.6
7)	70	69.3	69.5
8)	65	84.5	28.9
9)	60	64.6	
10)	70	76.2	74.6
11)	65	37.2	
12)	70	52.7	
13)	85	92.2	
14)	70	73.3	
15)	65	60.6	55.6
16)	70	66.6	
17)	65	55.0	29.9
18)	65	54.4	46.7

設定通過率	71.1		
平均通過率		68.4	
類似問題		69.4	59.9

番号	設定	通過率	類似
1)	85	85.0	
2)	90	83.0	
3)	75	66.0	79.5
4)	75	47.6	69.0
5)	65	61.4	22.6
6)	60	60.2	38.5
7)	70	63.9	
8)	80	91.8	
9)	60	40.3	56.3
10)	65	62.2	47.8
11)	65	63.1	48.7
12)	80	95.4	
13)	65	86.3	55.8
14)	65	72.5	51.5
15)	70	87.6	
16)	70	75.0	
17)	75	60.6	72.1
18)	60	62.4	

設定通過率	70.8		
平均通過率		70.2	
類似問題		62.0	54.2

○中学校

番号	設定	通過率	類似
1)	90	80.4	60.6
2)	75	56.6	48.6
3)	70	29.4	
4)	60	45.7	24.0
5)	70	52.1	62.4
6)	65	49.5	56.5
7)	75	72.2	26.6
8)	65	59.3	58.0
9)	60	52.9	45.5
10)	75	56.9	
11)	60	51.1	47.3
12)	60	54.3	44.2
13)	85	81.2	
14)	75	58.7	
15)	65	41.0	
16)	80	72.8	
17)	70	60.8	
18)	60	15.5	

設定通過率	70.0		
平均通過率		55.0	
類似問題		57.4	47.4

番号	設定	通過率	類似
1)	80	85.4	61.2
2)	75	52.9	
3)	65	49.3	71.3
4)	65	60.6	47.9
5)	75	44.5	
6)	65	47.5	48.0
7)	75	67.7	
8)	75	35.7	
9)	70	43.9	64.5
10)	80	74.3	
11)	75	81.6	53.3
12)	65	26.1	62.3
13)	75	68.0	
14)	65	69.6	63.1
15)	60	50.8	
16)	70	74.0	56.2
17)	70	62.7	
18)	65	58.0	

設定通過率	70.6		
平均通過率		58.5	
類似問題		59.8	58.6

【理科】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

番号	設定	通過率	類似
1)	80	93.6	
2)	70	87.6	
3)	70	88.6	
4)	90	81.2	91.0
5)	60	74.5	79.5
6)	80	70.2	
7)	70	79.3	66.7
8)	60	61.3	53.3
9)	80	92.1	94.8
10)	80	75.6	
11)	70	66.1	70.4
12)	70	63.8	

設定通過率	73.3	
平均通過率	77.8	
類似問題	75.8	76.0

番号	設定	通過率	類似
1)	90	92.2	90.6
2)	90	85.3	95.0
3)	70	92.1	
4)	70	67.8	
5)	90	93.2	90.4
6)	70	96.5	
7)	60	65.7	
8)	60	84.0	44.4
9)	80	86.2	
10)	70	65.4	
11)	70	66.8	
12)	70	55.2	
13)	80	76.5	80.9
14)	80	89.4	92.3
15)	70	72.3	
16)	80	86.7	88.5
17)	70	78.2	
18)	70	82.4	

設定通過率	74.4	
平均通過率	79.8	
類似問題	86.8	83.2

番号	設定	通過率	類似
1)	80	86.5	
2)	80	83.7	
3)	80	82.4	
4)	80	86.2	
5)	60	60.7	47.0
6)	80	92.8	
7)	80	96.4	
8)	70	89.3	60.3
9)	60	31.3	
10)	90	90.7	96.9
11)	60	54.0	
12)	70	84.6	
13)	60	73.6	
14)	80	78.1	75.8
15)	80	85.2	81.7
16)	85	95.5	
17)	60	41.3	
18)	70	89.3	

設定通過率	73.6	
平均通過率	77.9	
類似問題	80.8	72.3

○中学校

番号	設定	通過率	類似
1)	80	87.2	
2)	60	33.2	
3)	70	68.3	62.7
4)	60	67.7	43.9
5)	70	41.9	
6)	80	91.3	
7)	70	69.3	
8)	70	68.3	66.5
9)	60	52.9	53.9
10)	85	75.9	68.0
11)	60	47.1	25.3
12)	60	37.3	45.4
13)	80	73.2	53.1
14)	70	69.1	
15)	60	57.1	39.5
16)	70	75.9	64.7
17)	80	79.5	
18)	80	90.8	

設定通過率	70.3	
平均通過率	65.9	
類似問題	62.4	52.3

番号	設定	通過率	類似
1)	80	78.0	68.1
2)	70	62.2	22.9
3)	70	45.8	31.4
4)	70	41.7	31.2
5)	60	51.4	
6)	70	61.0	
7)	70	30.9	51.4
8)	65	57.2	58.8
9)	70	21.7	43.2
10)	70	64.2	67.3
11)	70	62.5	
12)	70	27.9	54.5
13)	70	61.0	
14)	70	68.4	
15)	80	49.2	42.0
16)	70	44.7	
17)	70	65.6	
18)	70	65.5	

設定通過率	70.3	
平均通過率	53.3	
類似問題	47.9	47.1

【英語】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○中学校

中1	番号	設定	通過率	類似
	1)	80	93.8	71.0
	2)	70	18.5	
	3)	75	69.0	
	4)	70	50.6	
	5)	65	39.5	44.3
	6)	75	71.4	
	7)	75	59.8	69.9
	8)	70	48.6	56.6
	9)	75	71.1	
	10)	75	80.2	
	11)	65	59.8	
	12)	80	71.3	
	13)	60	20.9	28.3
	14)	60	51.0	
	15)	60	52.8	27.7
	16)	70	29.6	
	17)	65	17.2	42.8
	18)	70	83.7	

設定通過率	70.0		
平均通過率		54.9	
類似問題		47.5	48.7

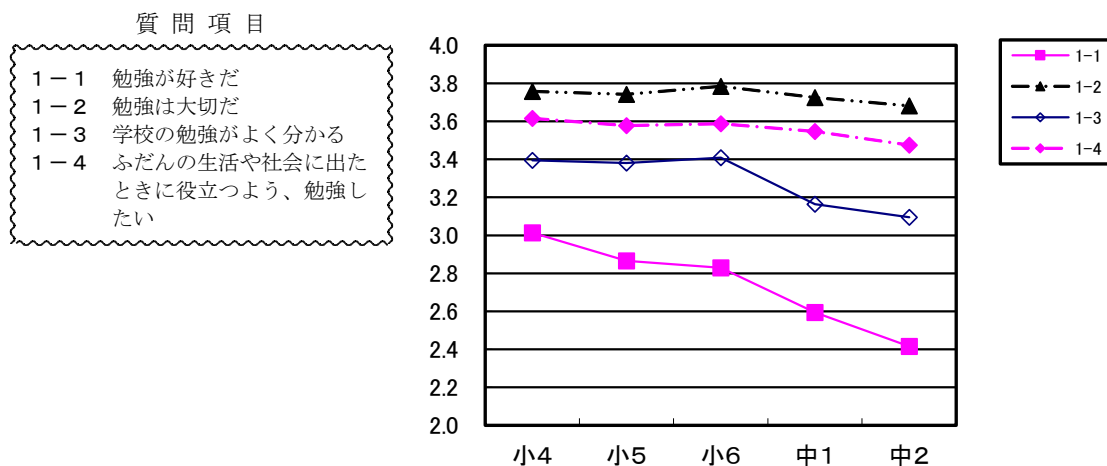
中2	番号	設定	通過率	類似
	1)	90	95.8	76.8
	2)	65	56.3	40.9
	3)	70	53.1	41.2
	4)	70	49.5	
	5)	75	68.8	61.3
	6)	60	32.0	15.5
	7)	75	65.3	27.2
	8)	70	37.5	53.6
	9)	75	65.3	
	10)	60	50.2	47.3
	11)	70	52.3	
	12)	75	80.6	
	13)	75	32.8	
	14)	60	26.6	28.8
	15)	60	51.5	
	16)	70	26.3	21.4
	17)	65	47.3	
	18)	75	71.3	

設定通過率	70.0		
平均通過率		53.5	
類似問題		51.2	41.4

(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果

① 学習全般についての結果概要（4点換算による県平均）

当てはまる…4点 どちらかといえば当てはまる…3点
 どちらかといえば当てはまらない…2点 当てはまらない…1点

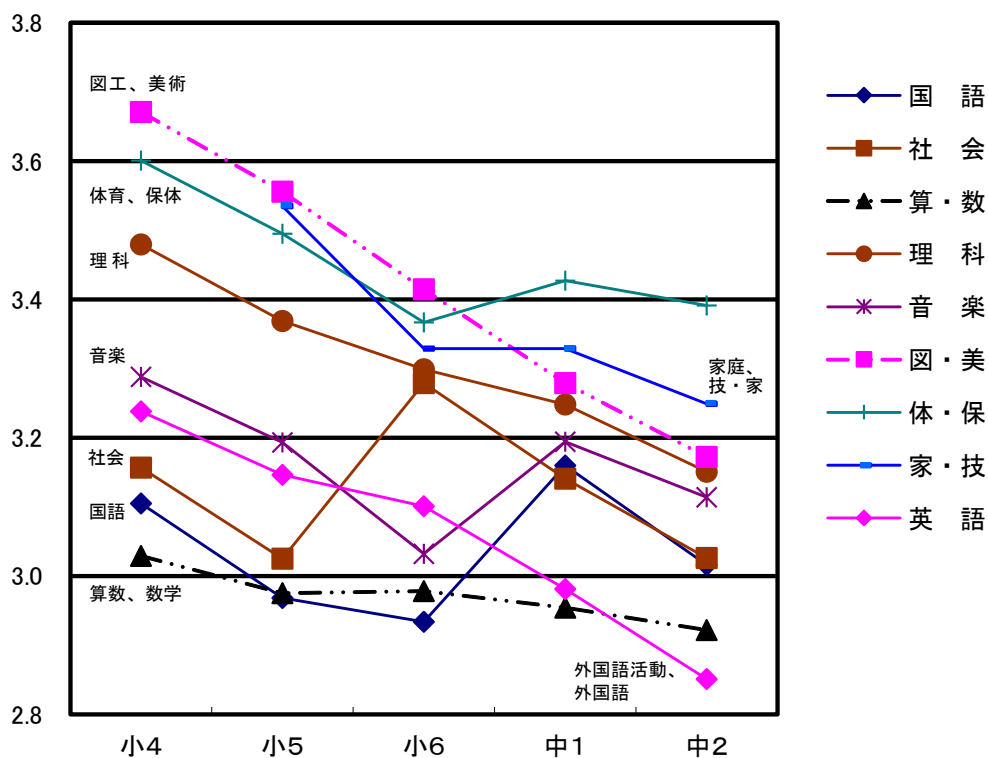


② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要（4点換算による県平均）

当てはまる…4点 どちらかといえば当てはまる…3点
 どちらかといえば当てはまらない…2点 当てはまらない…1点

質問項目

(例) 国語の勉強は好きだ ※下線部を各教科等名にしてそれぞれ質問する。



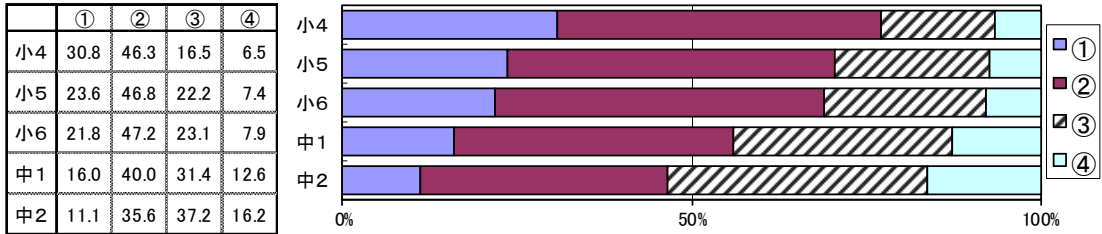
③ 学習全般について

[グラフ等の見方]

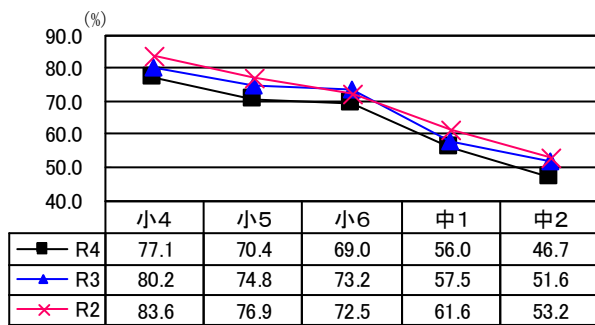
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[1-1] 勉強が好きだ

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



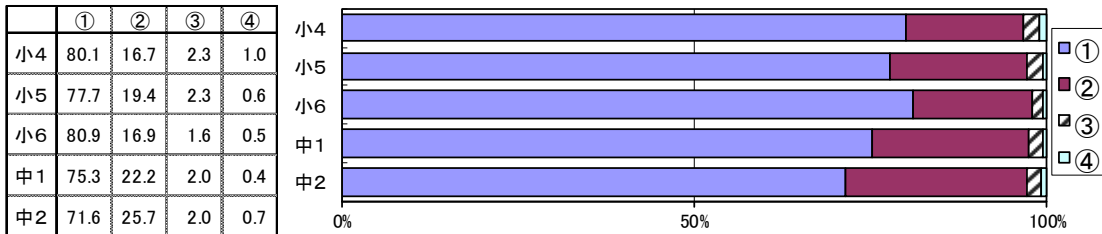
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



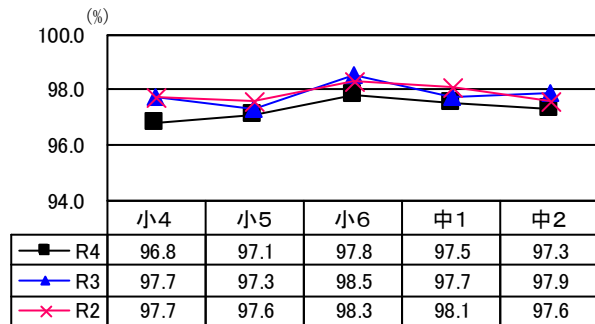
肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って減少していく状況は依然として見られるものの、中学校第1学年においては、肯定的な回答のうち「当てはまる」と回答した生徒の割合は昨年度より 1.1ポイント高くなっている。

[1-2] 勉強は大切だ

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



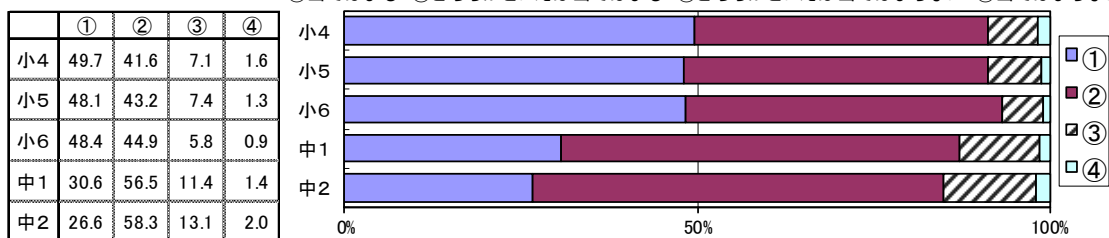
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



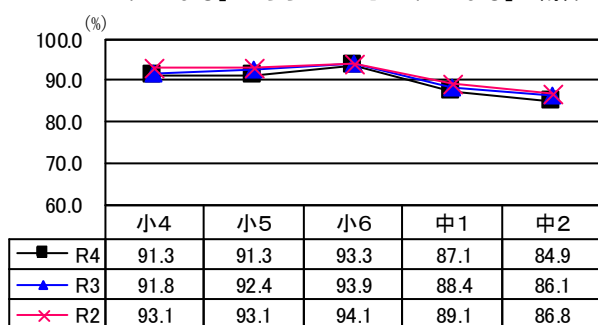
肯定的な回答の割合が、全ての学年で96%以上である。学ぶことの重要性や意義などを感じながら学習に取り組んでいる児童生徒が多いことがうかがえる。

[1 - 3] 学校の勉強がよく分かる

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



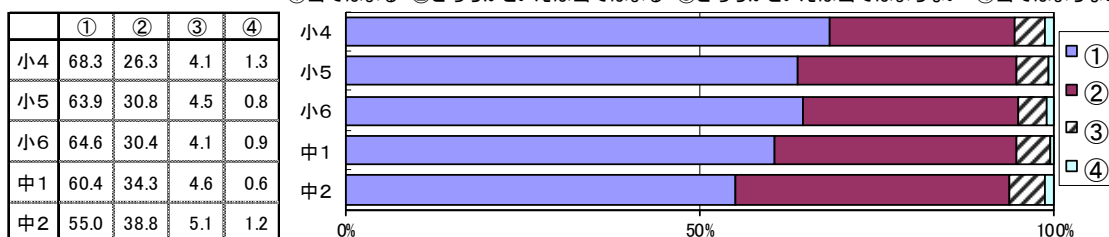
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



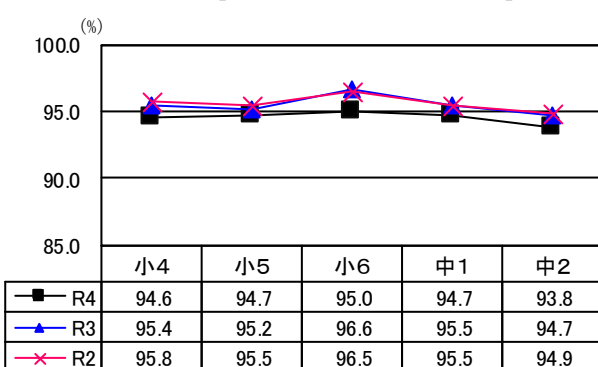
小学校では91%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答のうち、小学校では48%以上、中学校では26%以上が「当てはまる」と回答しており、昨年とほぼ同様の傾向が見られる。

[1 - 4] ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



全ての学年で、肯定的な回答が93%以上である。

各教科等で学習する内容を日常生活にも役立てようとする意識をもっている児童生徒が多いことがうかがえる。

④ 生活全般について

[グラフ等の見方]

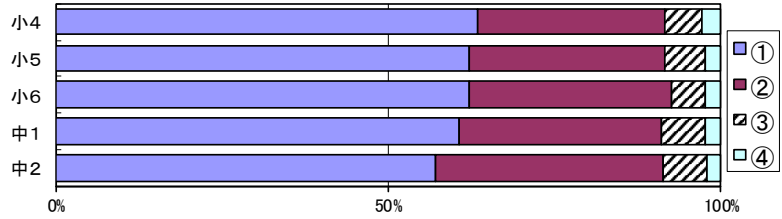
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

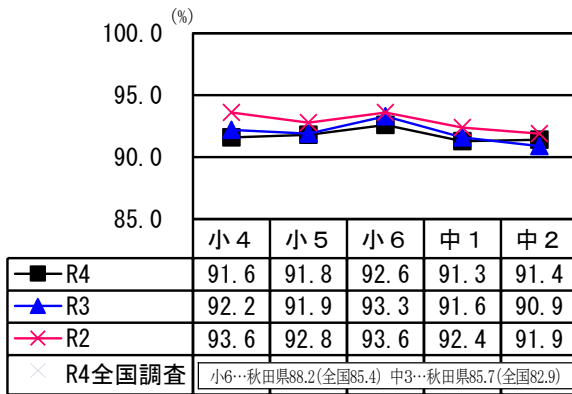
[2-1] 学校が楽しい

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

	①	②	③	④
小4	63.6	28.0	5.5	2.8
小5	62.2	29.6	6.1	2.1
小6	62.3	30.3	5.3	2.1
中1	60.8	30.5	6.6	2.1
中2	57.1	34.3	6.5	2.0



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



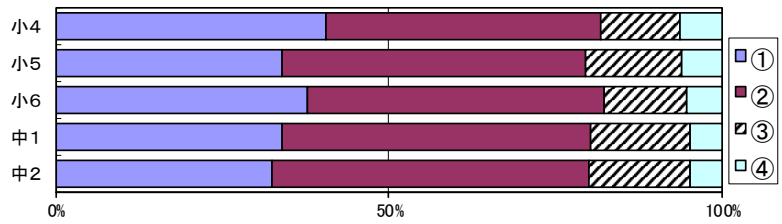
全ての学年で、肯定的な回答が91%以上である。

学校が児童生徒にとって伸び伸びと過ごせる楽しい場となるよう、各学校が児童生徒の実態を踏まえ、教育活動を工夫していることがうかがえる。

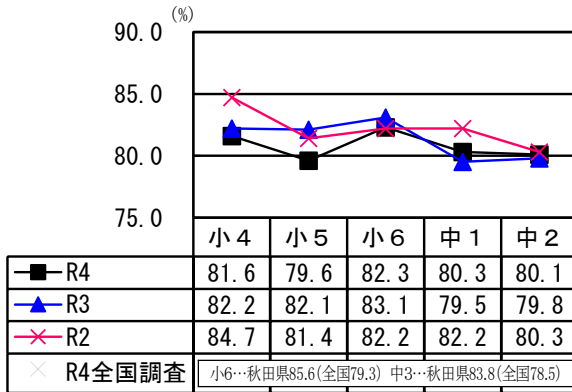
[2-2] 自分にはよいところがあると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

	①	②	③	④
小4	40.6	41.0	11.9	6.4
小5	34.1	45.5	14.4	6.0
小6	37.8	44.5	12.5	5.2
中1	34.0	46.3	14.9	4.8
中2	32.6	47.5	15.2	4.8



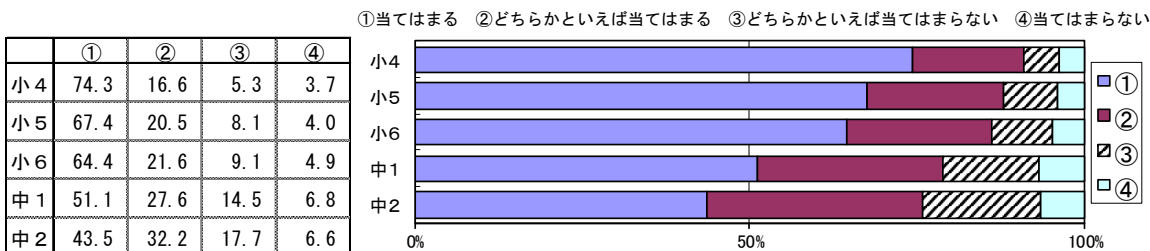
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



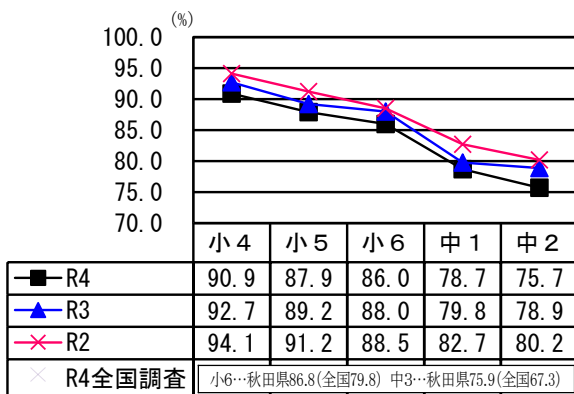
小学校では79%以上、中学校では80%以上が肯定的な回答をしているが、小学校第4学年と第5学年においては、この3年間で最も低い数値となっている。

学校生活の様々な場面において、教師が児童生徒のよさを積極的に認めるなど、児童生徒の自己肯定感を高める働きかけを、一層充実させていく必要がある。

[2-3] 将来の夢や目標をもっている



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



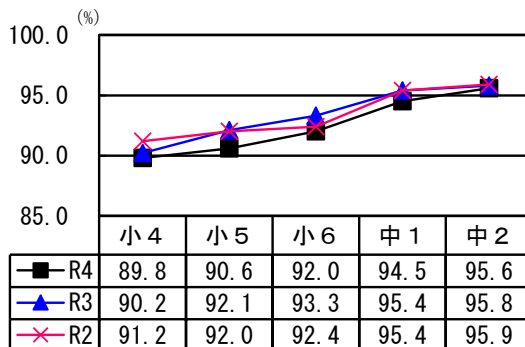
小学校では86%以上、中学校では75%以上が肯定的な回答をしているが、全ての学年において、この3年間で最も低い数値となっている。

各学校では、現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度を育むことができるよう、児童生徒の発達の段階に応じて学級活動や職場体験活動等の内容を一層工夫していく必要がある。

[2-4] 学校のきまりを守っている



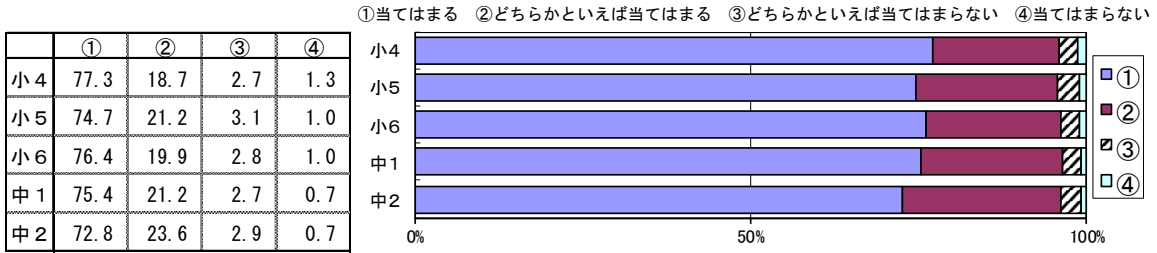
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



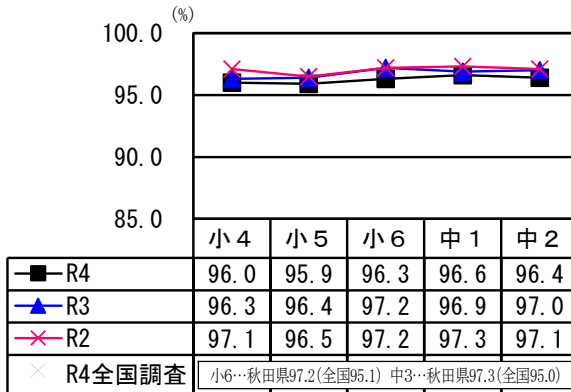
肯定的な回答の割合が、小学校では89%以上、中学校では94%以上となっており、学年が上がるに従って高くなっている。

学校における集団生活の様々な場面で、児童生徒の規範意識の醸成につながる取組がなされていることがうかがえる。

[2-5] 人の役に立つ人間になりたいと思う



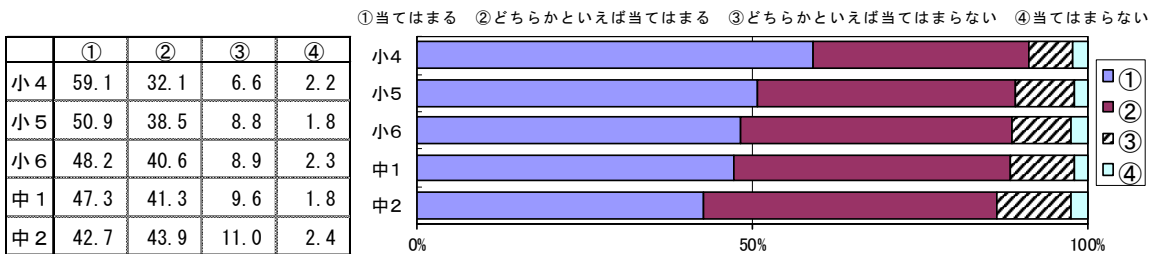
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



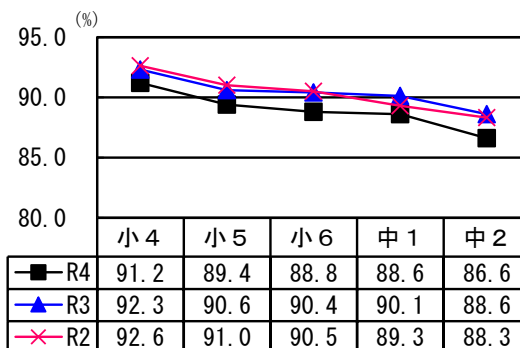
全ての学年で、肯定的な回答が95%以上であり、そのうち「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は72%以上である。

各学校において、キャリア教育や道徳教育等の取組を通して、他者と協働したり、公共のためになることに取り組もうとしたりする意欲を高める働き掛けが行われていることがうかがえる。

[2-6] 地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



肯定的な回答の割合は、小学校では88%以上、中学校では86%以上である。

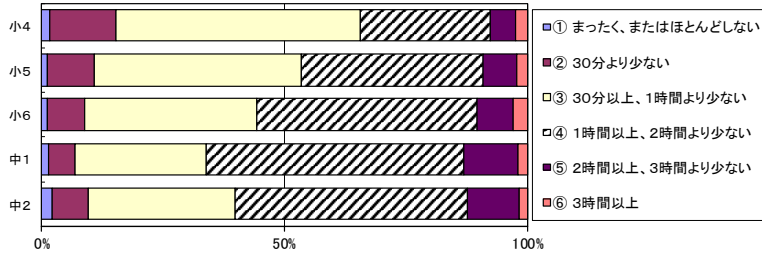
各学校の特色を生かしたふるさと教育やキャリア教育等の取組が、児童生徒の地域に対する愛着を育み、地域社会に貢献しようとする意欲の高まりにつながっていることがうかがえる。

⑤ 家庭学習について

[グラフ等の見方]

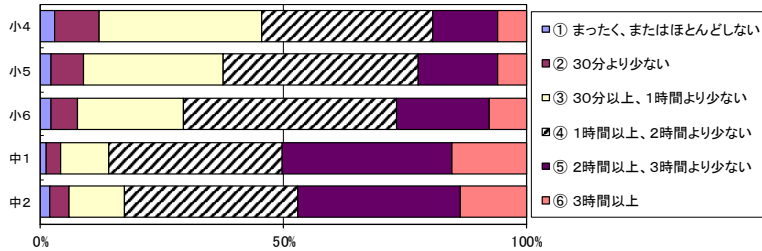
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

学校がある日の勉強時間



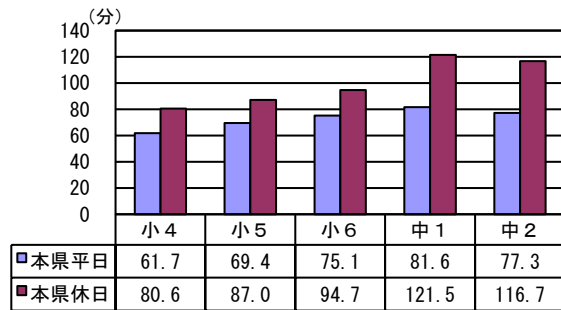
	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	1.8	13.5	50.4	26.6	5.2	2.5
小5	1.2	9.7	42.6	37.4	7.0	2.2
小6	1.2	7.9	35.2	45.3	7.5	2.9
中1	1.5	5.6	26.9	52.9	11.2	2.0
中2	2.3	7.4	30.1	47.9	10.5	1.8

土曜日や日曜日の勉強時間

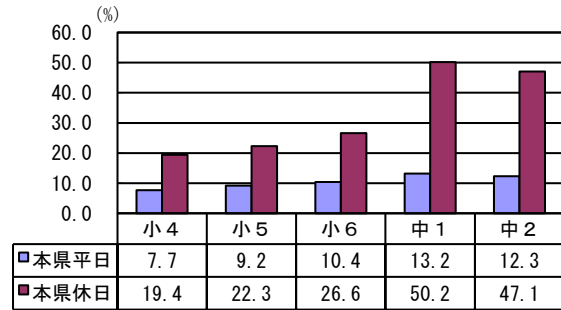


	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	2.9	9.3	33.5	35.0	13.6	5.8
小5	2.2	6.6	28.7	40.1	16.3	6.0
小6	2.2	5.4	21.8	44.0	19.0	7.6
中1	1.3	2.9	9.9	35.7	34.9	15.3
中2	1.9	3.9	11.5	35.6	33.4	13.7

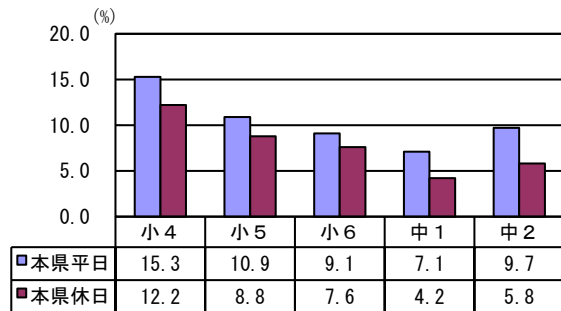
家庭学習の平均時間



2時間以上の割合



全くしない又は30分未満の割合



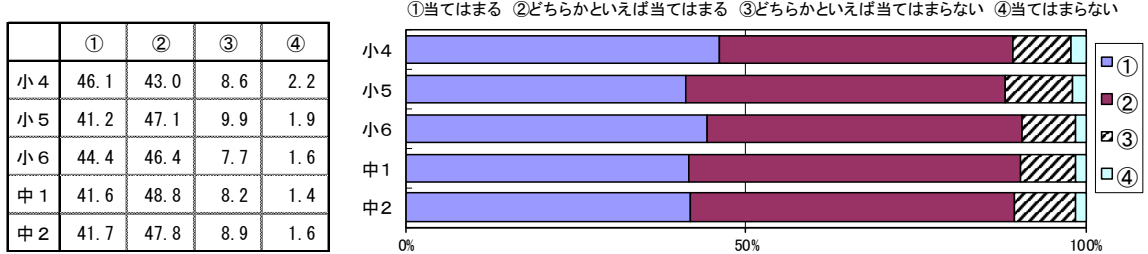
小・中学校とも、平日より休日の勉強時間が長いこと、小学校より中学校の方が家庭学習の平均時間が長いことなど、全体的には昨年度までと同様の傾向である。

昨年度に比べて、「全くしない又は30分未満」と回答した割合が、全ての学年で平日、休日ともにやや増加している。

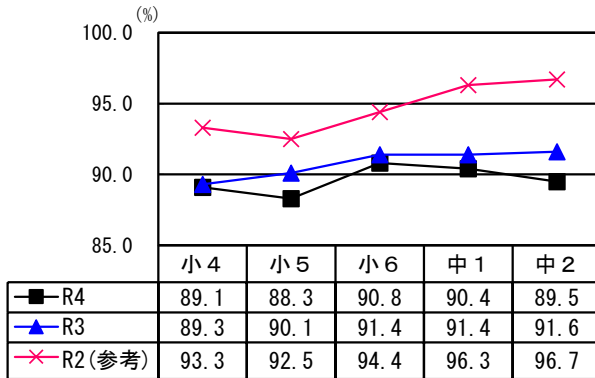
⑥ 授業について

[グラフ等の見方]
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[4-1] ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を意識して学習に取り組んでいると思う



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

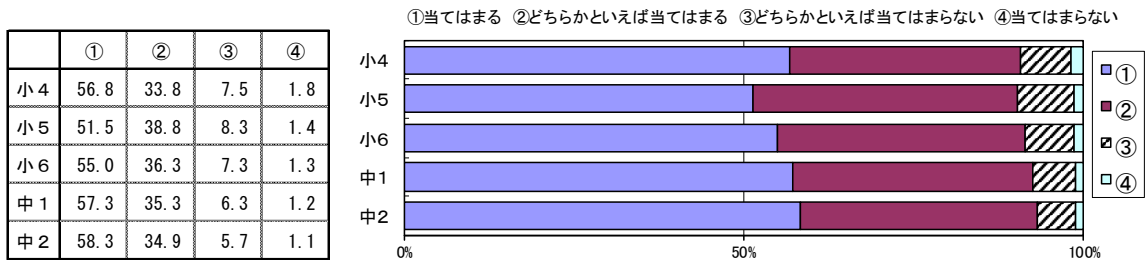


*R2まで「ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う」という質問であるため（参考）としている

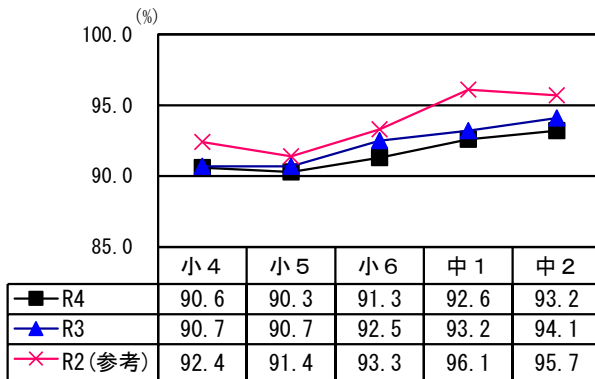
肯定的な回答の割合が、前年度と比べるとどの学年も低くなっているものの、全ての学年で88%以上と高い状況にある。

各学校において、授業の導入の手立てを工夫するなどして、児童生徒が課題を解決する意義や必要性を感じたり、学習の見通しをもって主体的に学習活動に取り組んだりできるようにしている様子が見えてくる。

[4-2] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

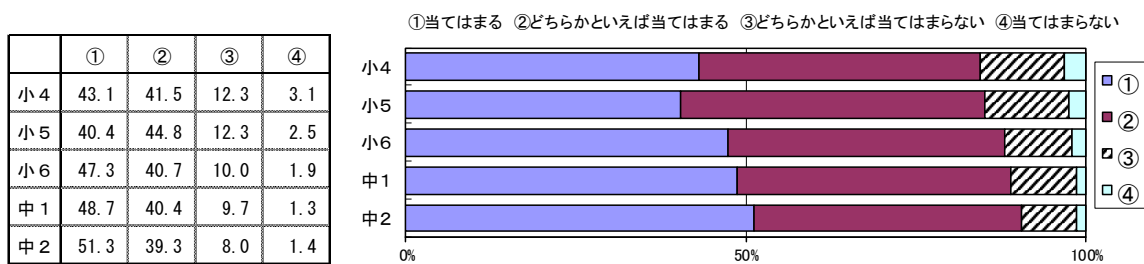


*R2まで「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う」という質問であるため（参考）としている

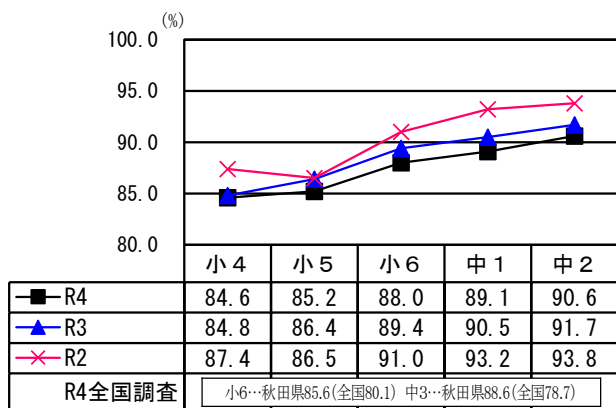
肯定的な回答の割合が、全ての学年で90%を超えており、学年が上がるに従って数値が高くなっている。

各学校においては、話し合う目的を明確にすることで、児童生徒が主体的に話し合う活動に取り組むことができるようにしている様子が見えてくる。

[4-3] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う



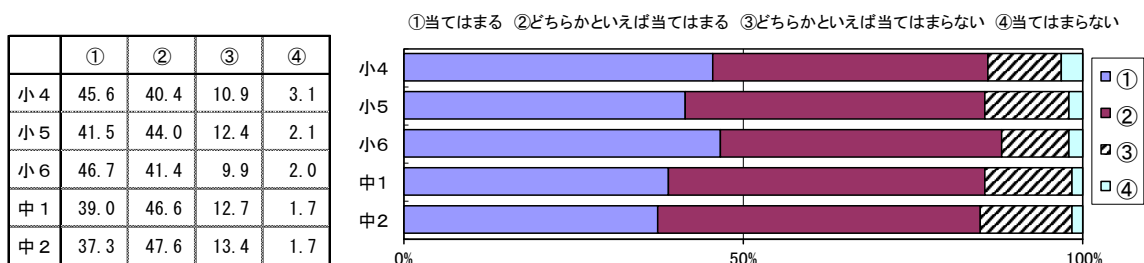
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



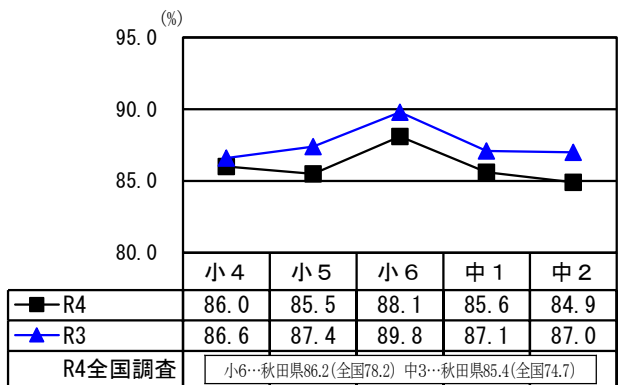
肯定的な回答の割合が、小学校では84%以上、中学校では89%以上であり、学年が上がるに従って数値が高くなっている。

他者の多様な考えに触れることが、自分の考えを広げたり深めたりする上で役立つことを児童生徒が自覚できるよう、各教科等の特質に応じて、話し合う場面を適切に設定していることがうかがえる。

[4-4] ふだんの授業では、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



肯定的な回答の割合が、前年度と比べるとどの学年も低くなっているものの、小学校では85%以上、中学校では84%以上と高い状況にある。

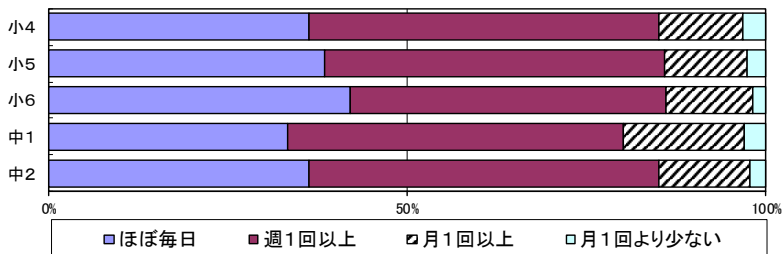
各学校においては、学習した内容や課題解決の方法等を振り返る機会を意図的に設け、児童生徒が自身の学びや変容等を実感したり、次の学習につなげたりできるようにしている様子が見えがえる。

⑦ ICT活用の状況について

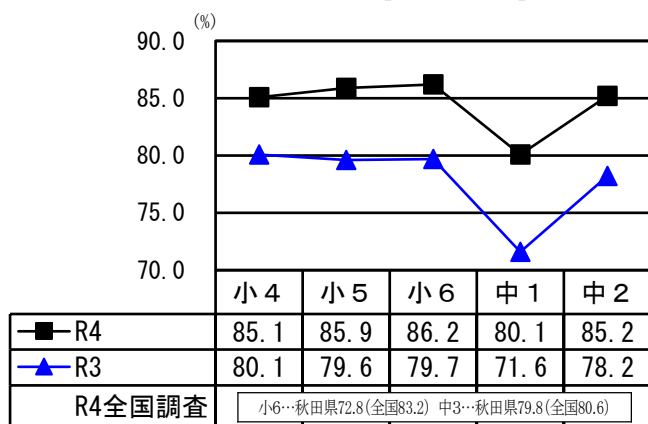
[グラフ等の見方]
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

[5-1] ふだんの授業では、コンピュータなどのICT機器をどのくらい使っていますか

	ほぼ毎日	週1回以上	月1回以上	月1回より少ない
小4	36.2	48.9	11.7	3.1
小5	38.5	47.4	11.6	2.5
小6	42.0	44.2	12.0	1.8
中1	33.4	46.7	16.8	3.0
中2	36.4	48.8	12.7	2.1



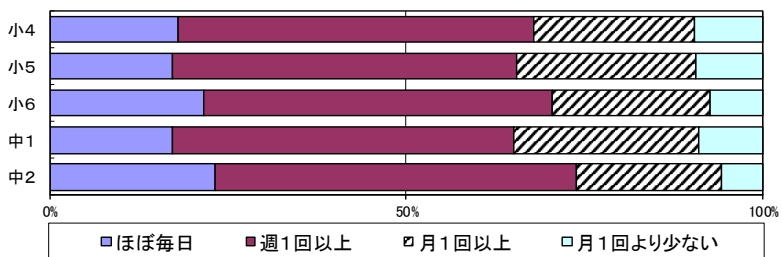
「ほぼ毎日」「週1回以上」の割合



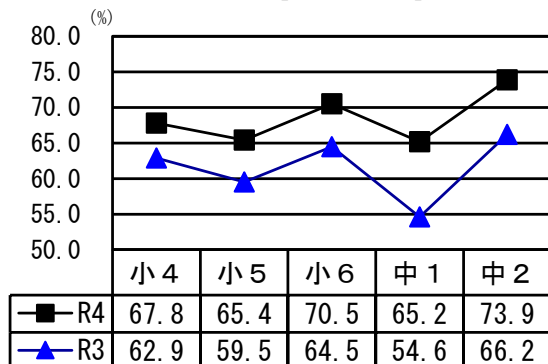
普段の授業で、コンピュータなどのICT機器を週1回以上使用していると回答した割合は、小学校では85%以上、中学校では80%以上であり、全ての学年で昨年度よりも高くなっている。また、小学校第6学年では、4月の全国学力・学習状況調査の週1回以上使用していると回答した数値より、13.4ポイント高くなっている。

[5-2] あなたは、学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どのくらい使っていますか

	ほぼ毎日	週1回以上	月1回以上	月1回より少ない
小4	17.9	49.9	22.6	9.5
小5	17.2	48.2	25.1	9.4
小6	21.5	49.0	22.1	7.4
中1	17.2	48.0	25.9	9.0
中2	23.1	50.8	20.3	5.8



「ほぼ毎日」「週1回以上」の割合



学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、週1回以上使用していると回答した割合は、全ての学年で65%以上となっており、全ての学年で昨年度よりも高くなっている。

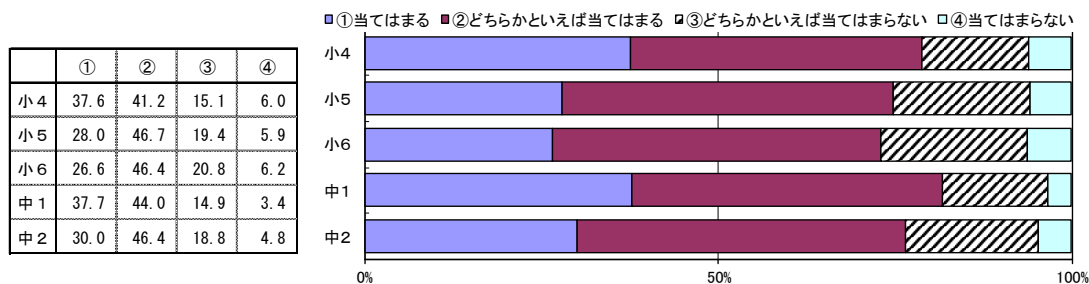
⑧ 各教科等の学習に対する意識について

[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

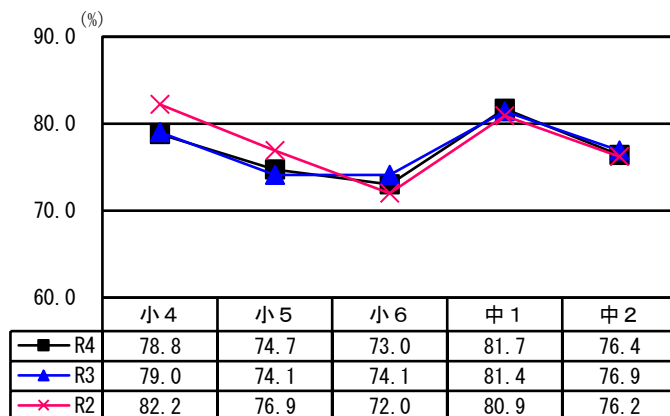
【国語】質問：国語の勉強は好きだ



【理由】

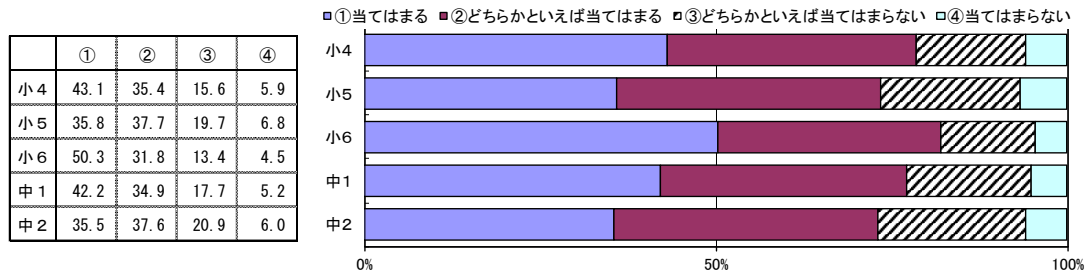
		%は全児童生徒に対する割合				
		小4	小5	小6	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	20.4%	17.5%	15.4%	19.2%	18.8%
	② 分かりやすい	14.3%	12.9%	12.0%	17.0%	15.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	10.4%	14.6%	16.4%	14.1%	15.0%
	④ 生活の中で役立つ	8.2%	8.5%	8.9%	7.4%	6.9%
	⑤ 考えるのが楽しい	15.4%	11.8%	10.8%	12.7%	9.7%
	⑥ 得意	7.5%	5.9%	5.8%	7.0%	6.4%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	3.1%	5.7%	6.7%	5.0%	7.2%
	⑧ 分かりにくい	3.7%	3.8%	3.5%	1.6%	3.2%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立つ	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
	⑩ 生活の中で役立つ	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ	2.3%	2.9%	3.5%	2.2%	2.6%
	⑫ 不得意	10.5%	11.5%	12.1%	8.6%	9.3%
	⑬ その他	3.9%	4.7%	4.5%	4.9%	5.4%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では73%以上、中学校では76%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、全ての学年において「内容に興味がある」の割合が高い。また、小・中学校とも、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が学年が上がるに従って高くなっている。一方、小・中学校とも、学年が上がるに従って「不得意」の割合が高くなっている。

【社会】質問：社会の勉強は好きだ

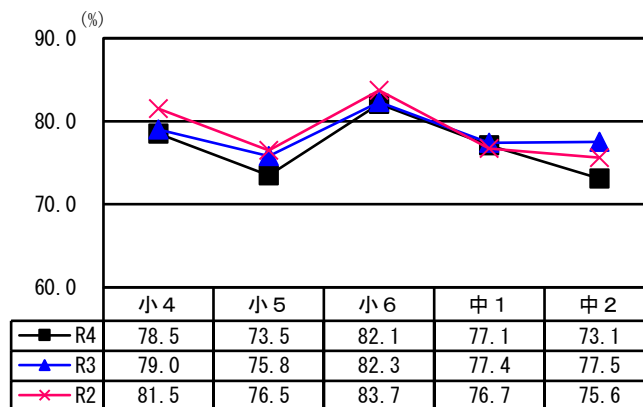


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

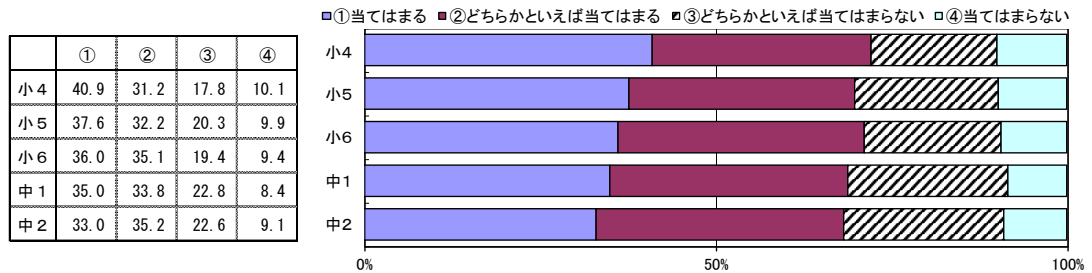
		小4	小5	小6	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	17.2%	16.3%	40.8%	32.7%	33.1%
	② 分かりやすい	9.2%	9.1%	8.2%	10.2%	9.5%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	28.3%	28.2%	13.1%	12.3%	10.8%
	④ 生活の中で役立つ	8.8%	5.6%	2.1%	2.6%	2.9%
	⑤ 考えるのが楽しい	8.7%	7.8%	10.5%	11.5%	8.2%
	⑥ 得意	4.9%	4.5%	5.7%	4.8%	5.6%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	3.9%	4.9%	3.8%	4.3%	5.9%
	⑧ 分かりにくい	4.5%	5.6%	3.1%	3.6%	4.2%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立つ	0.4%	0.3%	0.4%	0.9%	1.1%
	⑩ 生活の中で役立つ	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	1.0%
	⑪ 考えるのがめんどろ	2.1%	2.0%	1.1%	0.8%	1.6%
	⑫ 不得意	9.4%	12.3%	8.4%	12.1%	12.1%
	⑬ その他	2.5%	3.1%	2.4%	3.6%	4.0%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小・中学校とも、73%以上が肯定的な回答をしているが、全ての学年において、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小学校第4学年と第5学年では、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高く、小学校第6学年、中学校第1学年及び第2学年では、「内容に興味がある」の割合が最も高くなっている。一方、小・中学校とも、「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っている。

【算数、数学】質問：算数（数学）の勉強は好きだ

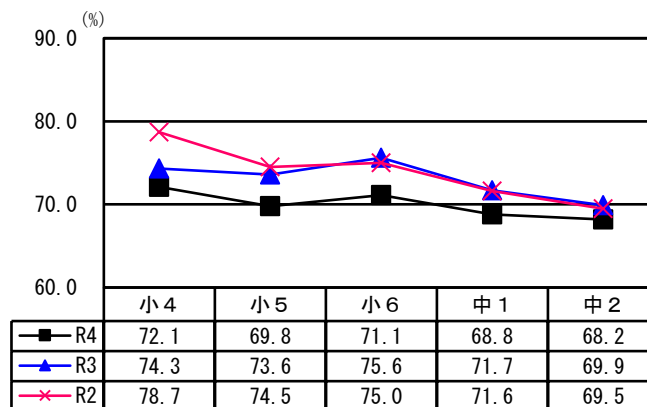


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

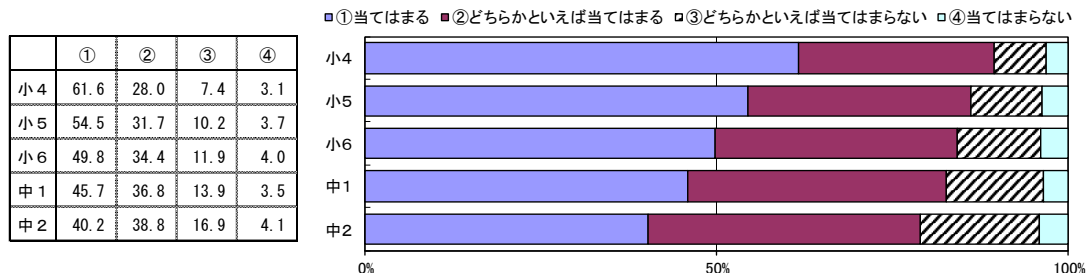
		小4	小5	小6	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	8.5%	7.9%	6.8%	7.8%	9.1%
	② 分かりやすい	11.0%	10.0%	8.8%	10.1%	10.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	11.5%	13.5%	17.3%	14.8%	12.1%
	④ 生活の中で役立つ	12.2%	9.4%	10.7%	8.7%	5.9%
	⑤ 考えるのが楽しい	14.6%	15.6%	15.7%	15.9%	20.1%
	⑥ 得意	12.7%	11.5%	10.3%	9.6%	8.8%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味が無い	2.1%	2.4%	3.3%	2.5%	3.3%
	⑧ 分かりにくい	6.9%	6.4%	4.5%	5.9%	5.1%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.2%	0.2%	0.6%	0.8%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%
	⑪ 考えるのがめんどろ	3.4%	4.5%	4.6%	3.9%	4.0%
	⑫ 不得意	14.3%	15.5%	15.3%	17.5%	17.3%
	⑬ その他	2.6%	3.1%	2.3%	2.3%	3.1%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では69%以上、中学校では68%以上が肯定的な回答をしているが、全ての学年において、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「考えるのが楽しい」、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が高い。一方、全ての学年において、「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っており、この3年間で最も高くなっている。

【理科】質問：理科の勉強は好きだ

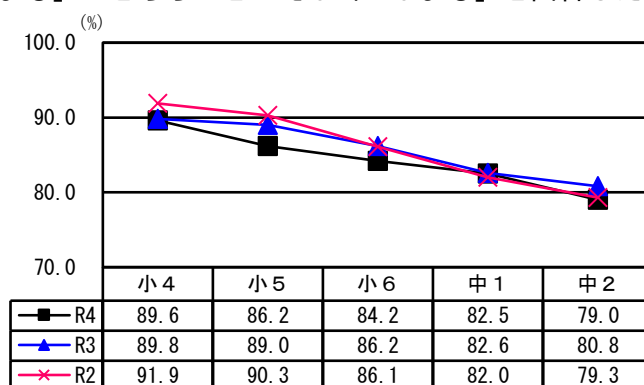


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

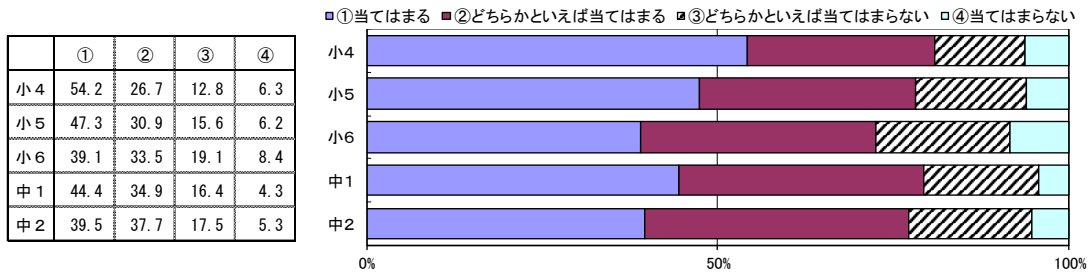
		小4	小5	小6	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	26.4%	29.8%	28.0%	32.1%	32.3%
	② 分かりやすい	11.5%	10.4%	10.6%	10.3%	9.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.5%	4.3%	5.8%	4.3%	4.6%
	④ 生活の中で役立つ	9.3%	7.0%	8.7%	6.9%	7.4%
	⑤ 考えるのが楽しい	22.9%	21.0%	19.3%	18.7%	15.9%
	⑥ 得意	12.4%	10.7%	8.9%	6.7%	6.2%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.8%	3.1%	4.1%	3.0%	3.3%
	⑧ 分かりにくい	2.0%	2.3%	2.7%	3.2%	3.4%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.4%	0.5%	0.8%	1.0%	1.1%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.5%	0.5%	0.4%	0.5%	0.3%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.2%	1.5%	1.5%	1.2%	1.9%
	⑫ 不得意	3.8%	4.9%	5.5%	8.0%	10.3%
	⑬ その他	3.3%	4.0%	3.7%	4.0%	3.7%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では84%以上、中学校では79%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「考えるのが楽しい」の割合が高く、中学校においては「内容に興味がある」の割合が、この3年間で最も高くなっている。一方、昨年度と同様に、「不得意」と回答した割合は、学年が上がるに従って高くなっており、中学校から「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っている。

【音楽】質問：音楽の勉強は好きだ

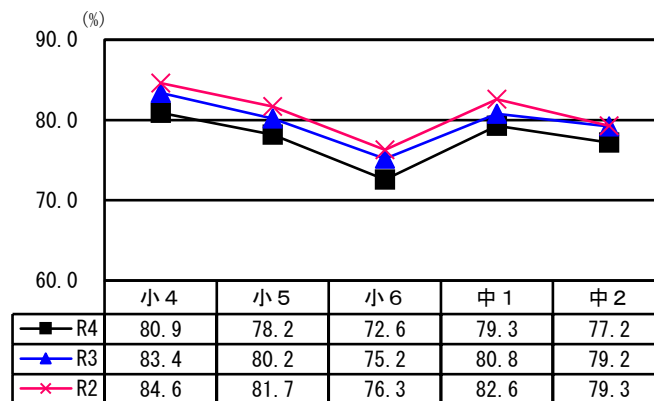


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

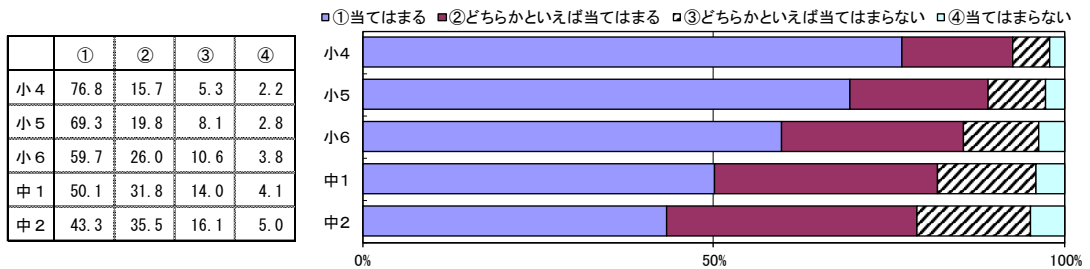
		小4	小5	小6	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	22.9%	25.1%	23.1%	32.4%	35.4%
	② 分かりやすい	12.0%	11.2%	11.6%	9.9%	7.8%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	1.7%	2.1%	2.3%	1.7%	1.7%
	④ 生活の中で役立つ	2.5%	2.3%	1.9%	1.6%	1.9%
	⑤ 考えるのが楽しい	10.6%	10.4%	8.0%	11.8%	10.7%
	⑥ 得意	23.1%	18.3%	15.8%	12.8%	10.1%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	3.5%	4.7%	5.9%	5.2%	6.8%
	⑧ 分かりにくい	2.3%	2.4%	2.0%	0.8%	0.9%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	1.3%	1.8%	3.0%	2.7%	2.9%
	⑩ 生活の中で役立たない	1.1%	1.4%	1.5%	1.7%	1.5%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.6%	0.6%	0.5%	0.5%	0.7%
	⑫ 不得意	9.5%	9.7%	13.5%	8.8%	8.9%
	⑬ その他	9.0%	9.9%	11.1%	10.2%	10.8%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では72%以上、中学校では77%以上が肯定的な回答をしているが、全ての学年において、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「得意」の割合が高くなっている。また、小学校では「分かりやすい」、中学校では「考えるのが楽しい」の割合も高くなっている。一方、小・中学校とも「不得意」の割合が、学年が上がるに従って高くなっている。

【図画工作、美術】質問：図工（美術）の勉強は好きだ

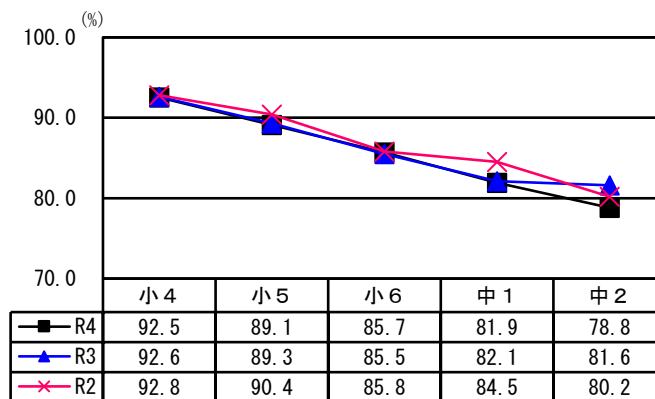


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

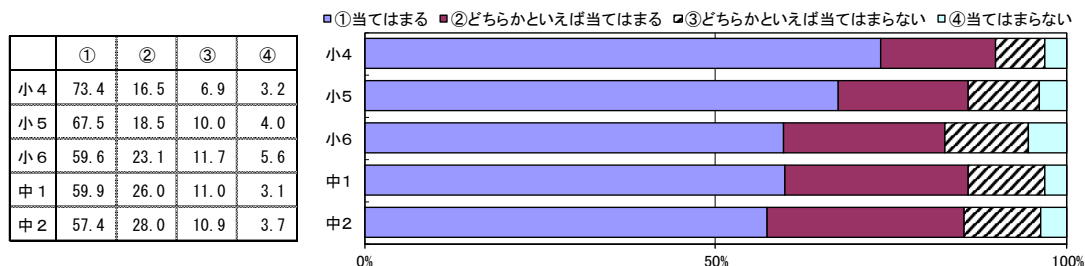
		小4	小5	小6	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	23.0%	26.9%	26.3%	30.3%	30.1%
	② 分かりやすい	4.9%	3.9%	4.8%	5.7%	4.8%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	1.8%	2.0%	1.8%	1.8%	1.5%
	④ 生活の中で役立つ	3.7%	2.9%	2.9%	2.0%	2.0%
	⑤ 考えるのが楽しい	24.9%	26.5%	26.7%	23.4%	22.8%
	⑥ 得意	29.1%	21.9%	18.0%	12.8%	10.7%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.2%	1.5%	2.2%	3.3%	4.5%
	⑧ 分かりにくい	0.4%	0.2%	0.3%	0.4%	0.7%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.9%	1.0%	1.7%	1.8%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.4%	0.6%	1.0%	1.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.7%	1.0%	0.7%	0.7%	0.9%
	⑫ 不得意	4.3%	6.4%	8.9%	10.3%	11.0%
	⑬ その他	5.4%	5.5%	5.8%	6.5%	8.0%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では85%以上、中学校では78%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、全ての学年において「内容に興味がある」「考えるのが楽しい」の割合が高くなっている。また、小学校では「得意」の割合も高い。一方、「不得意」と回答した割合は、学年が上がるに従って高くなっている。

【体育、保健体育】質問：体育（保体）の勉強は好きだ

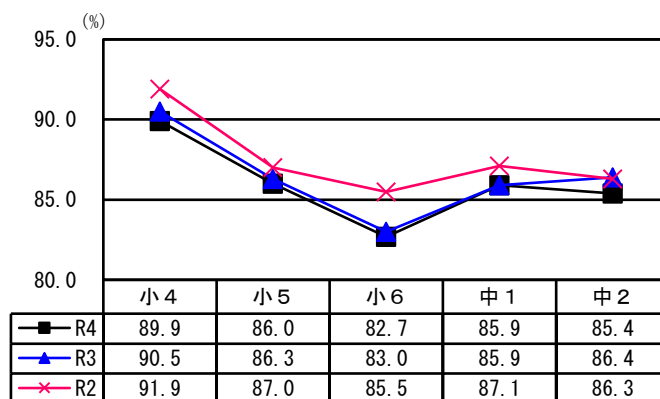


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

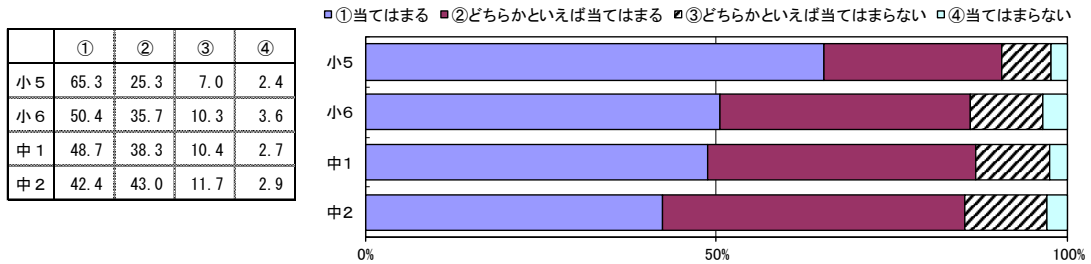
		小4	小5	小6	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	20.8%	23.7%	23.6%	26.6%	28.2%
	② 分かりやすい	5.4%	5.0%	3.9%	4.9%	4.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.5%	4.3%	5.0%	5.2%	4.4%
	④ 生活の中で役立つ	7.3%	5.7%	5.2%	7.0%	6.7%
	⑤ 考えるのが楽しい	3.7%	3.5%	3.1%	5.1%	6.1%
	⑥ 得意	40.7%	34.7%	32.4%	29.2%	26.6%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	0.8%	1.4%	1.7%	1.6%	1.8%
	⑧ 分かりにくい	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.4%	0.6%	0.7%	0.6%	0.7%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.4%	0.3%	0.2%	0.3%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.0%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%
	⑫ 不得意	7.5%	10.3%	13.7%	10.4%	10.6%
	⑬ その他	8.3%	9.9%	10.1%	8.6%	10.1%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では82%以上、中学校では85%以上が肯定的な回答をしており、全体的に高い数値を示している。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「得意」「内容に興味がある」の割合が高くなっている。「得意」の数値は中学校よりも小学校の方が、「内容に興味がある」の数値は小学校よりも中学校の方が高い。一方、小・中学校とも「不得意」の割合が、学年が上がるに従って高くなっている。

【家庭、技術・家庭】 質問：家庭（技・家）の勉強は好きだ

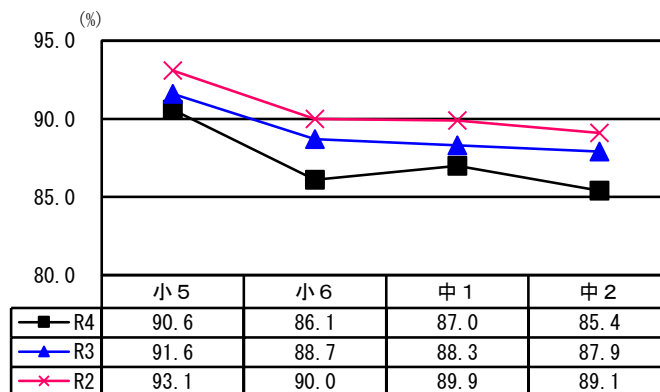


【理由】

％は全児童生徒に対する割合

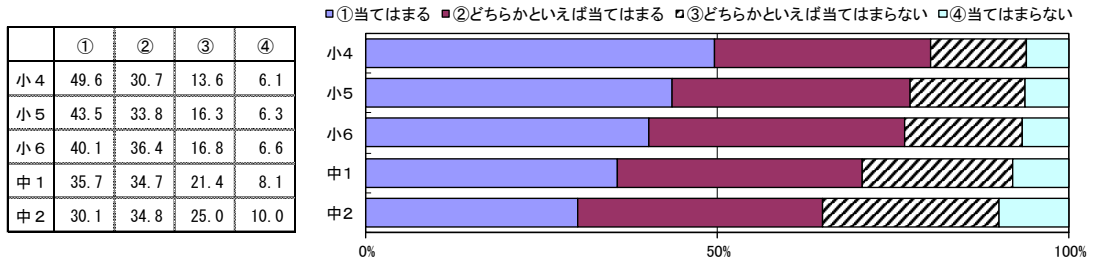
		小5	小6	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	18.2%	15.6%	22.6%	22.8%
	② 分かりやすい	4.9%	4.9%	4.8%	4.1%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	17.4%	19.8%	17.0%	17.8%
	④ 生活の中で役立つ	27.6%	30.1%	21.8%	22.3%
	⑤ 考えるのが楽しい	4.5%	3.2%	9.7%	8.2%
	⑥ 得意	14.8%	10.0%	7.8%	6.6%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.8%	3.4%	3.9%	4.8%
	⑧ 分かりにくい	1.3%	1.2%	1.1%	1.0%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.2%	0.3%	0.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.4%	0.7%	1.0%	1.4%
	⑫ 不得意	5.1%	7.2%	5.6%	6.0%
	⑬ その他	3.8%	3.5%	4.2%	4.4%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は小学校で86%以上、中学校で85%以上と全教科の中で最も高く、学年進行に伴う肯定的な割合の減少の程度も小さい。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「生活の中で役立つ」「内容に興味がある」「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が高くなっている。また、小学校では「得意」の割合も高い。

【外国語活動、外国語】質問：外国語活動（外国語）の勉強は好きだ

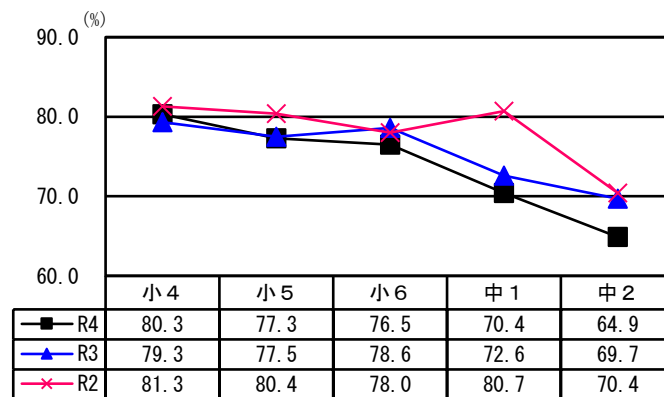


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

		小4	小5	小6	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	13.3%	12.2%	11.7%	10.0%	10.5%
	② 分かりやすい	10.6%	9.2%	8.2%	7.8%	6.8%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	21.6%	27.2%	31.7%	29.6%	29.1%
	④ 生活の中で役立つ	8.5%	6.0%	5.2%	5.0%	4.6%
	⑤ 考えるのが楽しい	13.3%	10.1%	7.7%	6.3%	5.3%
	⑥ 得意	8.7%	8.8%	8.7%	8.5%	5.9%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	2.8%	3.4%	3.8%	2.8%	3.8%
	⑧ 分かりにくい	5.5%	5.9%	5.2%	5.4%	5.7%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.4%	0.4%	0.8%	0.6%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.5%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.2%	1.4%	1.2%	1.4%	1.9%
	⑫ 不得意	8.2%	10.1%	11.1%	17.7%	21.6%
	⑬ その他	5.5%	4.9%	4.5%	3.9%	3.6%

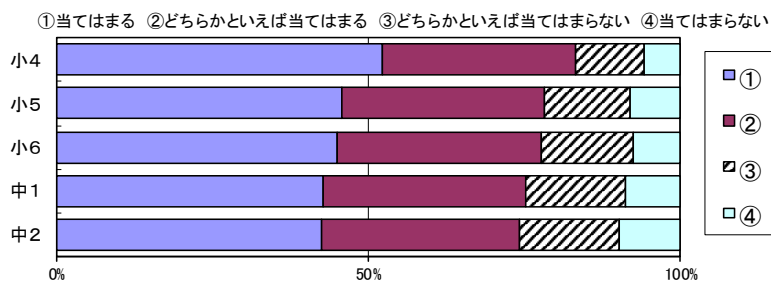
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



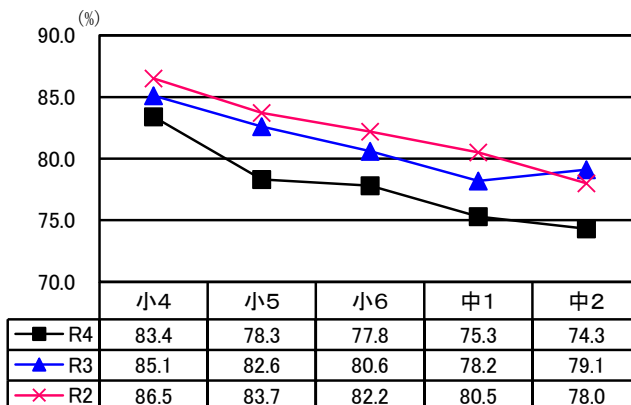
小学校は76%以上、中学校は64%以上が肯定的な回答をしているが、小学校第5学年、第6学年及び中学校においては、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高くなっている。一方、「不得意」と回答した割合は、学年が上がるに従って高くなっており、小学校第6学年及び中学校においては、この3年間で最も高い数値となっている。

⑨ 読書について
[読書は好きだ]

	①	②	③	④
小4	52.3	31.1	10.8	5.8
小5	45.7	32.6	13.7	7.9
小6	45.1	32.7	14.7	7.4
中1	42.7	32.6	16.0	8.7
中2	42.4	31.9	16.0	9.6

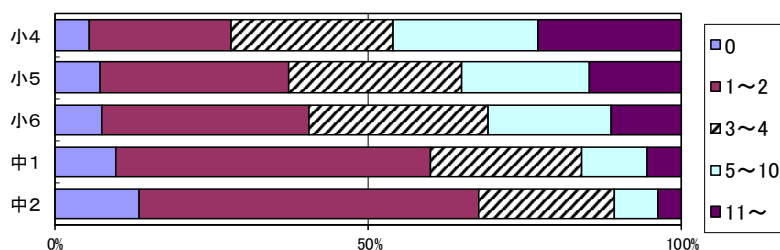


「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



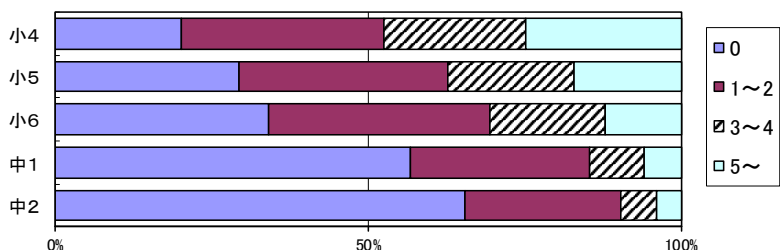
[1か月に何冊くらい本を読むか(教科書・学習参考書・漫画・雑誌や付録を除く)]

	0	1~2	3~4	5~10	11~
小4	5.5	22.6	25.8	23.3	22.9
小5	7.2	30.1	27.5	20.5	14.7
小6	7.5	33.1	28.6	19.6	11.2
中1	9.8	50.0	24.2	10.4	5.6
中2	13.3	54.4	21.6	7.0	3.7



[1か月に何回くらい図書館を利用するか]

	0	1~2	3~4	5~
小4	20.2	32.5	22.6	24.7
小5	29.4	33.3	20.2	17.1
小6	34.2	35.2	18.6	12.0
中1	56.8	28.6	8.9	5.8
中2	65.4	25.1	5.6	3.9



全ての学年において、児童生徒の74%以上は読書が好きだと回答している。また、全ての学年の児童生徒の86%以上が1か月に1冊以上の本を読んでおり、特に小学校では、1か月に5冊以上の本を読んでいる児童が30%以上いることから、日常的に読書に親しんでいる様子がうかがえる。図書館等の利用回数について、月に1回以上利用している児童生徒は、小学校ではおよそ7割程度、中学校では4割程度である。

4 結果と考察

(1) 国語

(2) 社会

(3) 算数、数学

(4) 理科

(5) 英語

4 結果と考察 (1)国語

令和4年度秋田県学習状況調査 小学校第4学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
				知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現
第 4 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)エ (3・4年)	1)	○	
			2)	○	
		(1)カ (3・4年)	3)	○	
			4)	○	
	(3)エ(イ) (3・4年)	5)	○		
		6)	○		
思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	B(1)ウ (3・4年)	12)		○	
		C(1)イ (3・4年)	7)	○	
	10)		○		
	11)		○		
	C(1)エ (3・4年)	8)	○		
9)		○			

小学校 4年 国語 小問別通過率と設定通過率

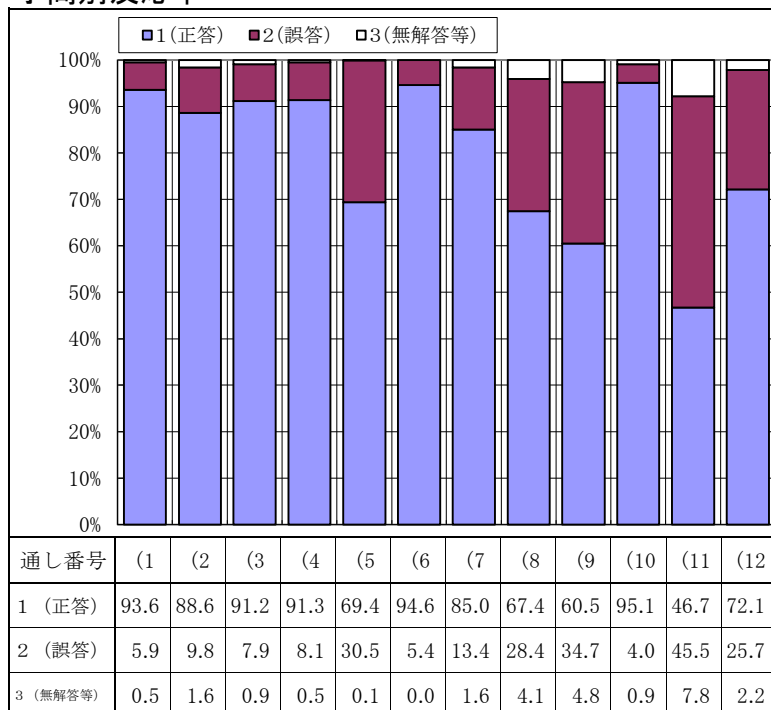
平均通過率 79.6%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (むれ)	93.6	80.0	
(2)	漢字を読む (しょうめい)	88.6	80.0	
(3)	漢字を書く (発表)	91.2	80.0	
(4)	漢字を書く (遊ぶ)	91.3	80.0	
(5)	修飾と被修飾との関係	69.4	70.0	
(6)	文字の配列	94.6	70.0	
(7)	叙述を基に登場人物の心情を捉える	85.0	70.0	
(8)	登場人物の心情の変化を捉える	67.4	70.0	
(9)	登場人物の心情の変化を捉える	60.5	60.0	
(10)	叙述を基に登場人物の心情を捉える	95.1	70.0	
(11)	叙述を基に登場人物の心情を捉える	46.7	60.0	
(12)	家で勉強するときに工夫していることと、工夫してよかったと感じていることを書く	72.1	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (178校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均通過率
100%	58	25	56	42	12	56	18	8	4	65	2	19	1
90%~100%	73	61	66	76	14	89	38	8	8	89		19	16
80%~90%	35	67	48	47	31	31	78	33	9	21	4	40	77
70%~80%	8	20	4	11	37	1	32	36	27	2	14	35	73
60%~70%	3	3	2	1	43	1	8	54	46	1	24	29	11
50%~60%	1	2	1		23		2	21	56		38	20	
40%~50%					13		1	7	18		40	9	
30%~40%					4		1	5	7		36	5	
20%~30%					1			4	1		15	1	
10%~20%								2	1		2	1	
0%~10%			1	1					1		3		

小学校4年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の 分類	内 容 別			計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		
		書くこと	読むこと	
+10% より高い	4	0	2	6
±10% の範囲内	2	1	2	5
-10% より低い	0	0	1	1
計	6	1	5	12

2 考察

(1) 全体について

12問中11問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況は概ね良好である。

(2) 成果

① [知識及び技能] では、漢字を読んだり書いたりすることについて、指導の成果が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「書くこと」では、条件に従って、事実と感想を区別して書くことについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

[思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、叙述を基に登場人物の行動と心情とを関連付けて捉えることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域の学習との関連を図りながら、修飾と被修飾との関係についての理解を深めることができるような指導の手立てを工夫する。

- ・修飾と被修飾との関係について、単に知識として身に付けさせるだけでなく、〔思考力、判断力、表現力等〕の学習との関連を図りながら指導することで、日常の学習や生活に生きて働くものであることを実感させることが大切である。例えば、「書くこと」の学習の際、児童が書いた文章の中から修飾語が効果的に用いられている一文を取り上げ、表現の工夫やよさについて考えさせる学習活動を通して、修飾語への理解を深めさせるなどの手立てが考えられる。

登場人物の心情について、叙述に基づき具体的に捉えることができるような指導の手立てを工夫する。

- ・登場人物の行動や会話、地の文などの叙述を手掛かりにするとともに、登場人物の境遇や性格なども踏まえ、心情を具体的に考えることができるようにすることが大切である。その際、考えたことを児童が整理できるように、どの叙述からどのような心情を捉えたのかということや、どの叙述同士を結び付けて解釈したのかということ等が明確になるよう、構造的な板書やICTの活用によって視覚化することが効果的である。
- ・叙述を基に捉えた登場人物の心情を、児童が話したり書いたりして、言葉で表現できるようにすることが大切である。また、児童の実態に応じて、読んで考えたことを動作化や劇化などの方法で表現する活動を取り入れ、表現の意図や感想などを伝え合わせることで、個の考えを明確にもたせたり、考えたことを言葉で表現させたりすることにつながることも考えられる。

〔参考 通し番号 5〕

3 次の文の ちよこんと は、どの言葉をクリックしてありますか。ア〜エから一つ選んで、 の中に記号を書きなさい。

ア 女の子が ちよこんと 前の いす に すわった。

エ

〔参考 通し番号 11〕

4 次の物語に出てくるたから物について話し合っている場面です。れんさんになったつもりで、 に当てはまる内容を、本文中から十六字でぬき出して書きなさい。ただし、読点（、）も一字に数えます。

れん でも、そこがこの物語のおもしろさだと思います。「。」「というおにの子の行動からは、夕やけの美しさに引きつけられている気持ちが伝わってきます。」〈略〉

令和4年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
				知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現		
第 5 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)エ (5・6年)	・第5学年までに配当されている漢字を正しく読んでい る。	1)	○		
				2)	○		
			・第4学年までに配当されている漢字を正しく書いてい る。	3)	○		
				4)	○		
		(1)カ (3・4年)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	5)	○		
		(3)ウ (5・6年)	・漢字の由来について理解している。	6)	○		
	(3)エ(イ) (3・4年)	・漢字や仮名の大きさ，配列に注意して書いている。	7)	○			
	(1)キ (5・6年)	・日常よく使われる敬語を理解している。	8)	○			
	(3)イ (3・4年)	・慣用句の意味を理解している。	9)	○			
年	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	A(1)エ (5・6年)	・「話すこと・聞くこと」において，話し手の目的や自 分がかこうとする意図に応じて，話の内容を捉え，話 し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめている。	10)		○	
				11)		○	
		B(1)ウ (5・6年)	・「書くこと」において，事実と感想，意見とを区別し て書くなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を 工夫している。	16)		○	
				C(1)ア (5・6年)	・「読むこと」において，事実と感想，意見などとの関 係を叙述を基に押さえている。	12)	
		・「読むこと」において，文章全体の構成を捉えて要旨 を把握している。	14)				○
			15)				○
C(1)ウ (5・6年)	・「読むこと」において，論の進め方について考えてい る。	13)		○			

小学校 5年 国語 小問別通過率と設定通過率

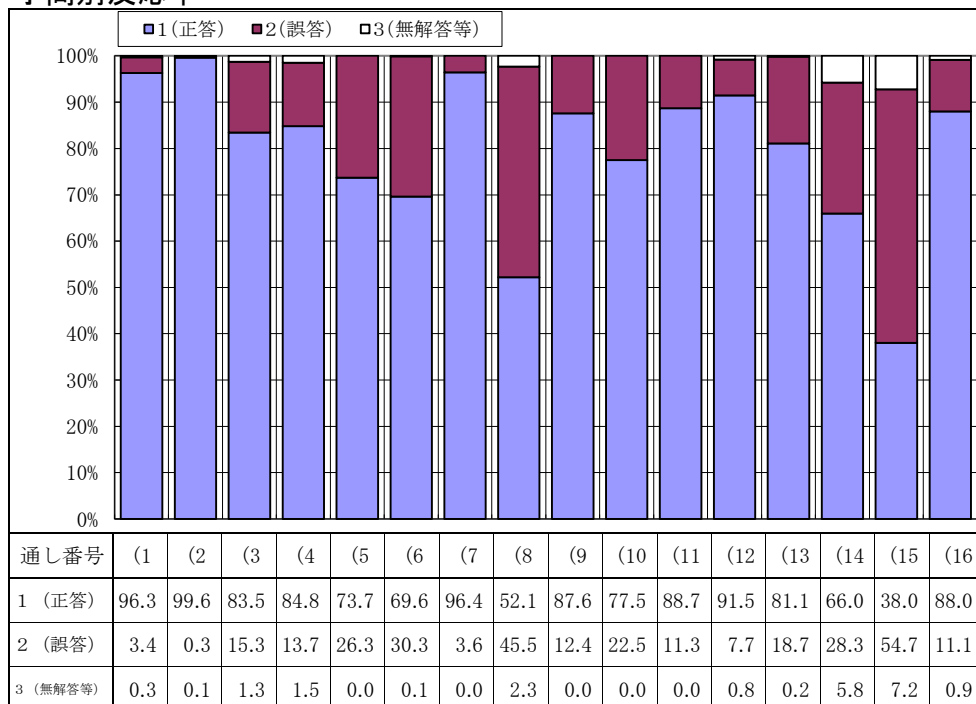
平均通過率 79.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (ぎじゅつ)	96.3	80.0	
(2)	漢字を読む (すごす)	99.6	80.0	
(3)	漢字を書く (参加)	83.5	70.0	
(4)	漢字を書く (冷たい)	84.8	70.0	
(5)	修飾と被修飾との関係	73.7	80.0	
(6)	漢字の成り立ち	69.6	60.0	
(7)	文字の配列	96.4	80.0	
(8)	敬語	52.1	60.0	
(9)	慣用句	87.6	70.0	
(10)	発言の意図を捉える	77.5	70.0	
(11)	意図を明確にした質問を考える	88.7	70.0	
(12)	叙述を基に内容を捉える	91.5	70.0	
(13)	段落同士の関係を捉える	81.1	70.0	
(14)	文章の要旨を捉える	66.0	60.0	
(15)	文章の要旨を捉える	38.0	60.0	
(16)	クラブ活動の楽しさについて、活動の様子を取り上げて書く	88.0	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (177校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	平均通過率
100%	72	160	12	19	9	7	71	2	22	6	22	41	10	5		47	
90%~100%	92	17	48	50	14	17	94	2	62	13	66	79	23	3	1	54	5
80%~90%	13		51	64	45	32	8	10	71	61	69	50	73	25	1	48	88
70%~80%			42	31	50	44	3	20	19	64	17	7	52	50	6	12	76
60%~70%			20	4	39	37	1	21	3	27	3		14	46	16	7	8
50%~60%			4	8	11	20		38		5			2	32	26	7	
40%~50%				1	9	14		42		1			3	13	36	2	
30%~40%						4		25						2	39		
20%~30%						1		12							35		
10%~20%								2							14		
0%~10%						1		3						1	3		

小学校5年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	内 容 別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
+10%より高い	6	1	0	2	9
±10%の範囲内	3	1	1	1	6
-10%より低い	0	0	0	1	1
計	9	2	1	4	16

2 考察

(1) 全体について

16問中15問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①〔思考力、判断力、表現力等〕の「書くこと」では、自分の考えが伝わるように、事実と感想、意見とを区別して書くことについて、指導の成果が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「話すこと・聞くこと」では、自分が聞こうとする意図に応じて自分の考えをまとめることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①〔知識及び技能〕では、日常よく使われる敬語を理解することについて、課題が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」では、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

敬語についての理解を深め、使い慣れることができるよう、日常生活や学校生活と関連させた指導の工夫を図る。

- ・児童が敬語の役割や必要性を自覚し始める時期であることを考慮し、日常生活の中で相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに慣れるようにすることが大切である。例えば、学習発表会の来校者への対応を想定した役割演技の場面を設定し、児童にどのような言葉遣いをすればよいかを考えさせ、実際に表現させてみるなど、相手や場面を意識しながら敬語を使い慣れることができるような学習活動を取り入れて指導することが考えられる。

〔参考 通し番号 8〕
6 次の文の「 」部を、けんじょう語を使った表現に直して、 の中
に書きなさい。
・先生に本を どける。

文章全体の構成を正確に捉えた上で、要旨を把握できるようにするための指導の工夫を図る。

- ・要旨を正確に把握するためには、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえた上で、文章全体の構成を捉えることが大切である。
- ・文章全体の構成を正確に捉えるためには、例えば、ICTの機能を活用して、文章中の事実と感想、意見などをマーカーで色分けさせたり、段落相互の関係を図示させたりするなどして、児童が文章全体を俯瞰して思考できるように指導することが考えられる。また、〔知識及び技能〕の(1)力の「話や文章の構成や展開」と関連付けて指導することも有効である。

〔参考 通し番号 15〕
3 次の文は、かいさん、まこさん、りくさんが、日本語の数え方について話し合っている様子です。〈中略〉また、(B)に当てはまる内容を、本文中の言葉を用いて二十字以内で書きなさい。
まこ なるほど。筆者が述べているように、言葉には(A) (B)があるということに目を向けて、数え方について考えてみるのもおもしろそうですね。

令和4年度秋田県学習状況調査 小学校第6学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
				知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	
第 6 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)エ (5・6年)	・第6学年までに配当されている漢字を正しく読んでい る。	1)	○	
				2)	○	
			・第5学年までに配当されている漢字を正しく書いてい る。	3)	○	
				4)	○	
		(1)ウ (5・6年)	・文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるととも に，送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。	5)	○	
		(3)ウ (3・4年)	・漢字が，へんやつくりなどから構成されていることにつ いて理解している。	6)	○	
		(1)カ (3・4年)	・修飾と被修飾との関係について理解している。	7)	○	
		(3)エ (イ) (3・4年)	・漢字や仮名の大きさ，配列に注意して書いている。	8)	○	
		(1)キ (5・6年)	・日常よく使われる敬語を理解している。	9)	○	
学 年	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	A (1)エ (5・6年)	・「話すこと・聞くこと」において，話し手の目的や自分 が聞こうとする意図に応じて，話の内容を捉え，話し手 の考えと比較しながら，自分の考えをまとめている。	10)		○
				11)		○
		B (1)ウ (5・6年)	・「書くこと」において，事実と感想，意見とを区別して 書くなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫 している。	18)		○
		C (1)イ (5・6年)	・「読むこと」において，登場人物の相互関係や心情など について，描写を基に捉えている。	12)		○
				13)		○
				14)		○
				15)		○
		C (1)エ (5・6年)	・「読むこと」において，表現の効果を考えている。	16)		○
				17)		○

小学校 6年 国語 小問別通過率と設定通過率

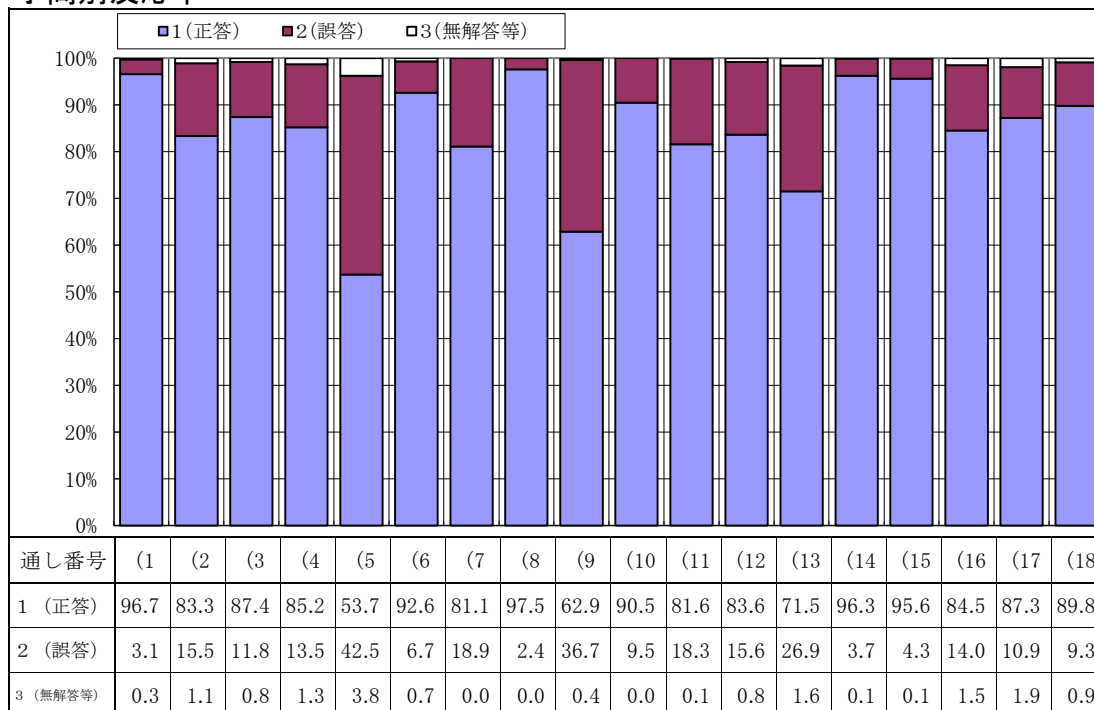
平均通過率 84.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (いじゅう)	96.7	80.0	
(2)	漢字を読む (おぎなう)	83.3	80.0	
(3)	漢字を書く (似ている)	87.4	70.0	
(4)	漢字を書く (許可)	85.2	70.0	
(5)	正しい送り仮名で漢字を書く (耕す)	53.7	60.0	
(6)	漢字の部首	92.6	80.0	
(7)	修飾と被修飾との関係	81.1	80.0	
(8)	文字の配列	97.5	80.0	
(9)	敬語	62.9	70.0	
(10)	相手の話の内容を捉え、質問する	90.5	70.0	
(11)	話合いの進め方について理解する	81.6	70.0	
(12)	描写を基に情景を捉える	83.6	70.0	
(13)	描写を基に登場人物の心情を捉える	71.5	70.0	
(14)	描写を基に登場人物の心情を捉える	96.3	80.0	
(15)	描写を基に登場人物の心情を捉える	95.6	70.0	
(16)	表現の効果について考える	84.5	70.0	
(17)	表現の効果について考える	87.3	60.0	
(18)	自分の学校のよさについて自分の考えを書く	89.8	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (178校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	74	20	25	20	4	49	12	87	4	27	9	13	7	69	65	20	30	40	
90%~100%	97	37	53	42	4	83	32	83	29	79	24	35	12	99	97	38	63	80	27
80%~90%	5	63	73	75	11	41	59	5	31	62	75	87	34	10	15	75	48	32	124
70%~80%	2	40	23	31	21	5	50	3	20	8	51	31	53		1	36	24	15	25
60%~70%		14	3	7	32		17		30		13	8	51			8	7	7	2
50%~60%		3	1	3	38		6		20	2	6	2	17			1	5	1	
40%~50%		1			30		2		10				2					1	
30%~40%					22				11										
20%~30%					11				9				1				1	1	
10%~20%					5				7										
0%~10%									7			2	1						

小学校6年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	内 容 別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
+10%より高い	5	2	0	5	12
±10%の範囲内	4	0	1	1	6
-10%より低い	0	0	0	0	0
計	9	2	1	6	18

2 考察

(1) 全体について

全ての問題が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況は良好である。

(2) 成果

① [知識及び技能] では、漢字が、へんやつくりなどから構成されていることを理解することについて、指導の成果が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、次の二点について、指導の成果が見られる。

- ・登場人物の心情などについて、描写を基に捉えること
- ・表現の効果を考えること

(3) 課題

[知識及び技能] では、日常よく使われる敬語を理解することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

日常よく使われる敬語の意味を理解し使い慣れることができるよう、[思考力、判断力、表現力等]の各領域の学習や日常生活と関連させた指導の充実を図る。

- ・敬語の意味や使い方を理解するためには、[思考力、判断力、表現力等]の各領域の学習において、敬語を用いる場面を意図的に設定し、話したり書いたりして表現する活動を取り入れることが有効である。そうした学習活動を通して、敬語の役割や必要性に気付かせ、日常生活の中で相手や場面に応じて適切に敬語を使おうとする意識を高めることが大切である。
- ・学校行事や来客がある時などに関連させ、初対面の相手や目上の相手などに対し、敬語を使うことができる機会を設けることも効果的である。

複数の描写を関係付けて、登場人物の相互関係や心情などを具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるよう、指導の手立てを工夫する。

「読むこと」の領域における指導の成果を踏まえ、次に挙げる点等を重視しながら、指導の工夫を継続することが大切である。

- ・登場人物の相互関係や心情を捉えるために、直接的な描写だけでなく、登場人物の行動や会話、情景などの暗示的に表現されている描写にも着目させ、複数の描写を関係付けて読む学習活動を展開することが大切である。
- ・児童が着目した表現について、人物像や物語の全体像と関わらせながら、叙述が生み出している効果を具体的に考えることができるよう指導することが大切である。考えたことを他者と共有することで、叙述が生み出す感動を味わったり、物語に込められたメッセージについて考えたりしながら読むことができるよう指導することも効果的である。

【参考 通し番号9】
7 次の文の――部を、
尊敬語を使った表現に
直して、□の中に
書きなさい。
・校長先生が、思い出
を話した。

【参考 通し番号15】
3 日はしだいに高くなる。とありますが、このときの少年の気持ちとして最もふさわしいものを、次のア～エから一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。
ア 時間が過ぎるのを実感し、帰りの道のりに不安を感じている。
イ まだ時間はたっぷりあるので、のんびり行こうと思っている。
ウ まったく雨が降りそうもないので、少し残念だと思っている。
エ だんだん暖かくなるので、楽しみに帰れそうだとほっとしている。

令和4年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
				知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現
第 1 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)イ (中)	1)	○	
			2)	○	
			3)	○	
			4)	○	
			5)	○	
			6)	○	
			7)	○	
	(1)エ (中)	8)	○		
	(1)カ (小5・6)	9)	○		
	(3)エ(ア) (中)	10)	○		
学 年	思 考 力、	A(1)イ (中)	11)		○
		A(1)オ (中)	12)		○
	判 断 力、	B(1)ウ (中)	18)		○
		C(1)ウ (中)	13)		○
	15)			○	
	16)		○		
表 現 力 等	C(1)エ (中)	14)		○	
	C(1)オ (中)	17)		○	

中学校 1 年 国語 小問別通過率と設定通過率

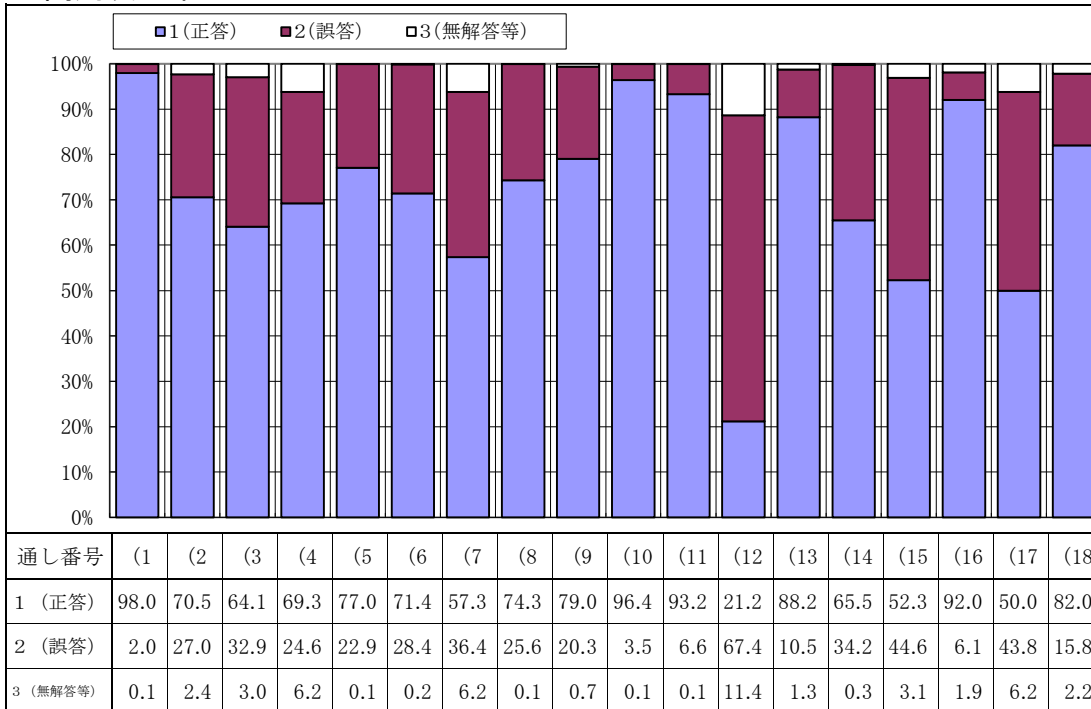
平均通過率 72.3%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (けいこく)	98.0	80.0	
(2)	漢字を読む (ふるう)	70.5	80.0	
(3)	漢字を書く (故障)	64.1	70.0	
(4)	漢字を書く (厳しい)	69.3	70.0	
(5)	同じ音をもつ熟語	77.0	80.0	
(6)	熟語の構成	71.4	70.0	
(7)	漢字の部首	57.3	70.0	
(8)	文節	74.3	70.0	
(9)	文の中での語句の係り方	79.0	70.0	
(10)	文字の配列	96.4	70.0	
(11)	話合いの内容を捉える	93.2	80.0	
(12)	質問の意図を捉える	21.2	60.0	
(13)	文章の内容を捉える	88.2	80.0	
(14)	段落相互の関係を捉える	65.5	70.0	
(15)	目的に応じて文章を要約する	52.3	60.0	
(16)	文章の内容を捉える	92.0	70.0	
(17)	文章を基に自分の考えをまとめる	50.0	60.0	
(18)	好きなキャッチフレーズを選んだ理由を経験と関連付けて書く	82.0	80.0	

※ ——— は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (109校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	51	3	4	5	6	4	5	4	5	34	17		11	5	1	19	1	12	
90%~100%	55	7	1	5	4	3	1	5	6	68	67		35			60		35	
80%~90%	2	18	9	17	25	16	7	31	34	7	21		52	6	9	25	2	25	10
70%~80%		27	22	33	55	39	13	33	47		3	2	11	28	8	5	5	18	65
60%~70%		27	31	21	18	34	26	22	14			1		40	16		9	14	33
50%~60%		21	31	20		10	23	8	2		1	4		19	21		44	4	1
40%~50%		4	8	7	1	3	17	3				5		8	33		33	1	
30%~40%		2	1	1			7	1				10			14		8		
20%~30%			1				5					29		1	5		5		
10%~20%							3							1	1				
0%~10%	1		1				2	2	1			12		1	1		2		

中学校1年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の 分類	内 容 別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
+10%より高い	2	1	0	1	4
±10%の範囲内	7	0	1	4	12
-10%より低い	1	1	0	0	2
計	10	2	1	5	18

2 考察

(1) 全体について

18問中16問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

① [知識及び技能] では、漢字の読み書きや熟語の構成を理解することについて、指導の成果が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「書くこと」では、自分の経験と関連付けながら、考えが伝わるように工夫して書くことについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

① [思考力、判断力、表現力等] の「話すこと・聞くこと」では、話合いの展開を踏まえ、発言の意図を捉えることについて、課題が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、目的に応じて要約することや文章を基に自分の考えをまとめることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる指導の充実を図る。

- ・話題や展開を捉えながら話し合う際は、話合いの到達点を明確にして話したり聞いたりできるようにするとともに、話合いの展開に応じて、互いの発言を結び付け、自分の考えや集団としての考えをまとめることができるようにすることが大切である。
- ・互いの発言を結び付けて考えをまとめるためには、例えば付箋紙を使って意見を出し合い、結論をまとめていく言語活動を取り入れることが考えられる。複数の発言を比較・検討して共通点や相違点を整理したり、互いの考えを取り入れたりすることのよさに気付かせることが大切である。
- ・タブレット型端末で動画撮影した話合いの様子を、発言の内容に着目しながら視聴し、目的に沿った話合いになっていかを振り返る活動等も効果的である。

【参考 通し番号 12】
【話し合いの様子】

石川 山下さんに質問です。名古屋の駅で、構内放送が方言だったそうですが、方言の意味が分からなくて、困ることはなかったのですか。(略)

2 方言の意味が分からなくて、困ることはなかったのですか。と石川さんが質問した意図を説明した次の文の内容を、二十字以内で書きなさい。

自分の考えの根拠が

目的に応じて、必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する指導の充実を図る。

- ・説明的な文章において、必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する際には、目的を明確にした上で要約に取り組むようにするとともに、理解したことを条件に応じて再構築できるようにすることが大切である。
- ・概略を理解するために文章全体の内容を短くまとめたり、情報を他者に伝えるために必要な部分を取り出してまとめたりするなど、目的や必要に応じた内容や分量、方法で要約する言語活動を取り入れることが考えられる。
- ・中心となる語や文を見つけてサイドラインを引きながら読むことの習慣化を図ったり、要約した内容を読み合い、必要な情報が相手に適切に伝わっているかを相互評価したりすることも有効である。

【参考 通し番号 15】

3 あきらさんは、本文の内容をもとに、日常生活で中高年層や高齢者がよく使うオノマトベについて、次のように表にまとめました。これを読んで、後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) A	「ごりごり」「すかさすか」	中高年層や高齢者がよく使うオノマトベ	筆者の考察
	若い世代に比べて、中高年層や高齢者はAが多かったからではないか。		

をういて十五字以内で書きなさい。本文中の言葉

令和4年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
				知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現		
第 2 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)ウ (中2)	・中学校第1学年までに学習した常用漢字を正しく読んでいる。	4)	○		
				5)	○		
			・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	6)	○		
				7)	○		
		(1)イ (中1)	・漢字の由来について理解している。	8)	○		
		(1)カ (小5・6)	・文の中での語句の係り方や語順について理解している。	9)	○		
		(1)エ (中1)	・単語の類別について理解している。	10)	○		
		(3)エ(ア) (中1)	・字形，文字の大きさ，配列などを整え，楷書で書くことについて理解している。	11)	○		
		(3)ア (中1)	・歴史的仮名遣いについて理解している。	12)	○		
	学 年	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	A(1)エ (中2)	・「話すこと・聞くこと」において，論理の展開などに注意して聞き，話し手の考えを捉えている。	1)		○
					2)		○
			A(1)オ (中2)	・「話すこと・聞くこと」において，互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くために考えをまとめている。	3)		○
B(1)ウ (中2)			・「書くこと」において，根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	18)		○	
C(1)ウ (中1)			・「読むこと」において，場面と場面，場面と描写などを結び付け，内容を解釈している。	13)		○	
C(1)エ (中2)			・「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，表現の効果について考えている。	14)		○	
	C(1)イ (中2)	・「読むこと」において，登場人物の言動の意味などについて考え，内容を解釈している。	15)		○		
			16)		○		
			17)		○		

中学校2年 国語 小問別通過率と設定通過率

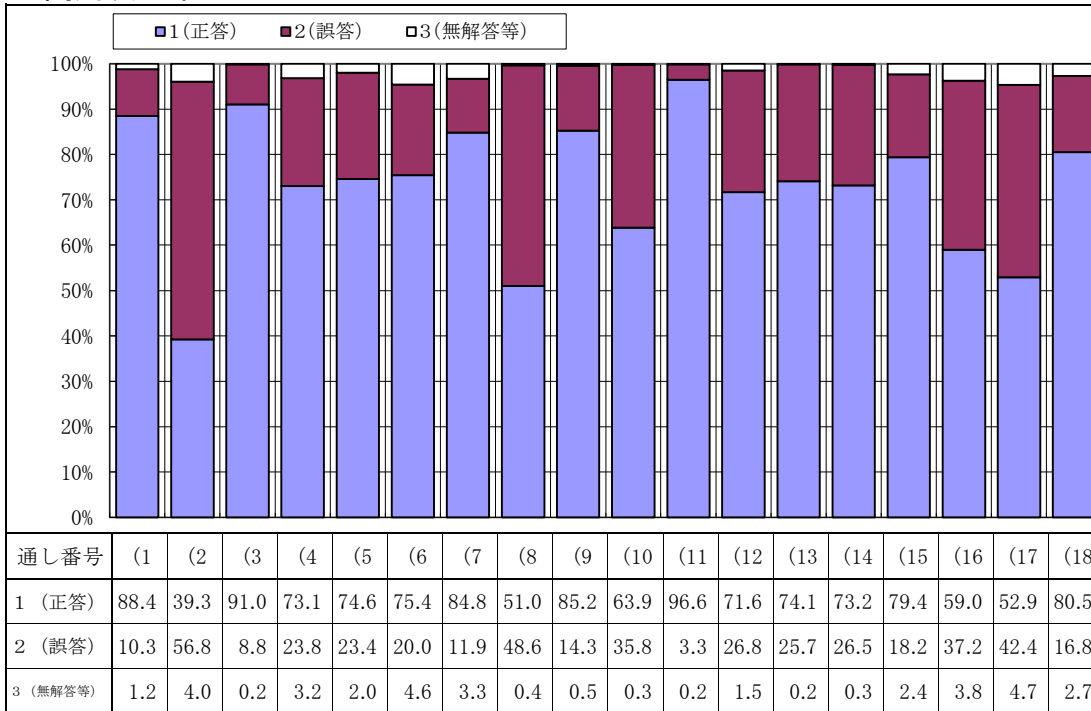
平均通過率 73.0%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	話の内容を捉える	88.4	80.0	
(2)	話の内容を捉える	39.3	60.0	
(3)	話合いの進め方について理解する	91.0	80.0	
(4)	漢字を読む (びんせん)	73.1	70.0	
(5)	漢字を読む (つかえる)	74.6	70.0	
(6)	漢字を書く (看病)	75.4	70.0	
(7)	漢字を書く (率いる)	84.8	70.0	
(8)	漢字の成り立ち	51.0	70.0	
(9)	文の中での語句の係り方	85.2	80.0	
(10)	品詞	63.9	70.0	
(11)	文字の配列	96.6	80.0	
(12)	歴史的仮名遣い	71.6	70.0	
(13)	文章の内容を捉える	74.1	70.0	
(14)	表現の工夫を捉える	73.2	70.0	
(15)	登場人物の言動の理由を考える	79.4	70.0	
(16)	登場人物の言動の理由を考える	59.0	60.0	
(17)	登場人物の心情を捉える	52.9	60.0	
(18)	自分が気に入った季語を選んだ理由について体験と関連付けて書く	80.5	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (110校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	16	2	13	3	6	1	11	1	9	3	42	6	6	3	9	2	3	14	
90%~100%	54	3	63	6	7	10	29		28		64	7	3	4	12		5	29	1
80%~90%	25	2	33	17	23	31	48		46	10	4	20	27	21	48	7	26	30	19
70%~80%	4	4	1	45	36	40	16	1	22	30		32	40	43	29	12	17	16	62
60%~70%	7	13		26	32	19	5	12	3	29		28	29	30	6	31	8	12	23
50%~60%	1	15		11	5	6		42		22		12	5	5	4	37	8	3	5
40%~50%	1	14		1	1	2		37		10		2		2	1	13	1	2	
30%~40%	1	20					1	13	1	2		3		2		7	7	1	
20%~30%		23						2		3							20	1	
10%~20%		11															12		
0%~10%	1	3		1		1		2	1	1					1	1	3	2	

中学校 2 年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	内 容 別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
+10%より高い	2	1	0	0	3
±10%の範囲内	6	1	1	5	13
-10%より低い	1	1	0	0	2
計	9	3	1	5	18

2 考察

(1) 全体について

18問中16問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①〔知識及び技能〕では、漢字の読み書きや、書写における文字の配列について、指導の成果が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「書くこと」では、自分の考えが相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えながら文章を書くことについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①〔思考力、判断力、表現力等〕の「話すこと・聞くこと」では、話の構成や論理の展開に注意しながら聞き、内容を捉えることに課題が見られる。

②〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」では、描写の効果や登場人物の言動の意味を考えて読み、内容を解釈することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

話し合いの流れを確認しながら互いの発言を検討し、自分の考えを広げる指導の充実を図る。

- ・話し合いを行う際には、目的に応じて互いの発言を整理し、議論の焦点を明確にする必要がある。例えば、表を用いて複数の発言を比較し互いの共通点や相違点を整理したり、ウェビングを用いて複数の意見を関連付けながら議論の方向性を捉え考えをまとめたりする学習活動を取り入れることが考えられる。
- ・互いの発言を検討し自分の考えを広げる際は、タブレット型端末等で撮影した自分たちの話し合いの動画を再生し、司会者が目的に応じて適切に進行できているかについて振り返ったり、自分とは異なる物事の捉え方や考え方があることを踏まえて話し合っているかを相互評価したりするなどの手立ても有効である。

【参考 通し番号 2】

2 はなさんは、フードドライブの取り組みを地域へ紹介することで、どのような効果が期待できると話していましたか。解答欄に書きなさい。

はな：また、フードドライブの取り組みを、地域へ紹介してはどうでしょう。食品ロスに対する、地域住民の関心を高める効果が期待できると思います。

描写の効果や登場人物の言動の意味などについて考えたことを交流することで、内容の理解を深める指導の充実を図る。

- ・登場人物の言動の意味を考える際は、言動が話の展開にどのように関わっているかについて、言動と人物像とを関連付けたり、複数の人物の言動を対比したりするなど、多面的な視点から思考を深める手立てを工夫することが大切である。また、心情が暗示的に表現されている描写を取り上げ、その描写の必然性や読み手に与える効果について、主体的に捉えたり問い直したりする場面を位置付けるなどして、作品の内容をより深く理解できるようにすることも効果的である。
- ・登場人物の言動の意味や表現の効果などについて考えたことを交流する活動を通して、自分の考えの妥当性を吟味するとともに、他者の多様な考えに触れ、自分の考えを広げたり深めたりできるようにすることも大切である。

【参考 通し番号 16】

3 ならみつけてやった とありますが、「僕」がそうした理由について、次のようにまとめました。() に入るふさわしい内容を十五字以内で書きなさい。

「ほんとに、いたんだ」という言葉から、ひろしも()ことを知り、腹立たしく感じたから。

4 結果と考察 (2) 社会

令和4年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 社会 評価規準と評価の観点

学年	内容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
				知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第4 学 年	(1)	・地図帳を活用して、都道府県についての情報を集め、適切に読み取っている。	(1)	○	
	(1)	・地図帳から必要な情報を集め、適切に読み取っている。	(2)	○	
第3 学 年	(1)	・地図記号と方位に関する基礎的な知識を活用して、地図を適切に読み取っている。	(3)	○	
	(1)	・地図記号に着目し、土地利用の違いについて、適切に表現している。	(4)		○
	(2)	・販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現している。	(5)		○
第4 学 年	(1)	・秋田県の主な都市の位置について理解し、その知識を身に付けている。	(6)	○	
	(1)	・秋田県の特色ある産業の分布に着目し、県の様子について適切に表現している。	(7)		○
	(4)	・県内の伝統や文化について、保存や継承のための取組に着目して問いを見だし、追究・解決の方法を適切に判断している。	(8)		○
	(3)	・自然災害に対する関係機関の役割について理解し、その知識を身に付けている。	(9)	○	
	(3)	・自然災害に対する関係機関の協力体制について、資料から読み取り、適切に表現している。	(10)		○
	(3)	・自然災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、適切に判断している。	(11)		○
第5 学 年	(1)	・我が国の国土と気候の概要について、資料を適切に読み取っている。	(12)	○	
	(1)	・我が国の自然環境の特色について、資料から読み取り、適切に表現している。	(13)		○
	(1)	・我が国の気候の特色について、資料から読み取り、適切に表現している。	(14)		○
	(2)	・我が国の農業の特色について、資料から読み取り、適切に表現している。	(15)		○
	(2)	・我が国の農業の特色について、資料を基に考え、適切に表現している。	(16)		○
	(1)	・世界における我が国の国土の位置について理解し、その知識を身に付けている。	(17)	○	
	(1)	・我が国の国土の構成について理解し、その知識を身に付けている。	(18)	○	

小学校 5年 社会 小問別通過率と設定通過率

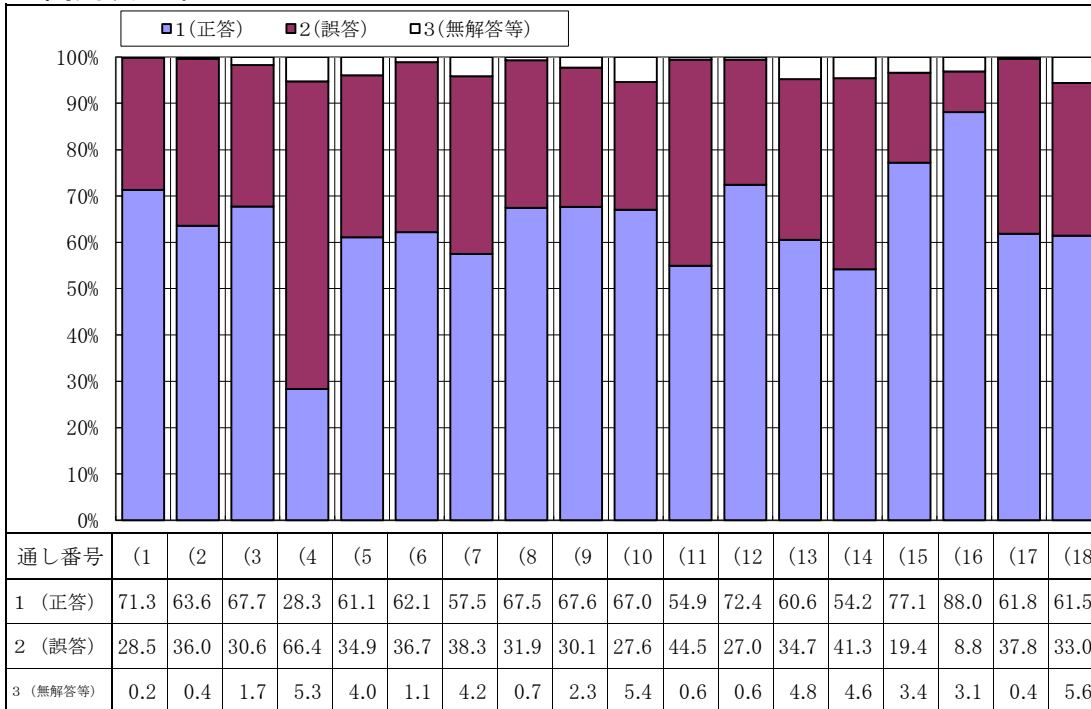
平均通過率 63.6%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	地図帳の活用	71.3	80.0	
(2)	地図帳の活用	63.6	70.0	
(3)	地図記号と方位	67.7	75.0	
(4)	場所による違い	28.3	60.0	
(5)	販売に携わる人の工夫	61.1	65.0	
(6)	秋田県的主要都市	62.1	70.0	
(7)	秋田県の特徴ある産業	57.5	65.0	
(8)	秋田県の伝統や文化	67.5	65.0	
(9)	関係機関の役割	67.6	75.0	
(10)	関係機関の協力体制	67.0	75.0	
(11)	災害から人々を守る活動	54.9	60.0	
(12)	我が国の国土と気候の概要	72.4	80.0	
(13)	我が国の自然環境の特徴	60.6	70.0	
(14)	我が国の気候の特徴	54.2	60.0	
(15)	我が国の農業の特徴	77.1	80.0	
(16)	我が国の農業の特徴	88.0	75.0	
(17)	我が国の位置	61.8	70.0	
(18)	我が国の国土の構成	61.5	65.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (177校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	7	5	8	1	4	2	5	3	7	5		6	2	2	12	35	4	4	
90%~100%	12	3	12		4	2	6	4	11	10		5	2	10	19	67	3	5	
80%~90%	33	19	30	2	15	22	17	18	34	38	4	26	20	17	55	52	16	22	7
70%~80%	44	41	29	5	37	36	27	51	46	36	11	75	26	20	45	17	35	27	44
60%~70%	56	50	62	7	43	45	34	68	31	40	40	46	45	28	29	6	51	50	74
50%~60%	21	35	28	15	40	54	36	26	30	29	67	16	41	36	11		38	36	47
40%~50%	2	19	4	16	18	13	29	4	12	12	41	2	26	19	5		23	19	5
30%~40%	1	5	3	27	13	3	16	1	5	7	8		10	20			6	10	
20%~30%			1	44	2		3	1			4		2	18	1		1	4	
10%~20%				43			3		1		1		2	3					
0%~10%	1			17	1		1	1			1	1	1	4					

小学校5年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		内 容 別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	3・4年	地理的内容	
+10% より高い	0	1	0	1	1
±10% の範囲内	8	8	10	6	16
-10% より低い	0	1	1	0	1
計	8	10	11	7	18

2 考察

(1) 全体について

18問中17問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」という結果で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。経年比較している設問の8問中、昨年度（通し番号16は令和2年度）の通過率を上回った設問が4問あった。

(2) 成果

- ①自然災害から人々を守る活動の学習において、関係機関や地域の人々が、自然災害に対し協力して対処していることを諸資料から適切に読み取ることについて、指導の改善が図られている。
- ②自然環境を生かした産業の学習において、我が国の食料生産に従事する人々の工夫や努力に関する情報を、諸資料から適切に読み取ることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①県内の特色ある地域の様子学習において、自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景に着目して地域の様子や特色を捉え、調べたことや考えたことを表現することに課題が見られる。
- ②我が国の国土の様子学習において、地形や気候に着目して国土の自然の様子を捉え、調べたことや考えたことを表現する活動の充実を図る必要がある。

3 今後の指導

諸資料を活用して、我が国の各地域の気候の特色や違いについて、社会的事象の見方・考え方を働かせて調べたことや考えたことを表現する力を養う。

○ポイント [通し番号(12(13(14を例として)]

気候の違いを生み出す要因について、時期や地域などに着目して調べ、表現する活動を取り入れる。

○具体例

1 学習問題を確認し、前時の学習内容を振り返る。

＜学習問題の例＞

雨や雪の降る量が、地域や季節によって違うのはなぜだろう。

- ・降水量の違いは、梅雨や台風、季節風などの影響を受けることを確認する。

2 秋田市と仙台市のグラフを比較し、冬の降水量の違いについて考える。

[発問例]

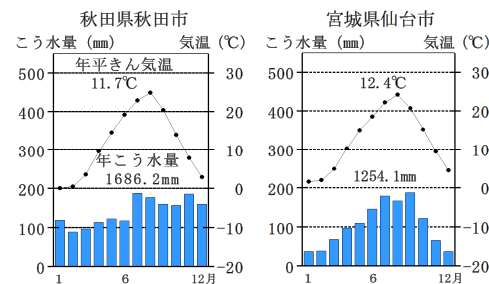
同じ東北地方にある海沿いの都市なのに、なぜ冬の降水量が違うのでしょうか。

- ・東北地方の地図を提示し、都市の位置や地形等について確認させる。
- ・前時の学習内容を関連付けて考えるよう促す。

3 学習問題についてまとめる。

(例) 雨や雪の降る量が地域や季節によって違うのは、梅雨や台風、季節風や山地などの影響を受けるからです。例えば冬には、北西からの季節風が吹き、水分を多く含んで山地にぶつかるため、日本海側に多くの雪が降ります。

資料1 秋田市と仙台市のグラフ



資料2 冬の季節風



学年	内容	評価規準	通し番号	観点	
				知識・技能	思考・判断・表現
第5学年 （第3・4学年の内容を含む）	第4学年(1)	・地図帳を活用して、都道府県についての情報を集め、適切に読み取っている。	(1)	○	
	第4学年(1)	・地図帳から必要な情報を集め、適切に読み取っている。	(2)	○	
	(1)	・世界における我が国の国土の位置について理解し、その知識を身に付けている。	(3)	○	
	(1)	・我が国の国土の構成について理解し、その知識を身に付けている。	(4)	○	
	(2)	・我が国の工業生産に関わる人々について、資料から読み取り、適切に表現している。	(5)		○
	(5)	・我が国の公害防止の取組について、資料から適切に読み取っている。	(6)	○	
	(5)	・公害防止の取組の働きや意義について、資料から読み取り、適切に表現している。	(7)		○
	(4)	・情報と産業の関わりについて、複数の資料から読み取り、適切に判断している。	(8)		○
	(4)	・情報と産業の関わりについて、複数の資料から読み取り、適切に表現している。	(9)		○
	第6学年	(1)	・国民主権の基本的な考え方について、資料から適切に読み取っている。	(10)	○
(1)		・国会、内閣、裁判所の相互の関連について、資料から読み取り、適切に表現している。	(11)		○
(1)		・国や地方公共団体の政治の取組について、資料から適切に読み取っている。	(12)	○	
(1)		・国や地方公共団体の政治の働きと国民生活との関連について、資料から読み取り、適切に表現している。	(13)		○
(2)		・縄文から古墳の各時代の特徴について理解し、その知識を身に付けている。	(14)	○	
(2)		・縄文から古墳の各時代の社会の様子について、資料から読み取り、適切に表現している。	(15)		○
(2)		・古墳時代の社会の様子について、資料から読み取り、適切に表現している。	(16)		○
(2)		・古代に天皇を中心とした政治が確立されたことについて理解し、その知識を身に付けている。	(17)	○	
(2)	・京都に都が置かれた頃の貴族の文化について、複数の資料から読み取ったことを関連付けて、適切に表現している。	(18)		○	

小学校 6年 社会 小問別通過率と設定通過率

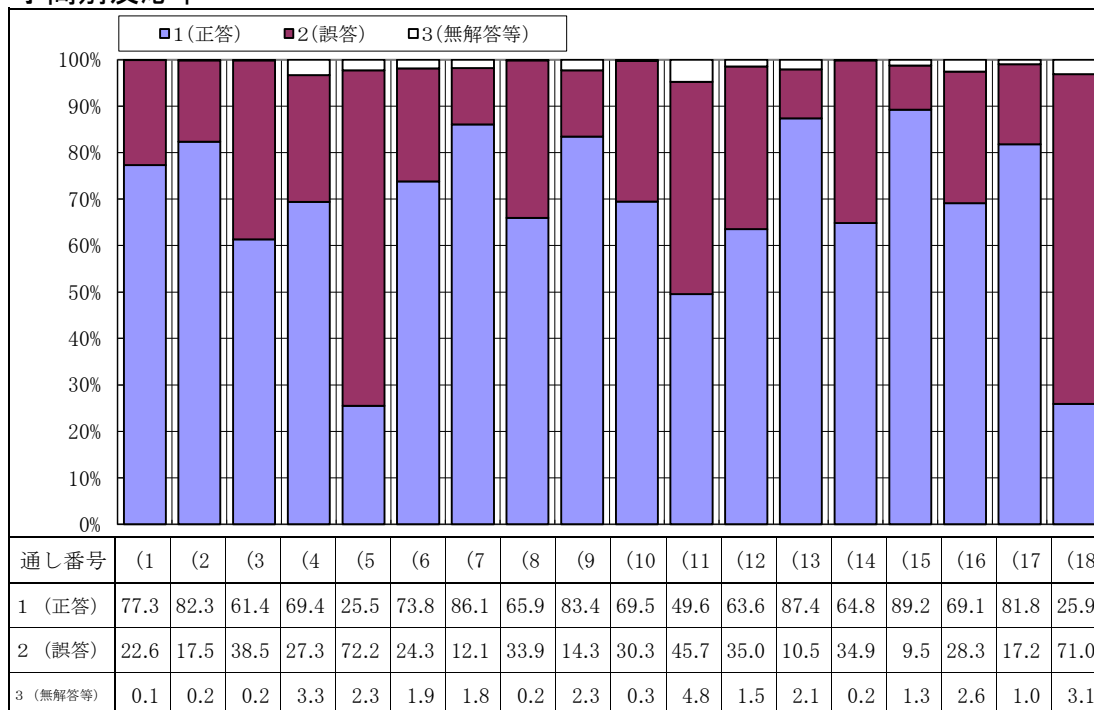
平均通過率 68.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	地図帳の活用	77.3	85.0	
(2)	地図帳の活用	82.3	80.0	
(3)	我が国の位置	61.4	75.0	
(4)	我が国の国土の構成	69.4	70.0	
(5)	我が国の工業生産に関わる人々	25.5	60.0	
(6)	我が国の公害防止の取組	73.8	70.0	
(7)	公害防止の働きと意義	86.1	75.0	
(8)	情報の活用と産業の関わり	65.9	70.0	
(9)	情報の活用と産業の関わり	83.4	75.0	
(10)	国民主権の基本的な考え方	69.5	65.0	
(11)	三権分立の仕組み	49.6	60.0	
(12)	地方公共団体と政治の働き	63.6	65.0	
(13)	政策決定の仕組み	87.4	75.0	
(14)	縄文・弥生・古墳の各時代の特徴	64.8	65.0	
(15)	古代の社会の変化	89.2	75.0	
(16)	大和政権の広がり	69.1	65.0	
(17)	天皇中心の国づくりと仏教の広がり	81.8	70.0	
(18)	平安時代の文化の特徴	25.9	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (178校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	9	21	5	8	1	4	36	7	22	9	2	4	34	7	36	8	19	3	
90%~100%	22	30	4	11	4	17	51	2	40	7	2	5	50	5	70	8	38	1	3
80%~90%	52	64	12	30	9	37	58	22	70	37	13	18	68	25	56	41	55	5	10
70%~80%	47	47	28	48	10	65	22	38	32	45	16	33	19	40	13	46	33	2	72
60%~70%	36	12	52	47	6	37	6	59	11	42	29	54	4	45	1	36	17	4	77
50%~60%	11	3	42	25	13	10	3	33	3	30	50	47	2	34	2	24	11	10	14
40%~50%	1		23	6	10	6		14		7	24	10		13		9	2	19	2
30%~40%		1	11	3	5	1	1	2		1	25	4		5		4	1	18	
20%~30%			1		19			1			10	2		2		1		37	
10%~20%					27						6	1		2			1	41	
0%~10%					73						1		1			1	1	38	

小学校6年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		内 容 別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	地理的内容	歴史的内容	公民的内容	
+10% より高い	1	3	1	2	1	4
±10% の範囲内	7	3	6	2	2	10
-10% より低い	1	3	2	1	1	4
計	9	9	9	5	4	18

2 考察

(1) 全体について

18問中14問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」という結果で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①我が国の公害防止の取組に関する学習において、資料から読み取ったことを関連付けて適切に表現することについて、指導の改善が図られている。

②大和政権の広がりに関する学習において、複数の資料から適切に情報を読み取ることに、指導の改善が図られている。

(3) 課題

①三権分立の仕組みについて、資料から読み取ったことを適切に表現することに課題が見られる。

②平安時代の文化の特徴について、資料から読み取ったことを関連付けて考察したり、適切に表現したりすることに課題が見られる。

3 今後の指導

資料からねらいにつながる情報を適切に読み取るとともに、読み取った事実や既習内容を関連付けて社会的事象の特色などを考え、自分の言葉で表現する活動の充実を図る。

○ポイント [通し番号(18を例として)]

日本風の文化が生まれたことについて、資料から読み取った事実や既習事項を関連付けて考え、表現する活動を取り入れる。

○具体例

- 資料を基に学習問題をつくり、予想をたてる。
 - 大和絵を提示し、描かれている人や服装、生活の様子など、貴族の生活について具体的に着目する視点から問い、児童の発言を引き出す。
 - 女性、豪華な着物、本を読んでいる、優雅な感じなど

<学習問題の例>

貴族の暮らしの中から生まれた文化には、どのような特色があるのだろうか。

- 代表的な人物や文化について調べる。
 - 資料2、資料3などを提示し、当時活躍した人物とその業績に着目させる。
 - 当時の文化の共通点に気付かせる。

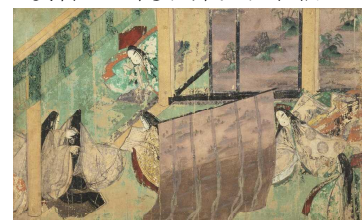
[発問例]

かな文字を用いた作品や、当時の服装などには、どのような共通点がありますか。

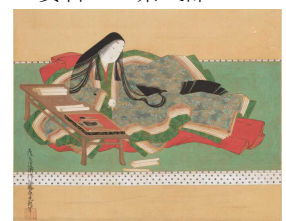
- 3 学習問題についてまとめる。

(例) 貴族の暮らしの中から生まれた文化には、日本の風土や生活にあった、日本風の文化という特色がある。

資料1 平安時代の大和絵



資料2 紫式部



資料3 清少納言



図

かたかな	ひらがな
江	於
阿	衣
宇	宇
以	以
安	安
↓	↓
江	於
土	於
於	於
伊	於
オ	於
イ	於
宇	於
ウ	於

学年・分野	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
				知識・技能	思考・判断・表現
小学校第6学年	(2)	・足利義満や歌川広重の業績について理解し、その知識を身に付けている。	(1)	○	
	(2)	・江戸時代の文化の担い手について理解し、その知識を身に付けている。	(2)	○	
	(2)	・科学の発展に貢献した人物について理解し、その知識を身に付けている。	(3)	○	
	(2)	・欧米諸国と対等な関係になった理由について、資料を基に考察し、その内容を適切に表現している。	(4)		○
	(2)	・我が国の戦後の復興と経済の発展の内容について、資料を基に考察し、適切に判断している。	(5)		○
	(2)	・我が国の戦後の復興と国民生活の向上について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(6)		○
	(3)	・我が国が国際連合の一員として果たしている役割について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(7)		○
	(3)	・我が国の国際協力の様子について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(8)		○
中学校地理的分野	A(1)	・大陸や海洋の位置と名称を理解し、その知識を身に付けている。	(9)	○	
	A(1)	・地球儀の模式図を活用して、本初子午線の位置を的確に読み取っている。	(10)	○	
	B(1)	・乾燥帯の気候や自然条件について、資料から情報を的確に読み取っている。	(11)	○	
	B(1)	・乾燥帯に暮らす人々の生活の工夫について、資料から読み取ったことを関連付けて、適切に表現している。	(12)		○
中学校歴史的分野	B(1)	・世界の古代文明の特色について理解し、その知識を身に付けている。	(13)	○	
	B(1)	・世界の古代文明に共通する特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(14)		○
	B(1)	・歴史の大きな流れについて、各時代の特色を比較しながら考察し、適切に判断している。	(15)		○
	B(1)	・大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりについて、資料を基に考察し、適切に表現している。	(16)		○
	B(1)	・律令国家における農民の暮らしについて、資料を基に考察し、適切に表現している。	(17)		○
	B(1)	・古代の政治や文化の中心地について理解し、その知識を身に付けている。	(18)	○	

中学校 1年 社会 小問別通過率と設定通過率

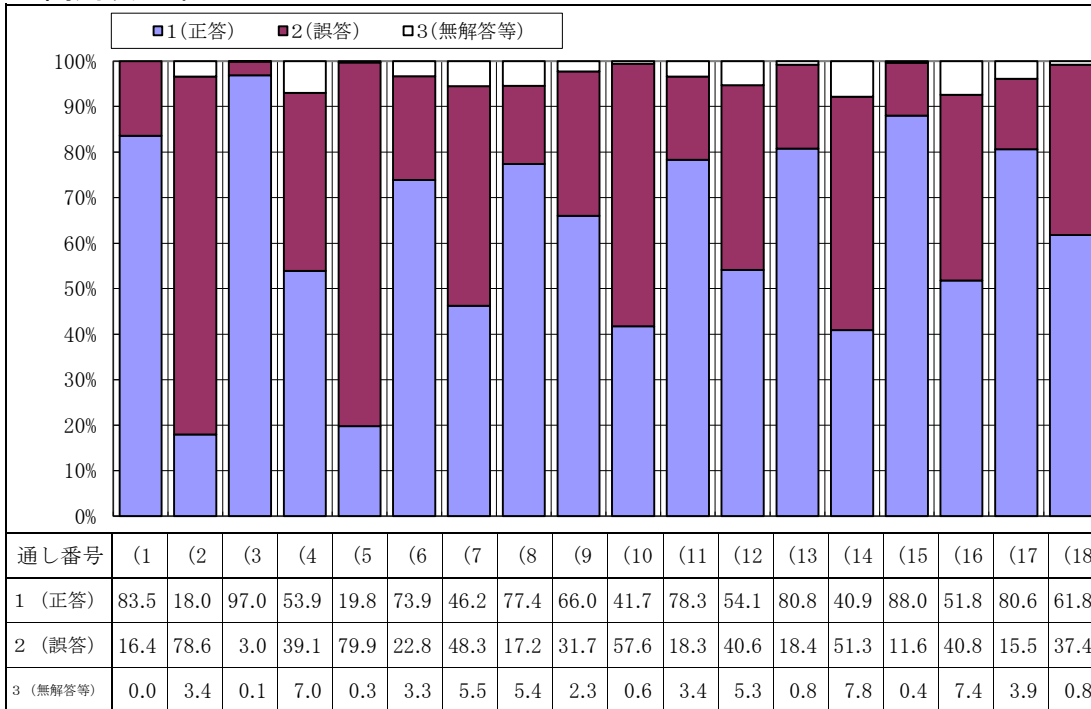
平均通過率 61.9%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	足利義満, 歌川広重の業績	83.5	80.0	
(2)	江戸時代の文化の担い手	18.0	60.0	
(3)	科学の発展に貢献した人物	97.0	85.0	
(4)	条約改正	53.9	60.0	
(5)	戦後の復興と経済の発展	19.8	60.0	
(6)	戦後の復興と国民生活の向上	73.9	70.0	
(7)	国際連合の一員としての役割	46.2	65.0	
(8)	国際協力の様子	77.4	80.0	
(9)	大陸や海洋の名称と位置	66.0	75.0	
(10)	地球上の本初子午線の位置	41.7	60.0	
(11)	乾燥帯の気候の特色	78.3	75.0	
(12)	乾燥帯に暮らす人々の生活の工夫	54.1	65.0	
(13)	古代文明の特色	80.8	80.0	
(14)	古代文明に共通する特色	40.9	65.0	
(15)	歴史の大きな流れと各時代の様子	88.0	80.0	
(16)	大和政権による統一	51.8	65.0	
(17)	律令国家における農民の暮らし	80.6	70.0	
(18)	古代の政治や文化の中心地	61.8	65.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (109校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	11		33	5		10	2	11	2	2	8	6	5	1	11	3	6	2	
90%~100%	23		69	1		17	4	20	1		8	3	12		38	2	18		
80%~90%	45		6	6		28	1	30	12	2	35	9	50		53	5	45	9	3
70%~80%	24	2	1	8		18	7	16	25	6	41	12	31	2	7	13	29	14	18
60%~70%	6			18		22	12	22	38	4	16	16	9	3		19	5	38	49
50%~60%		2		33		9	14	6	22	15		21	1	23		26	3	39	37
40%~50%		2		25	2	5	26	2	7	31	1	25		31		17	2	3	1
30%~40%		13		11	12		18	1	1	37		8		35		15		2	1
20%~30%		15		1	35		14			10		6		9		7		1	
10%~20%		51			44		7					1		3					
0%~10%		24		1	16		4	1	1	2		2	1	2		2	1	1	

中学校 1 年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		内 容 別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	小学校	地理的分野	歴史的分野	
+10% より高い	1	1	1	0	1	2
±10% の範囲内	5	4	4	2	3	9
-10% より低い	2	5	3	2	2	7
計	8	10	8	4	6	18

2 考察

(1) 全体について

18問中7問が設定通過率の「-10%より低い」という結果で、特に歴史的分野の内容の定着状況に課題が見られる。一方、経年比較している設問7問中5問で、昨年度の通過率を上回った。

(2) 成果

- ①乾燥帯の気候の特色において、写真やグラフなどの資料から情報を適切に読み取ることについて指導の成果が見られる。
- ②歴史の大きな流れと各時代の様子において、年表や写真などの資料を基に、各時代の特色を比較しながら考察し、適切に判断することについて、指導の改善が見られる。

(3) 課題

- ①地球儀の模式図を活用して、地球規模の位置関係を捉えるために有用な情報を的確に読み取ることについて課題が見られる。
- ②古代文明に共通する特色について、資料を基に考察し、適切に表現することに課題が見られる。

3 今後の指導

資料から収集した複数の情報を比較・関連付けたり、整理・分析したりしながら、社会的事象の特色などについて、自分の解釈等を加えて再構成し表現する学習の充実を図る。

○ポイント [通し番号(13(14を例として)]

資料から読み取った情報を比較・関連付けたり、整理・分類したりしながら、どのような特色が見えてくるのかを表現する活動を取り入れる。

○具体例

- 1 古代遺跡の写真と図から気付いたことを生かして、学習課題を設定する。

<学習課題の例>

世界の古代文明は、どのような特色をもっていたのだろうか。

- 2 選択した文明について調べる。

- ・場所や環境に着目させる。
- ・異なる文明について調べた人とペアを組んで発表させる。
- ・タブレット端末の付箋紙機能を活用して共通点を整理させる。

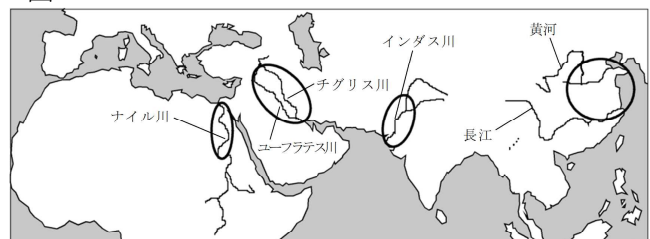
[発問例]

世界の古代文明に見られる共通点は、どんなことでしょうか。

- 3 出し合った共通点を活用して、学習課題についてまとめる。

(例) 世界の文明は大河の近くで起こり、文字が使用されていたことや、国家がおこり、有力な身分を持つ者が現れたことなどが特色として挙げられる。

図



調査カード

選んだ文明	調べた内容	予想と比べて気付いたこと

調査カード ※タブレット端末に配付

古代文明	特色のメモ	共通点
エジプト文明		
メソポタミア文明		
インダス文明		
中国文明		

分野	内容	評価規準	通し番号	観点	
				知識・技能	思考・判断・表現
地理的分野	A(1)	・アジア州の区分を模式図上で理解し、その知識を身に付けている。	(1)	○	
	A(1)	・地球儀の模式図を活用して、本初子午線の位置を的確に読み取っている。	(2)	○	
	A(1)	・地球儀上での緯度や経度、正反対の地点を、的確に読み取っている。	(3)	○	
	B(1)	・熱帯で暮らす人々の生活の様子について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(4)		○
	B(2)	・ヨーロッパの歴史について、資料から情報を的確に読み取っている。	(5)	○	
	B(2)	・EU統合がもたらす成果と課題について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(6)		○
	B(2)	・世界の各州の地域的特色を、諸条件と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	(7)	○	
	C(2)	・日本の地域的特色と地域区分について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(8)		○
	C(2)	・日本の工業の特色について、複数の資料を関連付けて考察し、適切に表現している。	(9)		○
	C(2)	・日本の交通に関する特色について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(10)		○
歴史的分野	B(1)	・仏教の伝来とその影響について理解し、その知識を身に付けている。	(11)	○	
	B(1)	・天平文化の特色や背景について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(12)		○
	B(1)	・古代の政治や文化の中心地について理解し、その知識を身に付けている。	(13)	○	
	B(2)	・中世の商業の発達について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(14)		○
	B(2)	・分国法を定めた目的について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(15)		○
	B(3)	・江戸幕府の政治改革について理解し、その知識を身に付けている。	(16)	○	
	B(3)	・百姓一揆や打ちこわしの発生状況について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(17)		○
	B(3)	・貨幣経済の農村への広がりや、貧富の差の拡大について、資料を基に考察し、表現している。	(18)		○

中学校 2年 社会 小問別通過率と設定通過率

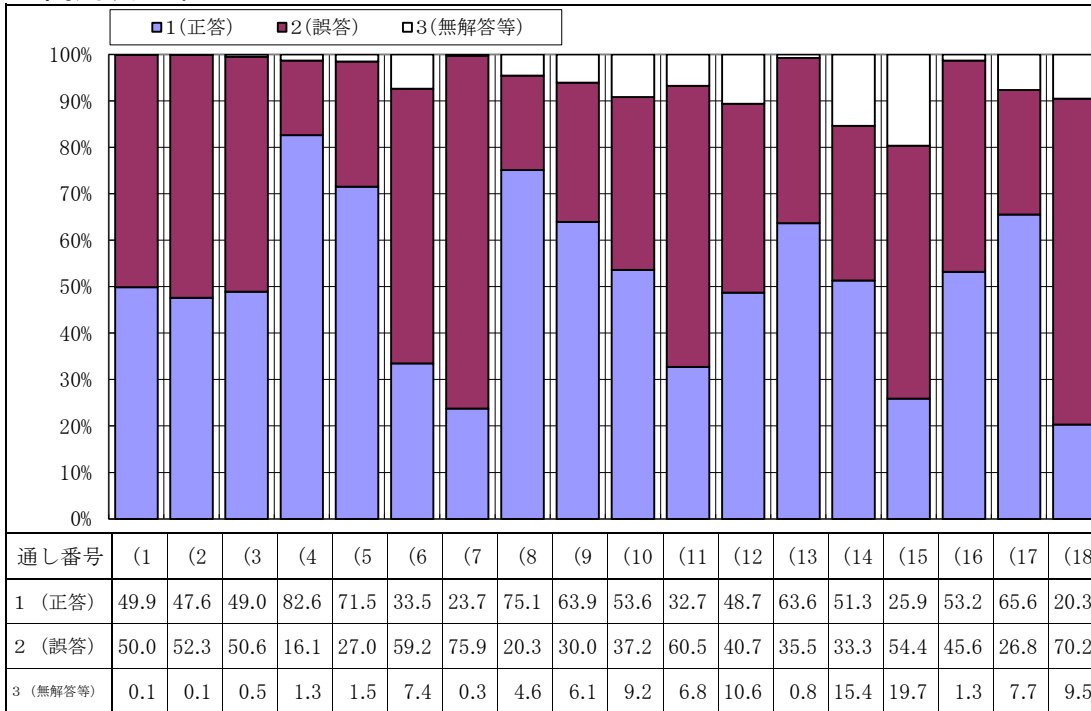
平均通過率 50.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0%	100%
(1)	アジア州の区分	49.9	75.0		
(2)	地球上の本初子午線の位置	47.6	65.0		
(3)	地球上の正反対の位置	49.0	65.0		
(4)	熱帯に暮らす人々の生活の工夫	82.6	85.0		
(5)	ヨーロッパの歴史と地域的特色	71.5	80.0		
(6)	EU統合がもたらす成果と課題	33.5	65.0		
(7)	各州の出生率と森林面積の増減	23.7	75.0		
(8)	地域的特色と地域区分	75.1	85.0		
(9)	我が国の工業の特色	63.9	70.0		
(10)	我が国の交通の特色	53.6	60.0		
(11)	飛鳥文化の特色	32.7	70.0		
(12)	天平文化の特色や背景	48.7	65.0		
(13)	古代の政治や文化の中心地	63.6	70.0		
(14)	中世の商業の発達	51.3	60.0		
(15)	分国法の制定	25.9	60.0		
(16)	江戸幕府の政治改革	53.2	75.0		
(17)	百姓一揆や打ちこわしの発生	65.6	75.0		
(18)	貨幣経済の広がりや農村の変化	20.3	60.0		

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (110校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	1	1	1	7	6	1	1	3	4	2	1	1	4	2		3	3		
90%~100%				19	17	1		7	8	5		2	1	3			11		
80%~90%	3	4	2	47	27	4		38	15	9	1	9	8	8	1	2	21		
70%~80%	1	2	5	26	22	2		37	25	15	2	14	20	14	4	8	13	2	3
60%~70%	16	20	18	7	14	6	2	15	20	15	4	16	42	19	4	21	20		19
50%~60%	34	30	32	3	8	8		4	19	24	3	13	25	17	9	31	24	7	42
40%~50%	36	27	32		4	18	8	3	9	17	19	17	7	19	7	29	11	6	35
30%~40%	14	20	16		5	20	10	2	6	18	24	16	1	13	14	10	4	13	9
20%~30%	3	4	3		3	26	47		2	2	39	12	1	8	29	6	1	22	
10%~20%		1			1	20	37				11	6		5	25		1	25	2
0%~10%	2	1	1	1	3	4	5	1	2	3	6	4	1	2	17		1	35	

中学校 2年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		内 容 別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	地理的分野	歴史的分野	
+10% より高い	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	2	6	5	3	8
-10% より低い	6	4	5	5	10
計	8	10	10	8	18

2 考察

(1) 全体について

18問中10問が設定通過率の「-10%より低い」という結果で、学習内容の定着状況は十分とは言えない。一方、経年比較している設問9問中6問で、昨年度の通過率を上回った。

(2) 成果

- ①日本の工業の特色に関する学習において、複数の資料を関連付けて考察し、適切に表現することについて、指導の改善が見られる。
- ②日本の交通の特色に関する学習において、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現することについて、指導の改善が見られる。

(3) 課題

- ①EU統合がもたらす成果と課題について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現することに課題が見られる。
- ②天平文化の特色や背景について、資料を基に考察し、適切に表現することに課題が見られる。

3 今後の指導

地図や統計、写真等の諸資料を活用して、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現する学習の充実を図る。

○ポイント [通し番号(6を例として)]

地域で見られる地球的課題の要因や影響を資料から読み取り、地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する活動を取り入れる。

○具体例

- 1 2枚の写真資料（EU加盟を喜ぶ人々とEUからの離脱の決定を喜ぶ人々）から気付いたことを生かして、学習課題を設定する。

<学習課題の例>

国どうしの統合が進むことでヨーロッパの人々の生活にどのような変化が起きているのだろうか。

- 2 EU統合がもたらす影響について調べる。

- ・個で予想させる。
- ・調べたことについて、全体で共有する場を設ける。
- ・図1、2から読み取れることを関連付けて、統合がもたらす影響について考えさせる。

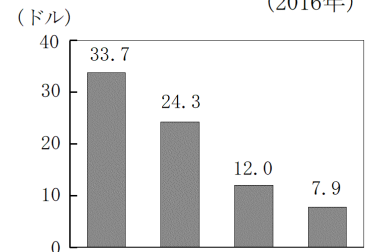
[発問例]

移民が増えることに対して、なぜ不満をもつ人々がいるのでしょうか。

- 3 学習課題についてまとめる。

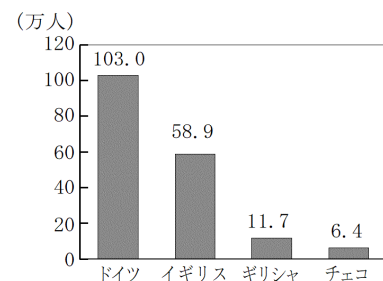
(例) EU加盟国間では、パスポートなしで他国と行き来したり、共通通貨であるユーロが使えたりすることで、自由に仕事や買い物、旅行などができるようになった。しかし、1時間あたりの賃金の高い国へ多くの人移動することから、西ヨーロッパの主な都市では、失業者が増加することを不安に思い、EUの統合に反対する人もいる。

図1 労働者の1時間あたりの賃金の比較 (2016年)



(世界国勢図会2020/21年版から作成)

図2 他国からの移民の数 (2016年)



(ユーロスタット統計データ2022年版から作成)

4 結果と考察 (3)算数、数学

令和4年度秋田県学習状況調査 小学校第4学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 3 学 年	A 数 と 計 算	(3)ア(イ)	・数量の関係を捉え、基準量に着目して、乗法を利用することができる。	(14)	○	
		(4)ア(ア)	・除法が用いられる場合について理解している。	(4)	○	
		(5)ア(イ)	・1/10の位までの小数の加法で、(小数)+(整数)の場合の計算をすることができる。	(2)	○	
		(5)イ(ア)	・0.1に着目して、(整数)-(小数)の差の求め方を説明することができる。	(9)		○
		(6)ア(ア)	・分数の意味や分数の表し方を理解している。	(5)	○	
		(7)ア(ア)	・未知の数量を□を用いて表し、数量の関係を式に表すことができる。	(3)	○	
	B 図 形	(1)ア(ア)	・二等辺三角形の意味や性質を理解している。	(13)	○	
		(1)ア(ウ)	・円と正方形の関係に着目し、正方形の1辺の長さを利用して円の半径の長さを求めることができる。	(11)	○	
	C 測 定	(1)ア(ア)	・長さや重さ、かさの単位について理解している。	(7)	○	
	D デ ー タ の 活 用	(1)イ(ア)	・複数の棒グラフを正しく読み取り、適切な情報を判断することができる。	(17)		○
第 4 学 年	A 数 と 計 算	(1)ア(ア)	・数直線上の大きな数を読み取ることができる。	(12)	○	
			・十進位取り記数法の意味を理解している。	(15)	○	
		(2)イ(ア)	・切り捨てた場合の計算を基に、正しい説明と結果を判断することができる。	(10)		○
		(3)ア(イ)	・3位数を2位数で割る計算について、正しく筆算をすることができる。	(1)	○	
			・基準量を求めるために除法を用いることができる。	(8)	○	
	(3)イ(ア)	・除法において、数を構成する単位に着目して、計算方法を説明することができる。	(16)		○	
	B 図 形	(5)ア(イ)	・180°より大きい角度を求めることができる。	(6)	○	
D デ ー タ の 活 用	(1)イ(ア)	・折れ線グラフから読み取った情報について、正しく説明することができる。	(18)		○	

小学校 4年 算数 小問別通過率と設定通過率

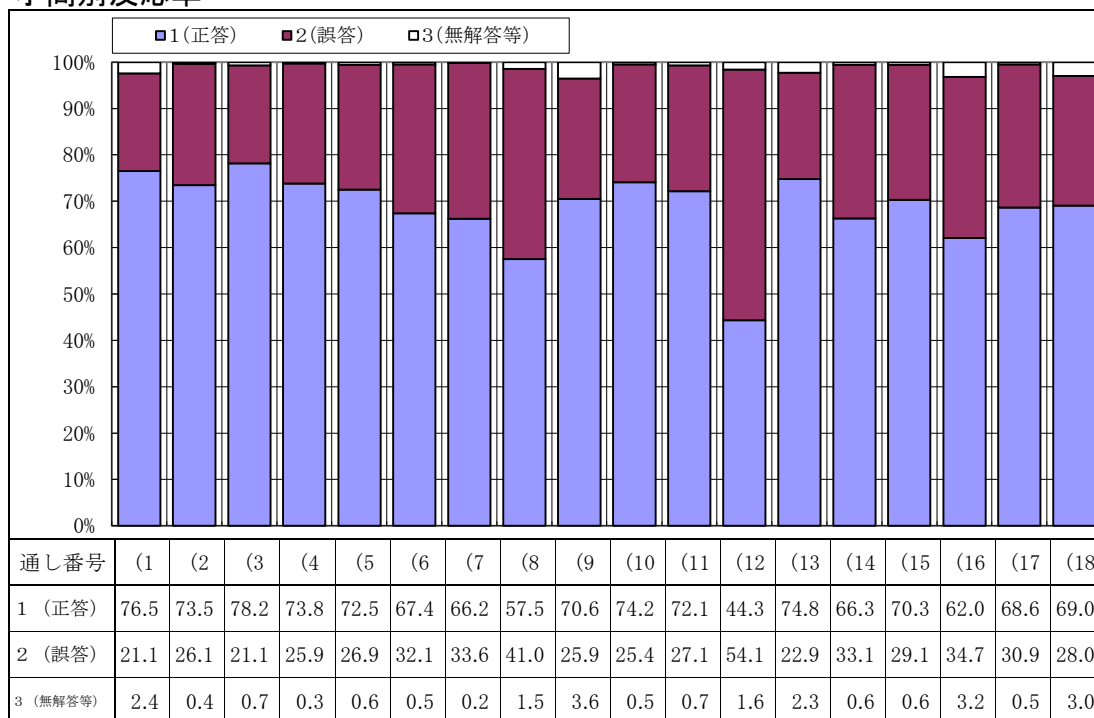
平均通過率 68.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(3位数) ÷ (2位数) の計算	76.5	80.0	
(2)	小数の加法	73.5	80.0	
(3)	□を用いた式	78.2	75.0	
(4)	除法の立式	73.8	75.0	
(5)	分数の意味理解と表現	72.5	80.0	
(6)	180° より大きい角度の測定	67.4	70.0	
(7)	量の単位換算	66.2	65.0	
(8)	基準量の求め方	57.5	65.0	
(9)	(整数) - (小数) の求め方	70.6	75.0	
(10)	目的に応じた概数での見積もりの判断	74.2	75.0	
(11)	円の性質	72.1	80.0	
(12)	大きな数の数直線上の読み取り	44.3	60.0	
(13)	二等辺三角形の性質	74.8	80.0	
(14)	乗法の立式	66.3	70.0	
(15)	十進位取り記数法の意味理解	70.3	75.0	
(16)	除法の計算の仕方と余りの求め方の説明	62.0	65.0	
(17)	棒グラフの読み取り	68.6	65.0	
(18)	折れ線グラフの読み取り	69.0	65.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (178校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	16	9	15	7	21	12	8	4	7	8	12	2	16	3	6	5	8	6	
90%~100%	20	13	34	13	31	9	7	4	8	9	17	1	14	6	2	4	9	17	4
80%~90%	43	44	57	39	44	27	18	13	43	42	42	3	43	25	30	24	23	29	20
70%~80%	56	54	31	56	26	43	39	30	57	62	44	3	60	39	52	36	47	49	65
60%~70%	30	41	26	47	22	44	58	38	37	44	36	17	27	51	61	39	64	44	73
50%~60%	6	13	13	14	15	24	37	34	17	11	18	34	16	43	21	43	17	22	12
40%~50%	4	1	2	1	10	14	7	34	6	2	7	58	1	8	5	21	8	7	4
30%~40%	1	2			3	3	2	16	1		1	41	1	2	1	6	1	2	
20%~30%	1				3		1	3	1			16							1
10%~20%					1		1	1				1							
0%~10%	1	1		1	2	2		1	1		1	2		1				1	1

小学校4年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と計算	図形	変化と関係 測定	データの活用	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	12	5	11	3	1	2	17
-10% より低い	1	0	1	0	0	0	1
計	13	5	12	3	1	2	18

2 考察

(1) 全体について

18問中17問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

- ①数量の関係を捉え、基準量に着目して乗法を利用することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ②除法において、数を構成する単位に着目して計算の仕方を説明することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

- ①基準量を求めるために除法を用いることについて、課題が見られる。
- ②数直線上の大きな数を読み取ることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

2つの数量の関係を図に表し、それを用いて自分の考えを説明し伝え合うなどの数学的活動の充実を図る。

【参考 通し番号(8)】平均通過率57.5% (設定通過率65%)

黄色のテープと赤色のテープの長さについて、次のことがわかっています。

黄色のテープの長さは120cmです。
黄色のテープの長さは、赤色のテープの長さの2倍です。

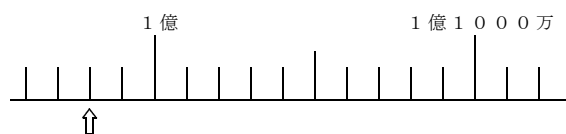
赤色のテープの長さを求める式を の中に書きましよう。

- ・計算の意味の理解を基に根拠を伴って演算を判断することができるようにする必要がある。
- ・数量の関係を捉えてテープ図や数直線などの図に表す活動を、各学年の内容に応じて系統的に位置付け、「倍」「倍に当たる大きさ」「基になる大きさ」の関係を適切に読み取ることができるようにする。
- ・図に読み取ったことを書き込むなどしながら、説明し伝え合う活動が大切である。

数直線の一目盛りの大きさを読み取ったり、数直線上に数を位置付けたりする学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(12)】平均通過率44.3% (設定通過率60%)

次の数直線で、↑のめもりが表す数を の中に書きましよう。



- ・数直線上に2つの数値を示し、その2数の範囲外の数を読み取る活動を取り入れて、一目盛りの大きさに着目できるようにする。
- ・数値と数値の間が、10等分以外に2等分や5等分、または20等分されている数直線を基に考える活動を取り入れ、一目盛りの大きさを意識できるようにすることが大切である。
- ・数直線上に数を位置付けて、一目盛りの大きさに着目して説明する活動も理解を深めるために有効である。

令和4年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第3学年	A数と計算	(3)ア(イ)	・数量の関係を捉え、基準量に着目して、乗法を利用することができる。	(5)	○	
第4学年	A数と計算	(2)イ(ア)	・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考えることができる。	(11)		○
		(5)ア(イ)	・(帯分数) - (帯分数) の計算ができる。	(1)	○	
		(7)イ(ア)	・計算の工夫を読み取り、それを用いて異なる数値の計算の仕方を考えることができる。	(7)		○
	B図形	(1)ア(イ)	・ひし形の性質を理解している。	(14)	○	
		(2)ア(ウ)	・立体を構成している面と面が平行になる関係を理解している。	(13)	○	
		(4)ア(イ)	・複合図形の面積を求めることができる。	(16)	○	
	C変化と関係	(1)イ(ア)	・表や図を基に、伴って変わる二つの数量の対応における規則性を見いだすことができる。	(18)		○
		(2)イ(ア)	・差で比べられない場合、割合を用いて比べることができる。	(9)		○
	Dデータの活用	(1)ア(ア)	・二次元の表に分類整理されたデータを読み取ることができる。	(8)	○	
	第5学年	A数と計算	(1)ア(イ)	・最小公倍数を用いて、具体的な場面の時刻を求めることができる。	(10)	○
(3)ア(ア)			・基準量を求めるために除法を用いることを理解している。	(4)	○	
(3)ア(イ)			・1 / 100の位までの小数の乗法の計算ができる。	(2)	○	
			・1 / 100の位までの小数の除法の計算ができる。	(3)	○	
B図形		(1)ア(イ)	・三角形の三つの角の大きさの和を基に、目的の角度を求めることができる。	(12)	○	
		(1)イ(ア)	・合同な三角形をかくために必要な構成要素を考えることができる。	(15)		○
		(4)イ(ア)	・ガラスの板の厚さに着目し、直方体の水そうに入る水の体積を求める式を選ぶことができる。	(17)		○
C変化と関係		(1)イ(ア)	・表を基に、簡単な場合の比例の関係を考え、判断することができる。	(6)		○

小学校 5年 算数 小問別通過率と設定通過率

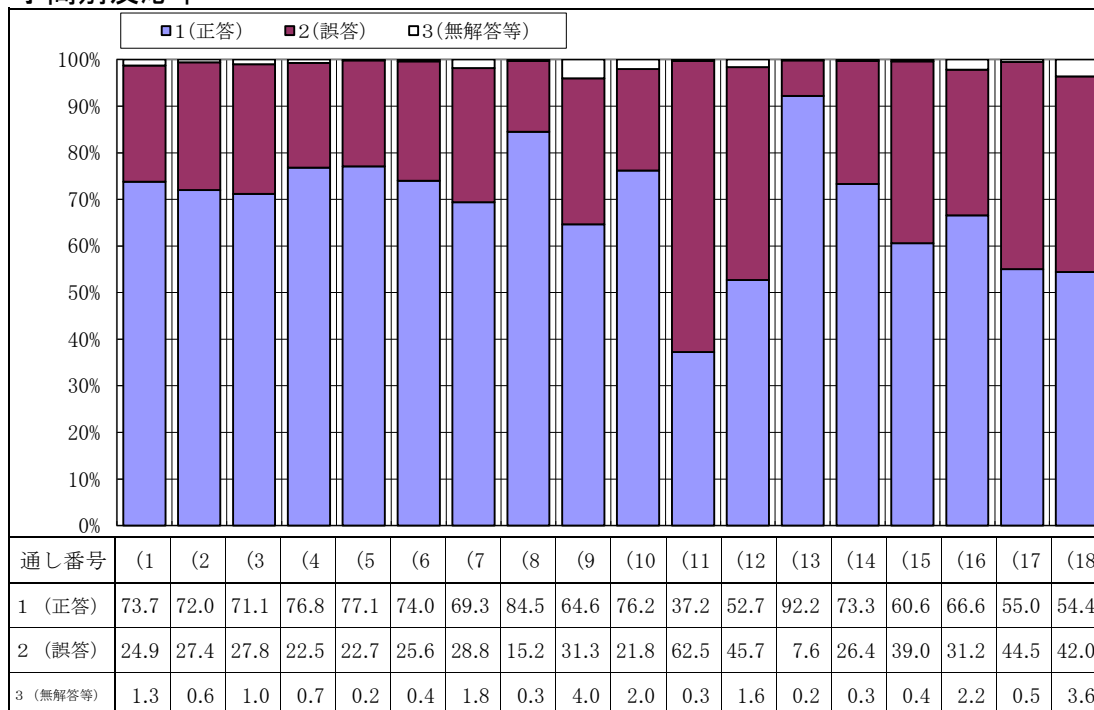
平均通過率 68.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(帯分数) - (帯分数) の計算	73.7	80.0	
(2)	(小数) × (小数) の計算	72.0	80.0	
(3)	(小数) ÷ (小数) の計算	71.1	75.0	
(4)	基準量の求め方	76.8	75.0	
(5)	乗法の立式	77.1	75.0	
(6)	比例の関係	74.0	75.0	
(7)	計算の工夫	69.3	70.0	
(8)	二次元表の分類整理	84.5	65.0	
(9)	割合を用いた比べ方	64.6	60.0	
(10)	最小公倍数の利用	76.2	70.0	
(11)	目的に応じた概数での見積もりの判断	37.2	65.0	
(12)	三角形の三つの角の和の利用	52.7	70.0	
(13)	立体を構成している面と面の平行	92.2	85.0	
(14)	ひし形の性質	73.3	70.0	
(15)	三角形の合同条件	60.6	65.0	
(16)	複合図形の面積	66.6	70.0	
(17)	直方体の容器の容積	55.0	65.0	
(18)	伴って変わる数量の関係の読み取り	54.4	65.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (177校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	4	2	7	12	10	6	4	20	4	5	1	3	41	9	6	3	4	2	
90%~100%	20	18	13	26	18	12	13	41		16		1	82	10	3	4	6		1
80%~90%	41	45	35	54	50	49	28	72	22	63		6	49	36	13	18	9	16	13
70%~80%	46	46	47	39	63	56	48	30	43	43	3	18	5	52	31	49	34	25	73
60%~70%	53	39	41	29	29	37	42	10	47	37	6	39		50	55	55	33	35	69
50%~60%	9	20	21	11	6	14	27	3	35	12	24	45		12	37	37	34	38	20
40%~50%	4	6	5	2		3	9	1	14	1	35	33		4	19	8	31	29	1
30%~40%			6	3			5		9		48	19		2	9	2	20	24	
20%~30%			1	1					3		44	11		1	4		5	6	
10%~20%											11	1					1	2	
0%~10%		1	1		1		1				5	1		1		1			

小学校 5 年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	
+10% より高い	1	0	0	0	0	1	1
±10% の範囲内	9	5	7	5	2	0	14
-10% より低い	1	2	1	1	1	0	3
計	11	7	8	6	3	1	18

2 考察

(1) 全体について

- ① 18問中15問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 観点別では、「思考・判断・表現」にやや課題が見られる。

(2) 成果

- ① 二次元表に分類整理されたデータを読み取ることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ② 板の厚さに着目し、直方体の箱に入る水の体積を求めることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

- ① 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考えることについて、課題が見られる。
- ② 三角形の三つの角の大きさの和を利用して、目的の角度を求めることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

日常の事象における場面に着目し、目的に応じて概数を用いることで、概数を用いることよさを実感できるようにする。

【参考 通し番号(11) 平均通過率37.2% (設定通過率65%)

あるお店で、すべての色のクレヨンが1本75円で売られています。また、同じクレヨンが24本入りセットでも売られていて、ねだんは1380円です。みかさんは、1本ずつ24本買う場合と、24本入りセットを買う場合とでは、どちらが安いのか、比べることにしました。
(中略) 75×24の答えが1380より必ず大きくなるのがわかるためには、「75」と「24」を、どのようにがい数にして計算するとよいですか。次のア～エから1つ選んで、その記号を の中に書きましょう。

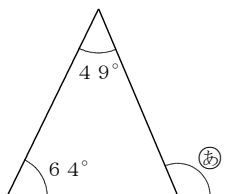
- ア 75を小さくみて70, 24を小さくみて20として計算します。
イ 75を小さくみて70, 24を大きくみて30として計算します。
ウ 75を大きくみて80, 24を小さくみて20として計算します。
エ 75を大きくみて80, 24を大きくみて30として計算します。

- ・日常の事象における場面に着目し、何のために見当を付けるのかそのねらいを明確にし、目的に合った見積もりの必要性を十分に理解できるようにすることが大切である。
- ・四則計算の結果の見積もりについて、結果の見通しを立てたり、大きな誤りを防いだりするよさに気付かせたりするとともに、目的に合った見積もりの仕方を考えさせる指導の工夫が必要である。
- ・処理に関しては、大きく見積もったり、小さく見積もったりするために、対象となる数を大きくみる(切り上げる)のか、小さくみる(切り捨てる)のか、児童が自ら判断する場面や、それが適切かどうかを振り返る場面を設定することが重要である。

図形の角の大きさに着目し、既習事項を基にしながら、図形の性質や計量について筋道を立てて考察する学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(12) 平均通過率52.7% (設定通過率70%)

図の⑤の角度を求め、答えを の中に書きましょう。



- ・図形の性質を根拠にして、筋道を立てて角の大きさを求めることができるようにすることが大切である。
- ・本設問の⑤のような角度を求めることができるようにするためには、三角形の三つの角の大きさの和が180度であることや、直線が交わってできる二つの角の大きさの和が180度であることなどの既習事項を基に式をつくりながら、筋道を立てて考える学習活動を取り入れることが大切である。

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 4 学 年	B 図 形	(5)イ(ア)	・回転の大きさとしての角の大きさに着目し，正三角形の構成の仕方を考えることができる。	(11)		○
	D デ ー タ の 活 用	(1)ア(ア)	・二次元の表に分類整理されたデータを読み取ることができる。	(15)	○	
第 5 学 年	A 数 と 計 算	(1)イ(ア)	・最小公倍数を用いて，一番小さい正方形の一辺の長さを考えることができる。	(14)		○
	B 図 形	(2)ア(ア)	・三角柱とその展開図を関連付け，点と点の重なりについて理解している。	(8)	○	
		(3)イ(ア)	・示された図や考えを基に，台形の面積の求め方を説明することができる。	(10)		○
	C 変 化 と 関 係	(2)ア(ア)	・距離と速さから，時間を求めることができる。	(4)	○	
		(3)ア(ア)	・数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。	(5)	○	
		(3)ア(イ)	・比較量と割合から基準量を求めることができる。	(17)	○	
	D デ ー タ の 活 用	(1)イ(ア)	・二つの円グラフから，必要な情報を読み取って判断し，その理由を説明することができる。	(18)		○
		(2)ア(ア)	・平均の考え方を基に，必要な値を求めることができる。	(6)	○	
第 6 学 年	A 数 と 計 算	(1)ア(ア)	・分数の乗法と除法で，乗数と積の大きさや除数と商の大きさの関係について理解している。	(3)	○	
			・示された場面における数量の関係を理解している。	(13)	○	
		(1)ア(イ)	・分数×分数の計算ができる。	(1)	○	
		(1)イ(ア)	・分数の除法の計算の仕方を解釈し，示された数の場合の計算の仕方を説明することができる。	(7)		○
		(2)ア(ア)	・具体的な場面で，数量を文字を用いて式に表すことができる。	(2)	○	
		(2)イ(ア)	・長方形において，辺の長さの関係を捉え，縦の長さを文字を用いた式で表すことができる。	(9)		○
	B 図 形	(1)ア(イ)	・線対称，点対称の意味を理解している。	(12)	○	
(3)ア(ア)	・直径の長さを基に，円の面積を求めることができる。	(16)	○			

小学校 6年 算数 小問別通過率と設定通過率

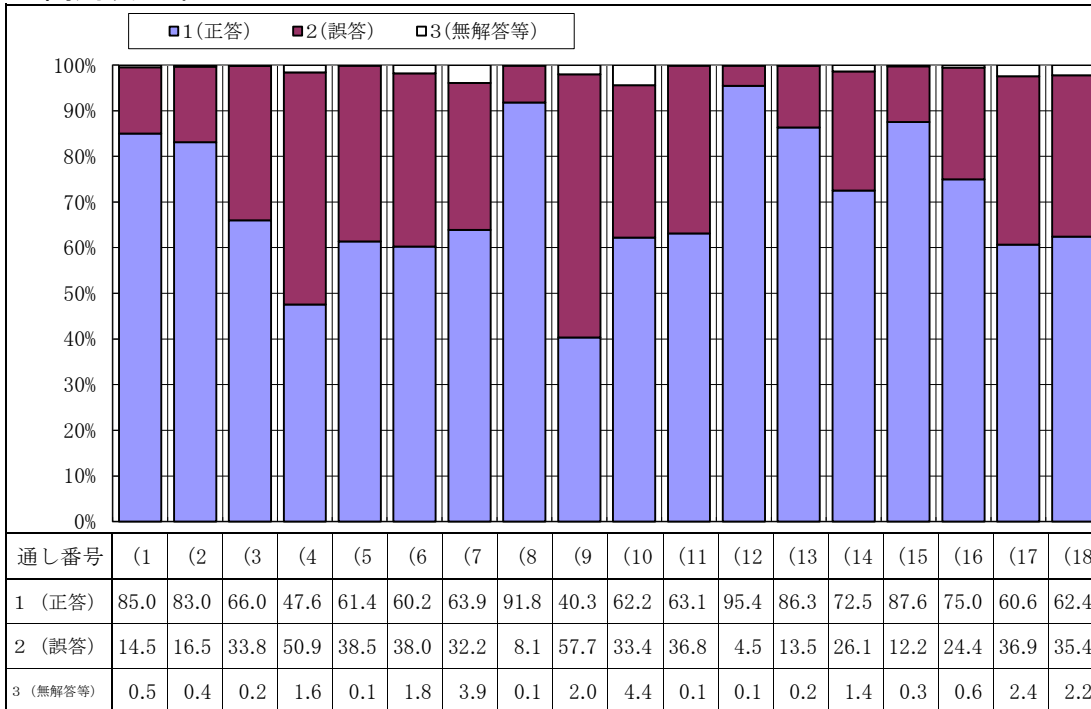
平均通過率 70.2%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(分数) × (分数) の計算	85.0	85.0	
(2)	文字を用いた式	83.0	90.0	
(3)	分数の乗法, 除法	66.0	75.0	
(4)	速さ, 時間, 道のりの関係	47.6	75.0	
(5)	割合の性質	61.4	65.0	
(6)	平均と測定値	60.2	60.0	
(7)	分数の除法の計算の仕方	63.9	70.0	
(8)	三角柱の展開図	91.8	80.0	
(9)	文字を用いた式の利用	40.3	60.0	
(10)	台形の面積	62.2	65.0	
(11)	回転の大きさ	63.1	65.0	
(12)	線対称, 点対称な図形	95.4	80.0	
(13)	基準量と比較量の関係	86.3	65.0	
(14)	整数の性質	72.5	65.0	
(15)	二次元表の分類整理	87.6	70.0	
(16)	円の面積	75.0	70.0	
(17)	割合をふくむ数量の関係	60.6	75.0	
(18)	必要な情報の読み取りと数学的な説明	62.4	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (178校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	20	18	2		14	2	4	46	1	3	2	70	29	6	28	10	5	6	
90%~100%	45	30	6		21	4	7	83	1	3	13	85	43	9	48	15	5	8	2
80%~90%	74	76	15	5	22	6	18	42	5	18	22	23	74	34	75	51	13	24	27
70%~80%	26	41	46	6	24	28	45	5	10	40	29		25	67	21	55	34	28	72
60%~70%	10	9	60	19	20	51	40	1	19	46	39		6	39	5	32	37	43	66
50%~60%	3	3	35	47	15	51	36	1	32	45	39		1	18	1	9	59	40	11
40%~50%		1	10	53	20	28	18		21	20	21			2		5	14	20	
30%~40%			4	33	21	5	7		40	2	7			1			9	6	
20%~30%				10	18	2	2		30	1	5			2		1	2	3	
10%~20%				3	3				16		1								
0%~10%				2		1	1		3										

小学校6年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	
+10% より高い	4	0	1	2	0	1	4
±10% の範囲内	6	5	5	3	1	2	11
-10% より低い	2	1	1	0	2	0	3
計	12	6	7	5	3	3	18

2 考察

(1) 全体について

- ①18問中15問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②領域別では、「変化と関係」において設定通過率の「-10%より低い」設問が3問中2問あり、課題が見られる。

(2) 成果

- ①平均の考え方を基に、必要な値を求めることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ②数量が変わっても割合は変わらないことを理解することについて、全国学力・学習状況調査における類似の問題と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

- ①距離と速さから、時間を求めることについて、課題が見られる。
- ②分数の除法の計算の仕方を解釈し、示された数の場合の計算の仕方を説明することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

具体的な場面を設定し、距離、速さ、時間の関係に着目して考える学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(4) 平均通過率47.6% (設定通過率75%)】

時速40kmで走っている自動車は、10km進むのに何分かかりますか。答えを の中に書きましょう。

- ・道のりと時間について、本設問のように道のりが $\frac{1}{4}$ 倍になれば時間も $\frac{1}{4}$ 倍になることから、比例の関係を用いて考察できるというよさを理解できるようにすることが大切である。
- ・日常の事象から見いだした問題を数学的に解決した後には、得た答えを元の事象に当てはめて答えの意味を考え、必要に応じて見直すことができるようにすることが大切である。

他者の考えを基にして、示された数の場合の計算の仕方を説明する学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(7) 平均通過率63.9% (設定通過率70%)】

りくさんは $\frac{2}{5} \div \frac{3}{4}$ の計算のしかたを、わる数の $\frac{3}{4}$ を整数にして考え、次のように説明しました。

【りくさんの説明】

わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらないので、わられる数とわる数を4倍します。

$$\begin{aligned} \frac{2}{5} \div \frac{3}{4} &= \left(\frac{2}{5} \times 4\right) \div \left(\frac{3}{4} \times 4\right) \\ &= \frac{2 \times 4}{5} \div 3 \\ &= \frac{2 \times 4}{5 \times 3} \\ &= \frac{8}{15} \end{aligned}$$

みかさんは $\frac{3}{8} \div \frac{2}{5}$ の計算のしかたを、りくさんと同じようにわる数の $\frac{2}{5}$ を整数にして考え、次のように説明しました。【みかさんの説明】が正しくなるように、説明の続きを「」の中に書きましょう。

【みかさんの説明】

わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらないので、

- ・本設問のように、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えることは、児童にとって抽象度が高い。形式的な処理に終始させないように、適宜、面積図などの図を用いて考えさせることが大切である。
- ・学習内容の確実な定着を図るためには、新しく学んだ内容を活用して実際に問題を解いてみる場面を、授業の中に設定することが大切である。例えば、本設問のように、類題を他者の考えで解決し直す活動を取り入れることが考えられる。

令和4年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 数学 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
小学 校 第 5 学 年	B 図 形	(3)イ(ア)	・示された図や考えを基に、台形の面積の求め方を説明することができる。	(17)		○
小 学 校 第 6 学 年	B 図 形	(1)イ(ア)	・縮図の考え方をを用いて、実際の長さを求めることができる。	(15)		○
		(4)イ(ア)	・高さが等しい二つの円柱の体積の関係を、底面積の関係を基に考えることができる。	(9)		○
	C 変 化 と 関 係	(1)イ(ア)	・具体的な場面で、比例の関係をを用いて答えを求めるために必要な数量を見いだすことができる。	(11)		○
			・表を基に反比例の関係を考え、判断することができる。	(13)		○
	D デ ー タ の 活 用	(2)ア(ア)	・具体的な事象における数量の関係を捉え、等しい比をつくることができる。	(10)	○	
		(1)ア(ア)	・与えられたデータから、中央値を求めることができる。	(12)	○	
		(2)ア(ア)	・起こり得る場合を、落ちや重なりがないように、図に表すことができる。	(8)	○	
中 学 校 第 1 学 年	A 数 と 式	(1)ア(イ)	・正負の数の四則の混じった式の計算ができる。	(1)	○	
		(1)ア※	・素数について理解している。	(3)	○	
			・四則計算の結果の特徴を的確に捉え、数の集合と四則計算の可能性を理解している。	(7)	○	
		(2)ア(ウ)	・一次式と数の除法の計算ができる。	(2)	○	
		(2)ア(エ)	・事象の中にある数量を、文字を用いた式で表すことができる。	(4)	○	
			・事象の中にある数量の関係を、等式で表すことができる。	(6)	○	
		(2)ア※	・文字を用いた不等式の意味を読み取ることができる。	(14)	○	
		(2)イ(ア)	・式と図を関連付けて、棒の本数の求め方を文字を用いて説明することができる。	(18)		○
		(3)ア(イ)	・ x の係数が分数の一次方程式を解くことができる。	(5)	○	
(3)イ(イ)	・具体的な場面で、一次方程式をつくることができる。	(16)		○		

※の問題は、「内容の取扱い」から出題している。

中学校 1年 数学 小問別通過率と設定通過率

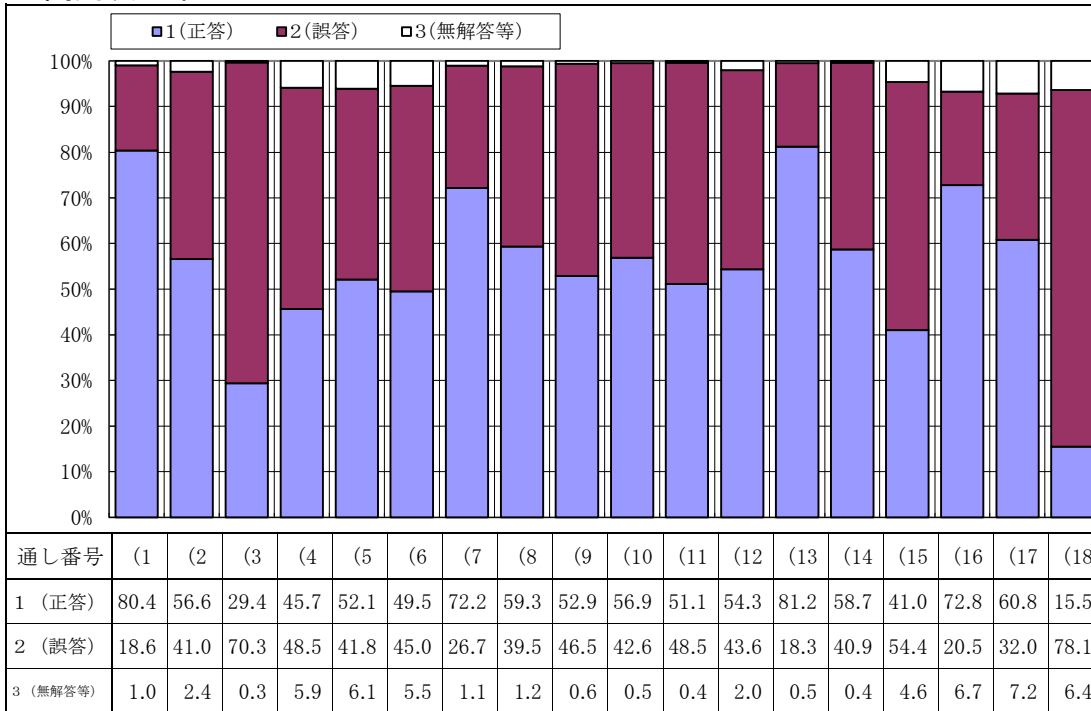
平均通過率 55.0%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	四則の混じった計算	80.4	90.0	
(2)	一次式と数の除法の計算	56.6	75.0	
(3)	素数	29.4	70.0	
(4)	文字を用いた式	45.7	60.0	
(5)	xの係数が分数である方程式	52.1	70.0	
(6)	数量の関係	49.5	65.0	
(7)	数の集合と四則計算の可能性	72.2	75.0	
(8)	起こり得る場合の数	59.3	65.0	
(9)	円柱の体積	52.9	60.0	
(10)	比	56.9	75.0	
(11)	比例の利用	51.1	60.0	
(12)	代表値(中央値)	54.3	60.0	
(13)	反比例の表	81.2	85.0	
(14)	不等式	58.7	75.0	
(15)	縮図と拡大図	41.0	65.0	
(16)	方程式の利用	72.8	80.0	
(17)	台形の面積	60.8	70.0	
(18)	文字式の利用	15.5	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 数学

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (109校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	7	3		3	4	2	5	2	1	2	1	1	6	3	1	7	6	1	
90%~100%	13			1	1		2			1	2		14	1		3	1		
80%~90%	45	6	1	1	3	5	23	7	8	4	5	3	52	6		18	7		3
70%~80%	34	15	1	3	4	6	40	11	14	13	9	10	25	11	5	40	10		5
60%~70%	8	22	2	10	16	13	23	31	19	23	16	23	6	28	4	28	37	2	16
50%~60%	2	26	7	17	33	30	12	34	30	36	25	39	3	34	10	5	28	3	58
40%~50%		20	11	42	26	27	1	19	15	20	26	16		21	33	6	12		24
30%~40%		12	22	24	16	15		2	12	7	17	10	2	4	41	1	6	2	2
20%~30%		4	33	6	4	7	1	1	4	1	5	4			9		2	20	1
10%~20%			26	1		3		1	3		1	1			4			48	
0%~10%		1	6	1	2	1	2	1	3	2	2	2	1	1	2	1		33	

中学校 1 年 数学 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と式 数と計算	図形	関数 変化と関係	データの活用	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	4	5	3	2	2	2	9
-10% より低い	7	2	7	1	1	0	9
計	11	7	10	3	3	2	18

2 考察

(1) 全体について

- ① 18問中 9問が設定通過率の「-10%より低い」であり、学習内容の定着状況に課題が見られる。
- ② 領域別では、「数と式」において設定通過率の「-10%より低い」設問が10問中7問あり、課題が見られる。

(2) 成果

- ① 数の集合と四則計算の可能性を理解することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ② 与えられたデータから、中央値を求めることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

- ① 事象の中にある数量の関係を、等式で表すことについて、課題が見られる。
- ② 式と図を関連付けて、棒の本数の求め方を文字を用いて説明することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

数量の関係を文字式を用いて表す学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(6)】 平均通過率49.5%
(設定通過率65%)

画用紙が y 枚あります。この画用紙を、1人に5枚ずつ x 人に分けようとするとき2枚たりません。このときの数量の関係を、等式で表しなさい。

- ・ 文字を具体的な数に置き換えて考えるなど、文字が表す数量の関係を把握できるようにする必要がある。
- ・ 文字を用いた等式の理解を深めるために、数量の関係を図に表し、式と関連付けて考える活動を取り入れることが有効である。
- ・ 文字に具体的な数を代入し、等式が成り立つかどうかを振り返る活動を意図的に設定することが大切である。

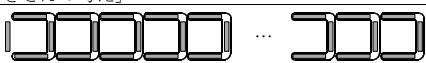
式と図を関連付け、文字を用いて説明する学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(18)】 平均通過率15.5%
(設定通過率60%)

たかゆきさんとあいさんは、正方形を n 個つくるときに使う棒の本数を、 n を用いた式で表す方法を考えました。

~~~~~ (中略) ~~~~~

【たかゆきさんの考え】

図1 

左端にある1本を除いて、棒を3本ずつ囲んでいきます。棒3本のまとまりが  $n$  個できるので、棒の本数は  $3n$  本と表すことができます。囲まなかった左端の1本と合わせて、 $1 + 3n$  という式で表すことができます。

あいさんは、図2のように、たかゆきさんとは異なる囲み方で考え、式をつくった過程を説明しました。【あいさんの考え】が正しくなるように!.....!の中に説明の続きを書きなさい。

【あいさんの考え】

図2 

左端にある4本を除いて、棒を3本ずつ囲んでいきます。

- ・ 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力を養うには、図を基に立式したり、式を読み取って図を囲んだりするなど、式と図を相互に関連付けて考察することが大切である。
- ・ 例えば、本設問のような場面を設定し、正方形を1個、2個、3個、...と増やしながら考察することを通して、文字を用いるよさや式の表し方に気付くことができるようにする。
- ・ 本設問の場面では、図の囲み方によって複数の式による表し方が考えられることから、自分の考えを他者に説明し伝え合う活動を取り入れることが考えられる。数学的に考察する力を高めるためには、本設問のように、他者の考えを読み取り、自分の言葉で説明する活動を取り入れることも有効である。

令和4年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 数学 評価規準と評価の観点

| 学<br>年                          | 領<br>域                              | 内<br>容  | 評<br>価<br>規<br>準                                        | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点                |                                      |
|---------------------------------|-------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------|
|                                 |                                     |         |                                                         |                  | 知<br>識<br>・<br>技<br>能 | 思<br>考<br>・<br>判<br>断<br>・<br>表<br>現 |
| 小<br>学<br>校<br>第<br>6<br>学<br>年 | B<br>図<br>形                         | (4)イ(ア) | ・高さが等しい二つの円柱の体積の関係を、底面積の関係を基に考えることができる。                 | (8)              |                       | ○                                    |
| 中<br>学<br>校<br>第<br>1<br>学<br>年 | A<br>数<br>と<br>式                    | (1)ア※   | ・四則計算の結果の特徴を的確に捉え、数の集合と四則計算の可能性を理解している。                 | (10)             | ○                     |                                      |
|                                 |                                     | (2)ア(ウ) | ・一次式と数の除法の計算ができる。                                       | (1)              | ○                     |                                      |
|                                 |                                     | (3)イ※   | ・具体的な事象における数量の関係を捉え、比例式で表すことができる。                       | (11)             |                       | ○                                    |
|                                 | B<br>図<br>形                         | (1)ア(ア) | ・直線上にない1点を通る垂線を作図することができる。                              | (7)              | ○                     |                                      |
|                                 |                                     | (2)ア(ア) | ・空間における直線と平面の位置関係を理解している。                               | (17)             | ○                     |                                      |
|                                 | C<br>関<br>数                         | (1)ア(エ) | ・反比例の関係を表に表すことができる。                                     | (6)              | ○                     |                                      |
|                                 | D<br>デ<br>ー<br>タ<br>の<br>活<br>用     | (1)ア(ア) | ・データの範囲を求めることができる。                                      | (5)              | ○                     |                                      |
|                                 |                                     | (1)イ(ア) | ・度数折れ線(度数分布多角形)から読み取ることができる資料の傾向について、その理由を考え判断することができる。 | (16)             |                       | ○                                    |
| 中<br>学<br>校<br>第<br>2<br>学<br>年 | A<br>数<br>と<br>式                    | (1)ア(ア) | ・多項式の次数について理解している。                                      | (2)              | ○                     |                                      |
|                                 |                                     |         | ・分数を含む多項式の減法の計算ができる。                                    | (3)              | ○                     |                                      |
|                                 |                                     | (1)ア(エ) | ・等式を目的に応じて変形することができる。                                   | (4)              | ○                     |                                      |
|                                 |                                     | (1)イ(イ) | ・偶数の性質について、文字を使った式を用いて説明することができる。                       | (14)             |                       | ○                                    |
|                                 |                                     |         | ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる。                  | (15)             |                       | ○                                    |
|                                 |                                     | (2)イ(イ) | ・具体的な事象において、数量の関係を捉えて連立方程式をつくることができる。                   | (12)             |                       | ○                                    |
|                                 | C<br>関<br>数                         | (1)ア(ア) | ・一次関数の変化の割合の意味を理解している。                                  | (9)              | ○                     |                                      |
|                                 |                                     |         | ・一次関数のグラフの傾きと切片の意味を理解している。                              | (13)             | ○                     |                                      |
| (1)イ(イ)                         | ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。 | (18)    |                                                         | ○                |                       |                                      |

※の問題は、「内容の取扱い」から出題している。

中学校 2年 数学 小問別通過率と設定通過率

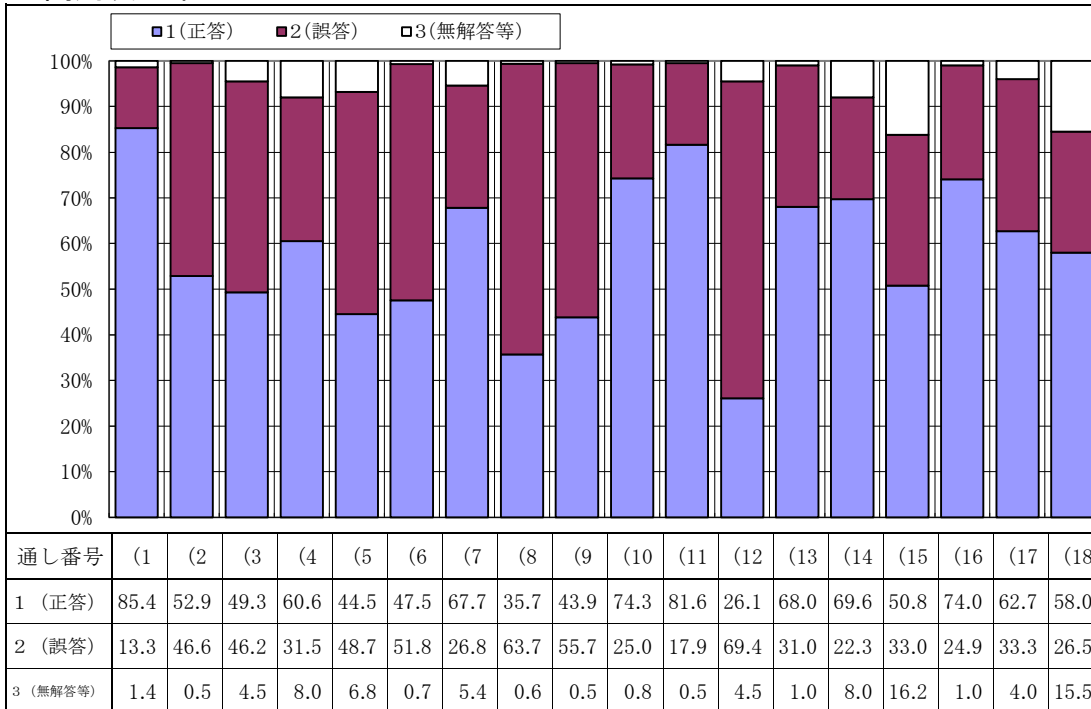
平均通過率 58.5%

| 通し番号 | 出題内容          | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% <span style="float: right;">100%</span> |
|------|---------------|---------|-----------|--------------------------------------------|
| (1)  | 一次式と数の除法の計算   | 85.4    | 80.0      |                                            |
| (2)  | 多項式の次数        | 52.9    | 75.0      |                                            |
| (3)  | 分数を含む多項式の計算   | 49.3    | 65.0      |                                            |
| (4)  | 等式の変形         | 60.6    | 65.0      |                                            |
| (5)  | データの範囲        | 44.5    | 75.0      |                                            |
| (6)  | 反比例の表         | 47.5    | 65.0      |                                            |
| (7)  | 垂線の作図         | 67.7    | 75.0      |                                            |
| (8)  | 円柱の体積         | 35.7    | 75.0      |                                            |
| (9)  | 一次関数の変化の割合    | 43.9    | 70.0      |                                            |
| (10) | 数の集合と四則計算の可能性 | 74.3    | 80.0      |                                            |
| (11) | 比例式           | 81.6    | 75.0      |                                            |
| (12) | 連立方程式の立式      | 26.1    | 65.0      |                                            |
| (13) | 一次関数のグラフ      | 68.0    | 75.0      |                                            |
| (14) | 文字を用いた説明      | 69.6    | 65.0      |                                            |
| (15) | 新たな事柄を見だし説明   | 50.8    | 60.0      |                                            |
| (16) | データの傾向        | 74.0    | 70.0      |                                            |
| (17) | 空間における位置関係    | 62.7    | 70.0      |                                            |
| (18) | 一次関数の利用       | 58.0    | 65.0      |                                            |

※「—」は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 数学

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (110校)

は県平均通過率

| 通し番号     | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%     | 8   | 1   | 1   | 1   | 1   | 2   | 5   | 1   | 1   | 3    | 4    |      | 1    | 5    | 1    | 5    | 1    | 1    |       |
| 90%~100% | 26  |     |     | 2   | 1   |     | 1   | 1   |     | 6    | 13   |      | 1    | 4    |      | 11   |      | 3    |       |
| 80%~90%  | 53  | 3   | 1   | 11  | 4   | 3   | 13  | 1   | 1   | 24   | 53   |      | 7    | 20   | 4    | 17   | 6    | 10   | 2     |
| 70%~80%  | 17  | 6   | 9   | 17  | 5   | 9   | 38  |     | 4   | 41   | 33   | 1    | 33   | 33   | 6    | 42   | 16   | 13   | 6     |
| 60%~70%  | 5   | 21  | 9   | 30  | 8   | 10  | 24  | 2   | 12  | 30   | 6    | 1    | 45   | 27   | 18   | 22   | 43   | 23   | 32    |
| 50%~60%  |     | 37  | 23  | 29  | 13  | 21  | 19  | 11  | 14  | 1    |      | 1    | 14   | 16   | 30   | 10   | 28   | 32   | 58    |
| 40%~50%  |     | 24  | 42  | 13  | 24  | 30  | 8   | 22  | 40  | 3    | 1    | 3    | 6    | 3    | 31   |      | 8    | 12   | 11    |
| 30%~40%  |     | 15  | 16  | 6   | 28  | 20  | 2   | 28  | 26  | 1    |      | 24   |      | 2    | 13   | 2    | 4    | 11   |       |
| 20%~30%  |     | 2   | 6   |     | 20  | 8   |     | 28  | 8   |      |      | 38   |      |      | 5    |      | 1    | 2    | 1     |
| 10%~20%  |     |     |     |     | 4   | 4   |     | 9   | 1   |      |      | 32   | 1    |      | 1    |      |      |      |       |
| 0%~10%   | 1   | 1   | 3   | 1   | 2   | 3   |     | 6   | 2   | 1    |      | 9    | 1    |      | 1    |      | 2    | 2    |       |

# 中学校 2 年 数学 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別 |          | 領 域 別 |    |    |        | 計  |
|--------------|-------|----------|-------|----|----|--------|----|
|              | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 数と式   | 図形 | 関数 | データの活用 |    |
| +10% より高い    | 0     | 0        | 0     | 0  | 0  | 0      | 0  |
| ±10% の範囲内    | 6     | 5        | 6     | 2  | 2  | 1      | 11 |
| -10% より低い    | 5     | 2        | 3     | 1  | 2  | 1      | 7  |
| 計            | 11    | 7        | 9     | 3  | 4  | 2      | 18 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①18問中7問が設定通過率の「-10%より低い」であり、学習内容の定着状況に課題が見られる。
- ②観点別では、「知識・技能」において設定通過率の「-10%より低い」設問が11問中5問あり、課題が見られる。

### (2) 成果

- ①等式を変形することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ②数の性質や問題解決の方法を記述して説明する設問については、全ての設問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ①一次関数の表から変化の割合を読み取ることに、課題が見られる。
- ②連立二元一次方程式を立式することについて、課題が見られる。

## 3 今後の指導

様々な表から  $x$ 、 $y$  の増加量やその割合を調べる活動を通して、一次関数の変化の割合の意味を正しく理解できるようにする。

[参考 通し番号(9)] 平均通過率43.9%  
(設定通過率70%)  
次のア～エの表は、 $y$  が  $x$  の一次関数である関係を表しています。この中から、変化の割合が-2であるものを1つ選んで、その記号を書きなさい。

|   |         |     |     |    |    |    |    |      |     |
|---|---------|-----|-----|----|----|----|----|------|-----|
| ア | $x$ ... | -6  | -4  | -2 | 0  | 2  | 4  | 6    | ... |
|   | $y$ ... | 1.4 | 1.0 | 6  | 2  | -2 | -6 | -1.0 | ... |
| イ | $x$ ... | -6  | -4  | -2 | 0  | 2  | 4  | 6    | ... |
|   | $y$ ... | 7   | 4   | 1  | -2 | -5 | -8 | -1.1 | ... |
| ウ | $x$ ... | -6  | -4  | -2 | 0  | 2  | 4  | 6    | ... |
|   | $y$ ... | 1.0 | 8   | 6  | 4  | 2  | 0  | -2   | ... |
| エ | $x$ ... | -6  | -4  | -2 | 0  | 2  | 4  | 6    | ... |
|   | $y$ ... | 9   | 8   | 7  | 6  | 5  | 4  | 3    | ... |

- 一次関数の変化の割合の意味について、表、式、グラフを関連付けながら理解できるようにする。また、反比例の変化の様子と比較させることで、一次関数のグラフが直線になることや変化の割合が一定になることの理解をより確かなものにするのが期待できる。
- 例えば、 $x$  の値を1ずつ増やした表だけでなく、2ずつ、3ずつ増やした表について  $x$ 、 $y$  の増加量やその割合を調べる活動を取り入れるなどして、一次関数の変化の割合は、 $x$  が1増えたときの  $y$  の増加量で常に一定であることが理解できるようにすることが大切である。

文字を用いた式の意味を読み取る活動の充実を図り、問題の中にある数量やその関係を正しく捉えることができるようにする。

[参考 通し番号(12)] 平均通過率26.1%  
(設定通過率65%)  
ある運動部の昨年の部員数は、男女合わせて40人でした。今年の部員数は、昨年と比べると、男子が20%、女子が12%それぞれ増え、男女合わせて46人になりました。さくらさんは、今年の男子と女子の部員数をそれぞれ何人かを求めるために、昨年の男子の部員数を  $x$  人、女子の部員数を  $y$  人として連立方程式をつくりました。[さくらさんのメモ] が正しくなるように、A にあてはまる数を書きなさい。

[さくらさんのメモ]

昨年の男子の部員数を  $x$  人、女子の部員数を  $y$  人とするとき、

$$\begin{cases} x + y = 40 \\ \frac{20}{100}x + \frac{12}{100}y = \text{A} \end{cases}$$

- 文字が表す数量やその関係を理解できるようにするために、数量やその関係を文字を用いた式に表すだけでなく、式の意味を読み取る活動の充実を図ることが大切である。
- 連立二元一次方程式を用いて、具体的な問題を解決するに当たり、着目する数量（昨年の部員数、今年の部員数、昨年と比較して増減した人数等）によって、様々な方程式が立てられることに気付かせることが大切である。
- 複数の連立二元一次方程式やそれらを用いた解決過程、得られた結果等を比較する場面を設定することで、目的に応じて変数にする値や用いる数量を判断できるようにする。

#### 4 結果と考察 (4)理科

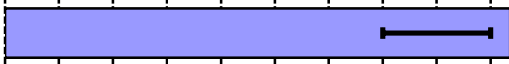







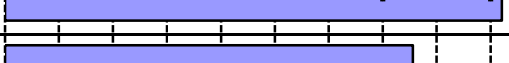
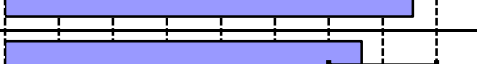

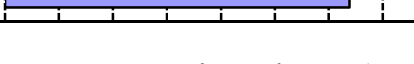
令和4年度秋田県学習状況調査 小学校第4学年 理科 評価規準と評価の観点


| 学<br>年           | 区<br>分 | 内<br>容      | 評<br>価<br>規<br>準                             | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点                |                                      |
|------------------|--------|-------------|----------------------------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------|
|                  |        |             |                                              |                  | 知<br>識<br>・<br>技<br>能 | 思<br>考<br>・<br>判<br>断<br>・<br>表<br>現 |
| 第<br>3<br>学<br>年 | A      | (3)イ        | ・音の大きさが変わるとき、音が出ている物の震え方が変わることを考察し、表現している。   | (2)              |                       | ○                                    |
|                  |        | (4)ア<br>(イ) | ・磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。                | (6)              | ○                     |                                      |
|                  | B      | (1)ア<br>(イ) | ・モンシロチョウの育ち方には、「卵→幼虫→蛹→成虫」という順序があることを理解している。 | (1)              | ○                     |                                      |
|                  |        | (1)イ        | ・植物の育ち方には、一定の順序があることを考察し、表現している。             | (3)              |                       | ○                                    |
|                  |        | (2)ア<br>(ア) | ・方位磁針の操作に関する技能を身に付けている。                      | (4)              | ○                     |                                      |
|                  |        | (2)イ        | ・太陽の位置の変化と地面にできる影の位置の変化を関係付けて考察し、表現している。     | (5)              |                       | ○                                    |
| 第<br>4<br>学<br>年 | A      | (3)イ        | ・電池のつなぎ方とモーターの回転する量や向きを関係付けて考え、表現している。       | (7)              |                       | ○                                    |
|                  | B      | (1)イ        | ・人の体の動きと筋肉の働きを関係付けて考え、表現している。                | (8)              |                       | ○                                    |
|                  |        | (1)ア<br>(イ) | ・関節について理解している。                               | (9)              | ○                     |                                      |
|                  |        | (4)ア<br>(ア) | ・気温の測り方に関する技能を身に付けている。                       | (10)             | ○                     |                                      |
|                  |        | (4)イ        | ・天気と気温の変化を関係付けて考察し、表現している。                   | (11)             |                       | ○                                    |
|                  |        | (5)ア<br>(ア) | ・1日の月の見え方を理解している。                            | (12)             | ○                     |                                      |

・区分欄のAは「物質・エネルギー」を、区分欄のBは「生命・地球」を示している。

小学校 4年 理科 小問別通過率と設定通過率

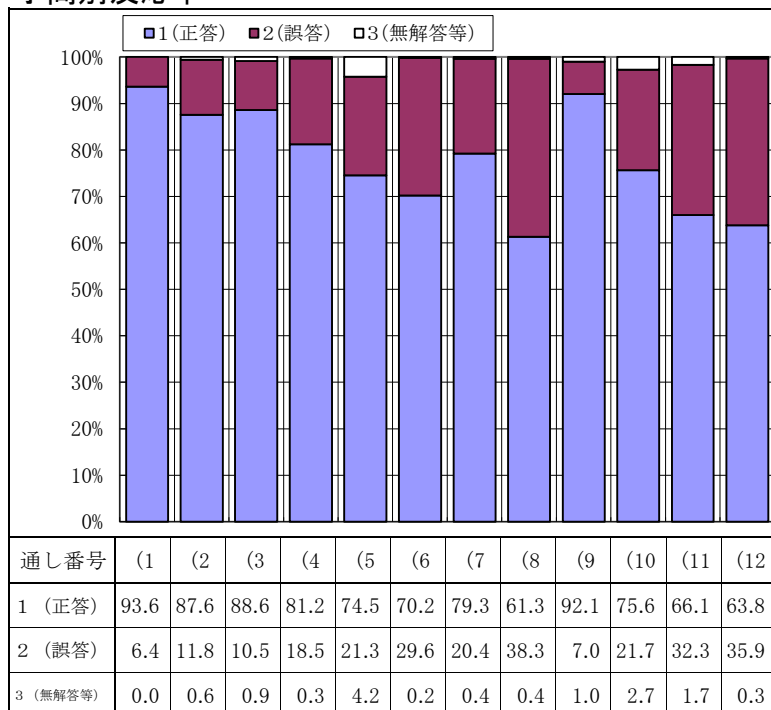
平均通過率 77.8%

| 通し番号 | 出題内容         | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% <span style="float: right;">100%</span>                                           |
|------|--------------|---------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)  | モンシロチョウの育ち方  | 93.6    | 80.0      |    |
| (2)  | 音の大きさと物の震え方  | 87.6    | 70.0      |    |
| (3)  | 植物の成長のきまり    | 88.6    | 70.0      |    |
| (4)  | 方位磁針の使い方     | 81.2    | 90.0      |    |
| (5)  | 地面にできる影の動き方  | 74.5    | 60.0      |    |
| (6)  | 磁石の性質        | 70.2    | 80.0      |    |
| (7)  | 乾電池のつなぎ方と電流  | 79.3    | 70.0      |    |
| (8)  | 人の体の動きと筋肉の働き | 61.3    | 60.0      |   |
| (9)  | 関節の名称        | 92.1    | 80.0      |  |
| (10) | 温度計の使い方      | 75.6    | 80.0      |  |
| (11) | 気温の変化と天気     | 66.1    | 70.0      |  |
| (12) | 月の観察         | 63.8    | 70.0      |  |

※  は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 4年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (178校)

は県平均通過率

| 通し番号     | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-------|
| 100%     | 57  | 36  | 37  | 25  | 12  | 6   | 15  | 7   | 62  | 17   | 12   | 4    | 1     |
| 90%~100% | 94  | 56  | 63  | 32  | 20  | 7   | 29  | 6   | 69  | 18   | 20   | 2    | 12    |
| 80%~90%  | 26  | 61  | 54  | 53  | 51  | 28  | 57  | 13  | 32  | 55   | 44   | 17   | 71    |
| 70%~80%  |     | 19  | 21  | 46  | 42  | 51  | 48  | 30  | 11  | 41   | 21   | 33   | 75    |
| 60%~70%  | 1   | 6   | 1   | 15  | 30  | 63  | 21  | 48  | 2   | 25   | 31   | 59   | 18    |
| 50%~60%  |     |     | 2   | 5   | 17  | 13  | 2   | 50  | 1   | 15   | 21   | 43   | 1     |
| 40%~50%  |     |     |     | 1   | 3   | 6   | 4   | 14  |     | 3    | 17   | 13   |       |
| 30%~40%  |     |     |     | 1   | 2   | 3   | 1   | 7   |     | 1    | 8    | 6    |       |
| 20%~30%  |     |     |     |     | 1   |     | 1   | 2   |     |      | 2    | 1    |       |
| 10%~20%  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |      | 1    |      |       |
| 0%~10%   |     |     |     |     |     | 1   |     | 1   | 1   | 3    | 1    |      |       |



# 小学校4年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別 |          | 内 容 区 分 別 |       | 計  |
|--------------|-------|----------|-----------|-------|----|
|              | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 物質・エネルギー  | 生命・地球 |    |
| +10%より高い     | 2     | 3        | 1         | 4     | 5  |
| ±10%の範囲内     | 4     | 3        | 2         | 5     | 7  |
| -10%より低い     | 0     | 0        | 0         | 0     | 0  |
| 計            | 6     | 6        | 3         | 9     | 12 |

## 2 考察

### (1) 全体について

全ての設問において設定通過率が「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着が図られている。

### (2) 成果

①「思考・判断・表現」に関する設問は通過率の平均が76.2であり、設定通過率よりも9.6ポイント高く、良好な状況である。

②「物質・エネルギー」に関する設問は通過率の平均が79.0であり、設定通過率よりも5.7ポイント高く、「生命・地球」に関する設問は通過率の平均が77.4であり、設定通過率よりも4.1ポイント高く、定着が図られている。

### (3) 課題

①磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解することについて、課題が見られる。

②1日の月の見え方を理解することについて、課題が見られる。

## 3 今後の指導

児童が自然の事物・現象から見いだした問題を基に、日常生活と関係付けて解決する活動の充実を図る。

- 児童が「なぜ?」「どうして?」という気持ちをもてるような事象を提示したり体験的な活動を取り入れたりすることが大切である。
- 通し番号(6)については、例えば、日常生活において、磁石はどのような場面で使われているかをペアやグループ、全体で意見交換させる。その後、「磁石は引き付けられる物」といった磁石に対する素朴な概念から疑問を引き出す体験的な活動を取り入れる。直接体験を通して、違う極同士だと引き合い、同じ極同士だと退け合うことを見だし、表現するなどの活動が考えられる。

**[参考 通し番号(6)]**  
 きよくのわからないぼうじしゃくのNきよくとSきよくをそれぞれ近づけたところ、次のア～エのようになりました。このとき、じしゃくの⑤の部分でNきよくのはどれですか。ア～エから2つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

ア Nきよくを近づけると、しりぞけ合った。

イ Nきよくを近づけると、引き合った。

ウ Sきよくを近づけると、引き合った。

エ Sきよくを近づけると、しりぞけ合った。

問題を解決するまでの道筋を構想し、解決の方法を発想したり、観察した結果を基に表現したりする活動を充実させる。

- 児童同士の関わり合いを通して、予想や仮説、解決の方法の妥当性を検討したり、考察した内容が科学的に妥当かどうかを検討したりする活動が大切である。
- 通し番号(12)については、時間の経過と月の位置や形とを関係付けて考える活動が大切である。例えば、観察の機会を意図的に設定し、観察や記録の技能を習得させた上で、方位や高さ、見える形や向きについて記録した結果を基に話し合う活動が考えられる。また、映像や模型、プラネタリウムなどを活用することも考えられる。

**[参考 通し番号(12)]**  
 みどりさんは、月の見える位置と形を観察しました。図は、10月8日午後3時に観察したときの記録カードです。同日の午後6時に観察して正しくスケッチしたものは、次のア～エのどれですか。1つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

ア

イ

ウ

エ

図

令和4年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 理科 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 区<br>分                                    | 内<br>容         | 評<br>価<br>規<br>準                      | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点                |                                      |
|------------------|-------------------------------------------|----------------|---------------------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------|
|                  |                                           |                |                                       |                  | 知<br>識<br>・<br>技<br>能 | 思<br>考<br>・<br>判<br>断<br>・<br>表<br>現 |
| 第<br>4<br>学<br>年 | B<br>生<br>命<br>・<br>地<br>球                | (2)ア<br>(ア)(イ) | ・季節による動物の活動や植物の成長の様子を理解している。          | (1)              | ○                     |                                      |
|                  |                                           | (5)ア<br>(ウ)    | ・方位磁針の操作に関する技能を身に付けている。               | (2)              | ○                     |                                      |
|                  |                                           | (5)イ           | ・星の集まりの見え方の特徴について考察し、表現している。          | (3)              |                       | ○                                    |
|                  |                                           | (5)ア<br>(イ)    | ・星の明るさの違いを理解している。                     | (4)              | ○                     |                                      |
|                  | A<br>物<br>質<br>・<br>エ<br>ネ<br>ル<br>ギ<br>ー | (2)ア<br>(ア)    | ・金属及び空気の温度による体積の変化を理解している。            | (5)              | ○                     |                                      |
|                  |                                           | (2)イ           | ・金属の温まり方について考え、表現している。                | (6)              |                       | ○                                    |
|                  |                                           | (2)イ           | ・水の温まり方の規則性を考察し、表現している。               | (7)              |                       | ○                                    |
|                  |                                           | (2)イ           | ・水が氷になり始める時間をグラフから読み取り、表現している。        | (8)              |                       | ○                                    |
|                  |                                           | (2)イ           | ・水が氷になるときの体積の変化を考察し、表現している。           | (9)              |                       | ○                                    |
| 第<br>5<br>学<br>年 | B<br>生<br>命<br>・<br>地<br>球                | (1)ア<br>(エ)    | ・実の中に種子ができることを理解している。                 | (10)             | ○                     |                                      |
|                  |                                           | (1)ア<br>(エ)    | ・受粉と結実の関係について、条件を制御して調べる実験の方法を理解している。 | (11)             | ○                     |                                      |
|                  |                                           | (1)ア<br>(エ)    | ・顕微鏡の倍率の求め方を理解している。                   | (12)             | ○                     |                                      |
|                  |                                           | (1)ア<br>(エ)    | ・顕微鏡の操作に関する技能を身に付けている。                | (13)             | ○                     |                                      |
|                  |                                           | (1)ア<br>(ア)    | ・ヨウ素液による色の変化について理解している。               | (14)             | ○                     |                                      |
|                  |                                           | (1)イ           | ・発芽するときの子葉に含まれるでんぷんの役割を考察し、表現している。    | (15)             |                       | ○                                    |
|                  |                                           | (1)イ           | ・植物の成長の条件を確かめるための方法を考え、表現している。        | (16)             |                       | ○                                    |
|                  |                                           | (4)ア<br>(イ)    | ・台風が発生する場所や台風の進路を理解している。              | (17)             | ○                     |                                      |
|                  |                                           | (4)イ           | ・台風の位置と雨の降り方の関係を考え、表現している。            | (18)             |                       | ○                                    |

小学校 5年 理科 小問別通過率と設定通過率

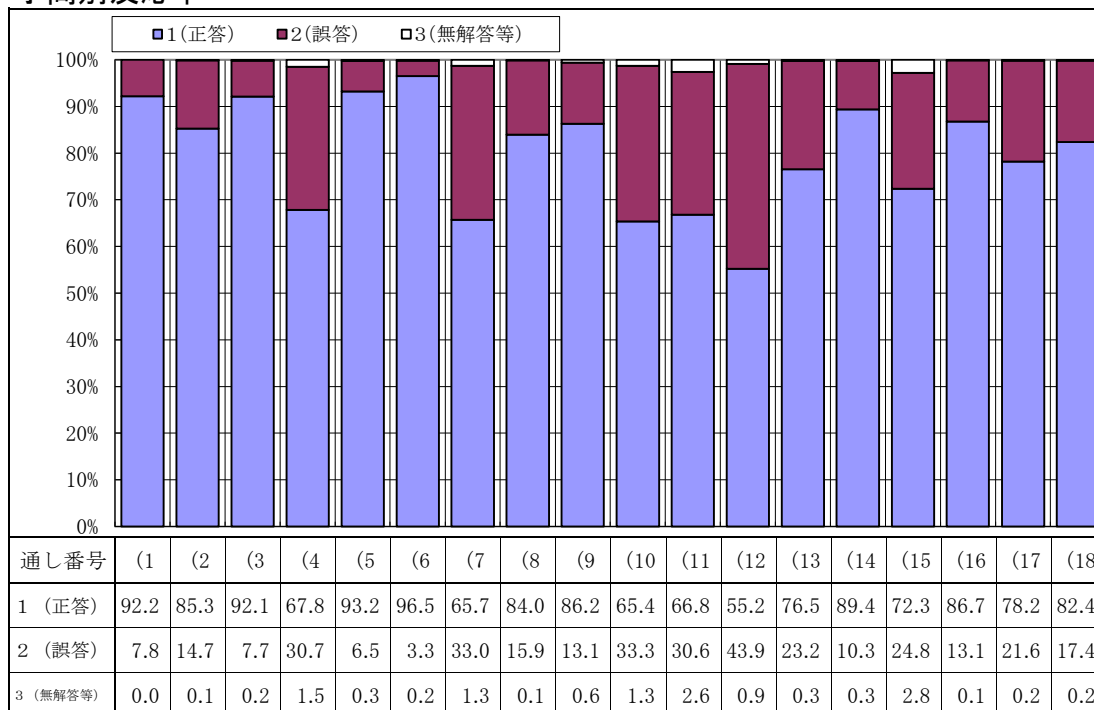
平均通過率 79.8%

| 通し番号 | 出題内容                   | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% <span style="float: right;">100%</span> |
|------|------------------------|---------|-----------|--------------------------------------------|
| (1)  | 季節による動物や植物の様子          | 92.2    | 90.0      |                                            |
| (2)  | 方位磁針の使い方               | 85.3    | 90.0      |                                            |
| (3)  | 星の集まりの見え方              | 92.1    | 70.0      |                                            |
| (4)  | 星の明るさ                  | 67.8    | 70.0      |                                            |
| (5)  | 金属と空気の温度による体積変化        | 93.2    | 90.0      |                                            |
| (6)  | 金属の温まり方の別事象への適用        | 96.5    | 70.0      |                                            |
| (7)  | 水の温まり方                 | 65.7    | 60.0      |                                            |
| (8)  | 水が氷になるときの温度変化          | 84.0    | 60.0      |                                            |
| (9)  | 水が氷になるときの体積変化          | 86.2    | 80.0      |                                            |
| (10) | 種子                     | 65.4    | 70.0      |                                            |
| (11) | 受粉の仕組みについて調べる実験の条件     | 66.8    | 70.0      |                                            |
| (12) | 顕微鏡の倍率の求め方             | 55.2    | 70.0      |                                            |
| (13) | 顕微鏡の見え方を調整する方法         | 76.5    | 80.0      |                                            |
| (14) | でんぷんによるヨウ素液の変化         | 89.4    | 80.0      |                                            |
| (15) | 発芽するときの子葉の役割           | 72.3    | 70.0      |                                            |
| (16) | 植物の成長と日光の関係について調べる実験方法 | 86.7    | 80.0      |                                            |
| (17) | 台風の発生する場所や進路           | 78.2    | 70.0      |                                            |
| (18) | 台風の位置と雨の降り方            | 82.4    | 70.0      |                                            |

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 5年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (177校)

は県平均通過率

| 通し番号     | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%     | 48  | 18  | 50  | 2   | 61  | 83  | 6   | 14  | 21  | 6    | 5    | 2    | 13   | 64   | 11   | 19   | 12   | 12   |       |
| 90%~100% | 80  | 56  | 83  | 12  | 74  | 83  | 10  | 37  | 41  | 9    | 8    | 6    | 23   | 70   | 18   | 63   | 20   | 33   | 10    |
| 80%~90%  | 42  | 65  | 37  | 30  | 37  | 11  | 24  | 80  | 92  | 26   | 38   | 14   | 42   | 22   | 49   | 64   | 55   | 72   | 98    |
| 70%~80%  | 5   | 24  | 5   | 39  | 3   |     | 35  | 34  | 18  | 50   | 40   | 25   | 47   | 13   | 45   | 22   | 55   | 44   | 59    |
| 60%~70%  | 1   | 11  | 2   | 56  | 2   |     | 59  | 9   | 4   | 37   | 46   | 29   | 34   | 2    | 24   | 5    | 25   | 15   | 10    |
| 50%~60%  | 1   | 1   |     | 24  |     |     | 27  | 1   | 1   | 28   | 22   | 36   | 10   | 1    | 10   | 4    | 8    | 1    |       |
| 40%~50%  |     | 1   |     | 12  |     |     | 11  | 2   |     | 15   | 12   | 21   | 1    | 3    | 7    |      | 1    |      |       |
| 30%~40%  |     | 1   |     | 2   |     |     | 4   |     |     | 4    | 4    | 24   | 5    | 1    | 6    |      | 1    |      |       |
| 20%~30%  |     |     |     |     |     |     | 1   |     |     | 2    | 2    | 13   | 2    |      | 3    |      |      |      |       |
| 10%~20%  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |      |      | 4    |      |      | 3    |      |      |      |       |
| 0%~10%   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |      |      | 3    |      | 1    | 1    |      |      |      |       |

# 小学校 5年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別 |          | 内 容 区 分 別 |       | 計  |
|--------------|-------|----------|-----------|-------|----|
|              | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 物質・エネルギー  | 生命・地球 |    |
| +10%より高い     | 0     | 4        | 2         | 2     | 4  |
| ±10%の範囲内     | 9     | 4        | 3         | 10    | 13 |
| -10%より低い     | 1     | 0        | 0         | 1     | 1  |
| 計            | 10    | 8        | 5         | 13    | 18 |

## 2 考察

### (1) 全体について

18問中17問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

類似問題については、通し番号(8「水が氷になるときの温度変化」)に関する設問の通過率が、昨年度と比較し39.6ポイント上昇した。温度変化と物質の状態を関係付けた指導が丁寧に行われていることがうかがえる。

### (3) 課題

- ①水の温まり方の規則性を考察し、表現することについて、課題が見られる。
- ②条件を制御して受粉の仕組みを調べる実験の方法を理解することについて、課題が見られる。

## 3 今後の指導

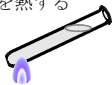


**観察、実験の結果を図や表、グラフにまとめたものに基づいて考察を行い、妥当性を検討し合う活動を充実させる。**

- ・妥当性を検討し合う活動の充実を図るためには、考察の内容が結果から言えるものかを、児童に吟味させることが大切である。また、観察、実験を別の方法で行い、考察させることにより、より妥当な考えをつくりだすことにつながると考えられる。
- ・例えば、水の温まり方について、ビーカーを用いた実験とは別に、通し番号(7)のような試験管を用いた実験の演示をする。試験管はビーカーに比べ、水の対流が起こりにくいため、児童の言葉による結果の表し方は様々となり、考察の内容の妥当性を検討する場面を設定できると考えられる。また、水の温まり方についての規則性を改めて確認させることができると考えられる。

### 【参考 通し番号(7)】

図(略)のように、し温インクをまぜた水を熱し、水のあたまり方について、熱する部分を変えて調べました。表は、それぞれの結果を表しています。表から、水はどの部分からあたたまると考えられますか。「水は、」に続けて、□の中に書きなさい。

表

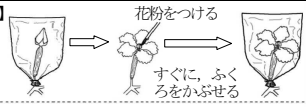
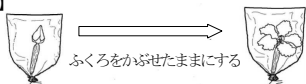
|                                                                                                 |                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| 下の方を熱する<br> | はじめに、上の方の色が変わり、やがて全体の色が変わった。             |
| まん中を熱する<br> | はじめに、上の方の色が変わり、次にまん中が変わった。やがて下の方の色が変わった。 |
| 上の方を熱する<br> | はじめに、上の方の色が変わり、やがてまん中の方の色が変わった。          |

**予想や仮説を基に、条件を制御した観察、実験の方法を立案し、説明する活動を充実させる。**

- ・解決したい問題について、観察、実験を行う際には、変える条件と変えない条件を区別しながら方法を立案する。その際、条件の違いによって結果がどのように変わるのかを具体的に考えたり、結果の違いによって分かることを確認したりして、条件を制御することの必要性を児童が理解することが大切である。
- ・通し番号(11)については、例えば、「ふくろが無くても予想を確かめることができるか」などと問い掛け、児童が条件の制御についての考えを深められるように話合いの場を設定することが考えられる。

### 【参考 通し番号(11)】

(2) 夏子さんが【実験2】でふくろをかぶせたままにしたのはなぜですか。【予想】を確かめる方法として正しくなるように、「めしべ」という言葉を使って□の中に書きなさい。

|                                                                                                                     |                                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【予想】</b><br>ヘチマの実ができるためには、おしべの花粉がめしべの先につく必要があると思う。                                                               | <b>【実験1】</b><br> 花粉をつける<br>すぐに、ふくろをかぶせる |
| <b>【実験2】</b><br> ふくろをかぶせたままにする |                                                                                                                              |

(※実験の説明は一部省略)

令和4年度秋田県学習状況調査 小学校第6学年 理科 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 区<br>分                                      | 内<br>容         | 評<br>価<br>規<br>準                          | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点                |                                      |
|------------------|---------------------------------------------|----------------|-------------------------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------|
|                  |                                             |                |                                           |                  | 知<br>識<br>・<br>技<br>能 | 思<br>考<br>・<br>判<br>断<br>・<br>表<br>現 |
| 第<br>5<br>学<br>年 | A<br>物<br>質<br>・<br>エ<br>ネ<br>ル<br>ギ<br>ー   | (3)ア<br>(ア)    | ・コイルに電流が流れたときの電磁石の極を理解している。               | (3)              | ○                     |                                      |
|                  |                                             | (3)イ           | ・電磁石の強さを調べるための条件の制御について考え、表現している。         | (4)              |                       | ○                                    |
|                  |                                             | (1)イ           | ・一定量の物を溶かすための水の温度や水の量を考え、表現している。          | (5)              |                       | ○                                    |
|                  |                                             | (1)ア<br>(ウ)    | ・ろ過に関する技能を身に付けている。                        | (6)              | ○                     |                                      |
|                  |                                             | (2)イ           | ・振り子が1往復する時間を調べるための条件を考え、表現している。          | (7)              |                       | ○                                    |
|                  |                                             | (2)イ           | ・振り子が1往復する時間と条件を変えた実験の結果を関係付けて考察し、表現している。 | (8)              |                       | ○                                    |
|                  | B<br>生<br>命<br>・<br>地<br>球                  | (3)イ           | ・流れる水の量による土地の変化を実験の結果と関連付けて考察し、表現している。    | (1)              |                       | ○                                    |
|                  |                                             | (3)ア<br>(ア)    | ・流れる水の働きによる堆積を理解している。                     | (2)              | ○                     |                                      |
|                  |                                             | (2)ア<br>(ア)(イ) | ・メダカと人の受精した卵の成長における共通点と差異点を理解している。        | (9)              | ○                     |                                      |
| 第<br>6<br>学<br>年 | A                                           | (1)ア<br>(ア)    | ・気体の捕集に関する技能を身に付けている。                     | (14)             | ○                     |                                      |
|                  |                                             | (1)ア<br>(ア)    | ・酸素には物を燃やす働きがあることを理解している。                 | (15)             | ○                     |                                      |
|                  | B<br>生<br>命<br>・<br>地<br>球                  | (3)ア<br>(イ)    | ・食べ物を通して生物が関わり合って生きていることを理解している。          | (10)             | ○                     |                                      |
|                  |                                             | (1)イ           | ・血液の流れと血液中の二酸化炭素を関係付けて考察し、表現している。         | (11)             |                       | ○                                    |
|                  |                                             | (1)ア<br>(ウ)    | ・心臓の働きを理解している。                            | (12)             | ○                     |                                      |
|                  |                                             | (1)ア<br>(エ)    | ・腎臓の働きを理解している。                            | (13)             | ○                     |                                      |
|                  |                                             | (2)ア<br>(ア)    | ・ヨウ素液による色の変化について理解している。                   | (16)             | ○                     |                                      |
|                  |                                             | (2)ア<br>(ア)    | ・葉の中のでんぷんの存在を調べる方法を理解している。                | (17)             | ○                     |                                      |
| (2)イ             | ・植物の葉の中にデンプンをつくるために必要な条件を実験の結果から見だし、表現している。 | (18)           |                                           | ○                |                       |                                      |

・区分欄の第6学年のAは「物質・エネルギー」を示している。

小学校 6年 理科 小問別通過率と設定通過率

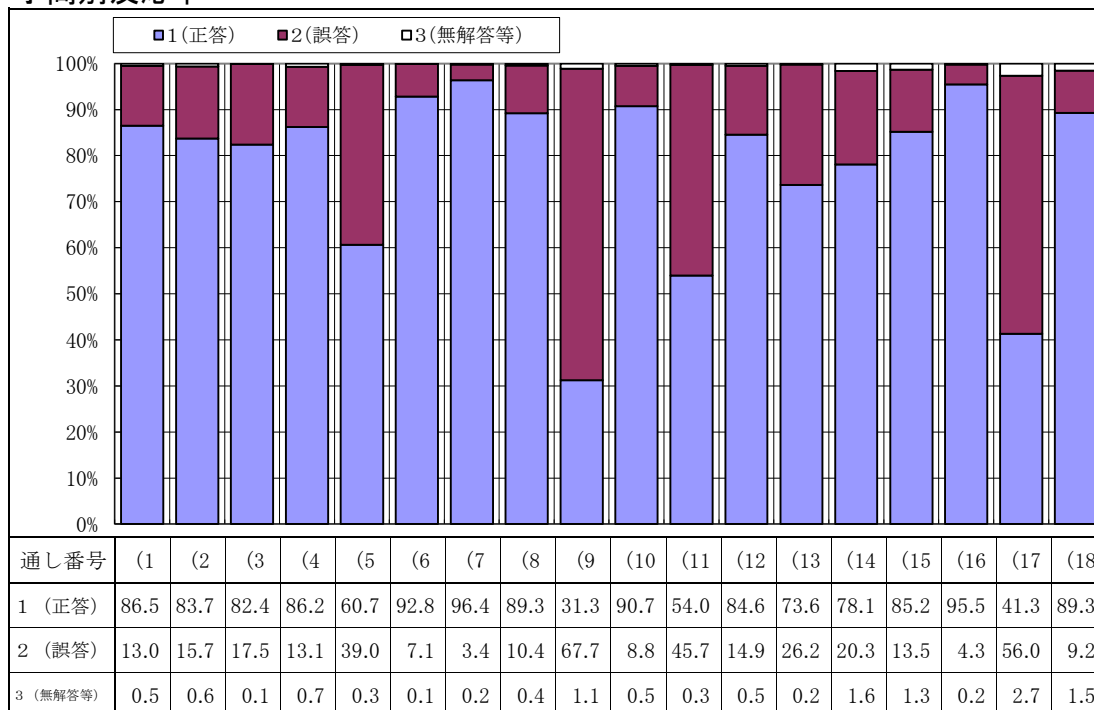
平均通過率 77.9%

| 通し番号 | 出題内容                  | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% <span style="float: right;">100%</span> |
|------|-----------------------|---------|-----------|--------------------------------------------|
| (1)  | 水の量と侵食による土地の変化の関係     | 86.5    | 80.0      |                                            |
| (2)  | 堆積の働き                 | 83.7    | 80.0      |                                            |
| (3)  | 電流の向きによる電磁石の極の変化      | 82.4    | 80.0      |                                            |
| (4)  | 電磁石の強さを調べる実験の条件制御     | 86.2    | 80.0      |                                            |
| (5)  | 一定量の物を溶かすための水の温度と水の量  | 60.7    | 60.0      |                                            |
| (6)  | ろ過器具の適切な操作            | 92.8    | 80.0      |                                            |
| (7)  | 振り子の運動を調べる条件          | 96.4    | 80.0      |                                            |
| (8)  | 振り子が1往復する時間に関する条件     | 89.3    | 70.0      |                                            |
| (9)  | メダカと人の卵の成長における共通点と差異点 | 31.3    | 60.0      |                                            |
| (10) | 食べ物に着目した生物同士の関わり      | 90.7    | 90.0      |                                            |
| (11) | 血液の流れと二酸化炭素の量         | 54.0    | 60.0      |                                            |
| (12) | 心臓の働き                 | 84.6    | 70.0      |                                            |
| (13) | 腎臓の働き                 | 73.6    | 60.0      |                                            |
| (14) | 気体の捕集方法               | 78.1    | 80.0      |                                            |
| (15) | 酸素の働き                 | 85.2    | 80.0      |                                            |
| (16) | でんぷんによるヨウ素液の変化        | 95.5    | 85.0      |                                            |
| (17) | でんぷんの存在を調べる方法         | 41.3    | 60.0      |                                            |
| (18) | 葉の中にでんぷんがつくられる条件      | 89.3    | 70.0      |                                            |

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 6年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (178校)

は県平均通過率

| 通し番号     | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%     | 27  | 29  | 22  | 28  | 2   | 46  | 85  | 39  | 2   | 44   | 3    | 29   | 8    | 26   | 25   | 91   | 2    | 37   |       |
| 90%~100% | 51  | 44  | 41  | 50  | 4   | 90  | 87  | 68  | 2   | 67   | 1    | 45   | 7    | 34   | 52   | 64   |      | 70   | 4     |
| 80%~90%  | 66  | 56  | 63  | 59  | 23  | 35  | 4   | 48  | 7   | 50   | 11   | 62   | 43   | 49   | 67   | 19   | 5    | 59   | 80    |
| 70%~80%  | 28  | 29  | 32  | 34  | 29  | 4   | 2   | 15  | 8   | 13   | 22   | 29   | 65   | 34   | 25   | 4    | 12   | 9    | 79    |
| 60%~70%  | 3   | 15  | 14  | 5   | 52  | 3   |     | 3   | 8   | 2    | 32   | 9    | 36   | 17   | 6    |      | 18   | 3    | 14    |
| 50%~60%  | 2   | 3   | 6   | 1   | 32  |     |     | 4   | 12  | 2    | 53   | 3    | 15   | 10   | 1    |      | 33   |      | 1     |
| 40%~50%  |     | 1   |     |     | 24  |     |     |     | 21  |      | 31   | 1    | 3    | 5    | 1    |      | 28   |      |       |
| 30%~40%  | 1   |     |     |     | 8   |     |     |     | 23  |      | 19   |      | 1    | 1    | 1    |      | 31   |      |       |
| 20%~30%  |     |     |     |     | 2   |     |     |     | 36  |      | 6    |      |      | 2    |      |      | 24   |      |       |
| 10%~20%  |     |     |     |     |     |     |     | 1   | 42  |      |      |      |      |      |      |      | 12   |      |       |
| 0%~10%   |     | 1   |     | 1   | 2   |     |     |     | 17  |      |      |      |      |      |      |      | 13   |      |       |



# 小学校 6年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別 |          | 内 容 区 分 別 |       | 計  |
|--------------|-------|----------|-----------|-------|----|
|              | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 物質・エネルギー  | 生命・地球 |    |
| +10%より高い     | 4     | 3        | 3         | 4     | 7  |
| ±10%の範囲内     | 5     | 4        | 5         | 4     | 9  |
| -10%より低い     | 2     | 0        | 0         | 2     | 2  |
| 計            | 11    | 7        | 8         | 10    | 18 |

## 2 考察

### (1) 全体について

18問中16問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

- ①類似問題については、5問中4問で通過率が上昇し、指導の改善が図られている。特に、通し番号(18「振り子が1往復する時間に関係する条件」)に関する設問の通過率は、昨年度と比べ29.0ポイント上昇した。
- ②「物質・エネルギー」の内容に関する設問は、通過率の平均が83.9で、全設問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着が図られている。

### (3) 課題

- ①メダカと人の受精した卵の成長における共通点や差異点を理解することについて、課題が見られる。
- ②葉の中でんぷんの存在を調べる方法を理解することについて、課題が見られる。

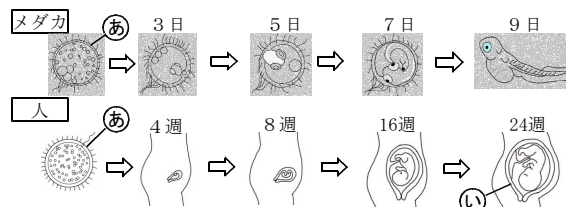
## 3 今後の指導

学習を通じて獲得した知識及び技能を、他の事象と関連付けて考える活動の充実を図る。

- ・科学的な概念を形成させるためには、児童が獲得した様々な知識をつなげられるようにすることが大切である。例えば、「生命」を柱とする領域における内容の系統性を踏まえ、多様性と共通性という見方を児童が働かせながら他の事象と関連付けて考えていくことのできる授業を構想する。
- ・通し番号(9)については、例えば、人の成長を魚の卵の成長と関連付けながら捉えられるように、人とメダカの受精した卵の成長を比較し、共通点と差異点について話し合うことで、直接観察の経験の有無によらずに動物の誕生についての学びを深めることができると考えられる。

### [参考 通し番号(9)]

光さんのノートの<わかったこと>が正しくなるように、㉞と㉟に当てはまる言葉を、□の中にそれぞれ書きなさい。



### <わかったこと>

- ・メダカも人も(㉞)から成長していくところが同じだとわかりました。
- ・人の子どもは、メダカとちがって、母親のおなかの中にある(㉟)の中で長い期間をかけて育ててから生まれてくることわかりました。

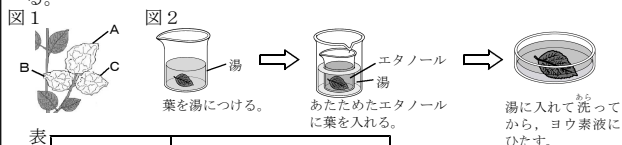
予想や仮説を基に解決の方法を考え、その意図や結果の見通しを表現し合う活動の充実を図る。

- ・問題解決に対する見通しをもたせるためには、根拠のある予想や仮説を発想させ、その予想や仮説を基に解決の方法を考えさせることが大切である。また、観察、実験の方法の意味や予想される結果について表現し、全体で共有することが大切である。
- ・通し番号(17)については、例えば、アルミニウムはくでジャガイモの葉を覆う必要性に気付かせた上で実験の方法を考えさせたり、予想が妥当な場合に、ヨウ素液に浸した葉A～Cはそれぞれどのようになるかをグループや学級全体で発表させたりする活動を取り入れた展開が考えられる。

### [参考 通し番号(17)]

①実験を行う前日の午後に、図1のように大きさが同じくらいの3枚のジャガイモの葉A～Cをそれぞれアルミニウムはくでおおった。

②実験当日の朝、AとBのアルミニウムはくをはずし、すぐにAだけを図2のような方法でヨウ素液にひたした。Bと、アルミニウムはくでおおったCは、そのままじゅうぶんに日光を当てて、午後になってからAと同じように、それぞれヨウ素液にひたした。表は、このときの結果である。



| ジャガイモの葉 | ヨウ素液にひたしたときの变化 |
|---------|----------------|
| A       | 色の变化はなかった      |
| B       | (㉞)色に変化した      |
| C       | 色の变化はなかった      |

(2) 実験当日の朝に葉Aだけを下線部のようにして調べたのはなぜですか。

令和4年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 理科 評価規準と評価の観点

| 学年           | 領域等           | 内容                        | 評価規準                                          | 通し番号 | 観 点   |          |
|--------------|---------------|---------------------------|-----------------------------------------------|------|-------|----------|
|              |               |                           |                                               |      | 知識・技能 | 思考・判断・表現 |
| 小学校第6学年      | A<br>物質・エネルギー | (2)ア<br>(ア)               | ・リトマス紙の使い方に関する技能を身に付けている。                     | (1)  | ○     |          |
|              |               | (2)イ                      | ・うすい塩酸の働きについて、実験の結果を基に考察し、表現している。             | (2)  |       | ○        |
|              |               | (3)イ                      | ・てこを傾ける働きについて、予想を確かめるための条件を考え、表現している。         | (3)  |       | ○        |
|              |               | (3)ア<br>(イ)               | ・てこを利用した道具の支点、力点、作用点の位置関係を理解している。             | (4)  | ○     |          |
|              | B<br>生命・地球    | (4)ア<br>(ウ)               | ・断層について理解している。                                | (5)  | ○     |          |
|              |               | (4)ア<br>(ウ)               | ・地震によって起こる災害を理解している。                          | (6)  | ○     |          |
|              |               | (4)イ                      | ・地層のでき方について、試料で調べた結果を基に考察し、表現している。            | (7)  |       | ○        |
|              | (5)ア<br>(ア)   | ・月の輝いている側に太陽があることを理解している。 | (8)                                           | ○    |       |          |
| 中学校第1学年      | 化学的領域         | (2)ア<br>(ア)㉔              | ・物質の密度を求める方法を理解している。                          | (9)  | ○     |          |
|              |               | (2)ア<br>(ア)㉕              | ・気体の捕集に関する技能を身に付けている。                         | (10) | ○     |          |
|              |               | (2)イ                      | ・硝酸カリウムが全て溶ける温度について、溶解度の表を基に考察し、表現している。       | (11) |       | ○        |
|              |               | (2)イ                      | ・水の温度の変化によって物質の溶ける量が違うことと再結晶を関係付けて考察し、表現している。 | (12) |       | ○        |
|              |               | (2)ア<br>(ア)㉖              | ・ガスバーナーの操作に関する技能を身に付けている。                     | (13) | ○     |          |
|              |               | (2)イ                      | ・状態変化において、体積は変化するが質量は変化しないことを考察し、表現している。      | (14) |       | ○        |
|              | 生物的領域         | (1)イ                      | ・生物を分類するための観点や基準を見だし、表現している。                  | (15) |       | ○        |
|              |               | (1)ア<br>(イ)㉗              | ・両生類の成長と生活場所を理解している。                          | (16) | ○     |          |
| (1)ア<br>(イ)㉘ |               | ・胎生について理解している。            | (17)                                          | ○    |       |          |
| (1)イ         |               | ・動物について特徴を基に分類し、表現している。   | (18)                                          |      | ○     |          |

中学校 1年 理科 小問別通過率と設定通過率

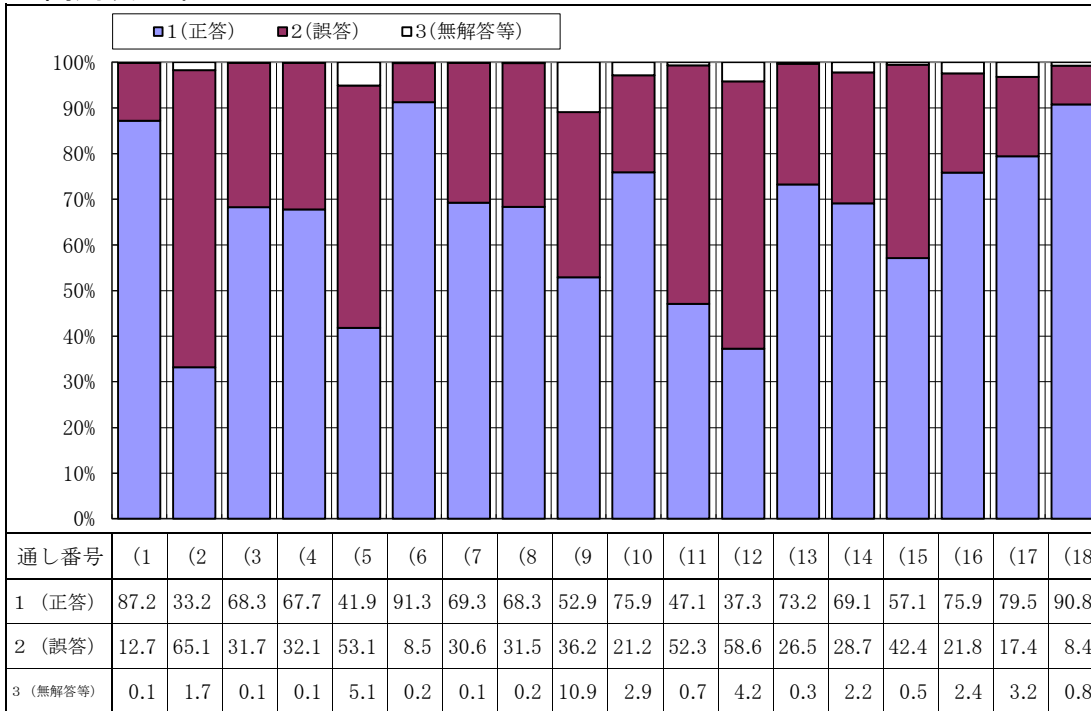
平均通過率 65.9%

| 通し番号 | 出題内容                   | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% <span style="float: right;">100%</span> |
|------|------------------------|---------|-----------|--------------------------------------------|
| (1)  | リトマス紙の使い方              | 87.2    | 80.0      |                                            |
| (2)  | うすい塩酸の働き               | 33.2    | 60.0      |                                            |
| (3)  | てこを傾ける働きについて調べる実験の条件制御 | 68.3    | 70.0      |                                            |
| (4)  | てこを利用した道具              | 67.7    | 60.0      |                                            |
| (5)  | 断層                     | 41.9    | 70.0      |                                            |
| (6)  | 地震による災害                | 91.3    | 80.0      |                                            |
| (7)  | 地層のでき方                 | 69.3    | 70.0      |                                            |
| (8)  | 月の光り方と太陽の位置の関係         | 68.3    | 70.0      |                                            |
| (9)  | 密度の求め方                 | 52.9    | 60.0      |                                            |
| (10) | 気体の捕集方法                | 75.9    | 85.0      |                                            |
| (11) | 硝酸カリウムのとける温度           | 47.1    | 60.0      |                                            |
| (12) | 水の温度と物質のとけ方, 再結晶       | 37.3    | 60.0      |                                            |
| (13) | ガスバーナーの使い方             | 73.2    | 80.0      |                                            |
| (14) | 状態変化と体積・質量             | 69.1    | 70.0      |                                            |
| (15) | 生物を分類するための観点や基準        | 57.1    | 60.0      |                                            |
| (16) | 両生類の成長と生活場所            | 75.9    | 70.0      |                                            |
| (17) | 胎生                     | 79.5    | 80.0      |                                            |
| (18) | 動物の分類                  | 90.8    | 80.0      |                                            |

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (109校)

は県平均通過率

| 通し番号     | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%     | 12  | 1   | 4   | 1   | 1   | 11  | 3   | 5   | 1   | 7    |      | 1    | 4    | 3    | 3    | 9    | 10   | 18   |       |
| 90%~100% | 37  | 5   | 1   | 3   | 2   | 56  | 1   | 3   | 1   | 24   |      |      | 6    | 3    |      | 12   | 20   | 49   |       |
| 80%~90%  | 48  | 2   | 9   | 11  | 1   | 37  | 18  | 20  | 5   | 31   | 5    |      | 33   | 11   | 3    | 31   | 38   | 38   | 7     |
| 70%~80%  | 5   | 1   | 39  | 27  | 6   | 3   | 35  | 29  | 9   | 26   | 4    | 5    | 30   | 37   | 10   | 25   | 20   | 4    | 26    |
| 60%~70%  | 3   | 2   | 35  | 39  | 11  |     | 32  | 24  | 23  | 6    | 14   | 8    | 18   | 33   | 24   | 23   | 15   |      | 53    |
| 50%~60%  | 2   | 3   | 17  | 21  | 12  | 1   | 13  | 15  | 29  | 8    | 20   | 11   | 12   | 17   | 36   | 6    | 6    |      | 21    |
| 40%~50%  |     | 12  | 4   | 3   | 25  |     | 5   | 10  | 19  | 5    | 30   | 22   | 6    | 2    | 23   | 2    |      |      | 1     |
| 30%~40%  | 1   | 25  |     | 1   | 20  |     | 1   | 1   | 11  |      | 18   | 24   |      | 2    | 7    |      |      |      |       |
| 20%~30%  |     | 38  |     |     | 19  |     |     |     | 7   | 1    | 14   | 24   |      |      | 1    |      |      |      | 1     |
| 10%~20%  |     | 14  |     |     | 8   |     |     |     | 1   |      | 1    | 9    |      |      |      |      |      |      |       |
| 0%~10%   | 1   | 6   |     | 3   | 4   | 1   | 1   | 2   | 3   | 1    | 3    | 5    |      | 1    | 2    | 1    |      |      |       |

# 中学校 1 年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 設定通過率の分類  | 観 点 別 |          | 内 容 区 分 別 ・ 領 域 別 |       |    |    | 計  |
|-----------|-------|----------|-------------------|-------|----|----|----|
|           | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 物質・エネルギー          | 生命・地球 | 化学 | 生物 |    |
| +10% より高い | 1     | 1        | 0                 | 1     | 0  | 1  | 2  |
| ±10% の範囲内 | 8     | 4        | 3                 | 2     | 4  | 3  | 12 |
| -10% より低い | 1     | 3        | 1                 | 1     | 2  | 0  | 4  |
| 計         | 10    | 8        | 4                 | 4     | 6  | 4  | 18 |

## 2 考察

### (1) 全体について

18問中14問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

①類似問題については、10問中8問で通過率が上昇している。特に「てこを利用した道具」「硝酸カリウムが溶ける温度」「ガスバーナーの使い方」に関する設問の通過率が昨年度より20ポイント以上上昇し、指導の改善が図られている。

②「生物学的領域」に関する設問は、全ての設問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、昨年度と比べて、通過率の平均が20.8ポイント上昇するなど、指導の改善が図られている。

### (3) 課題

①「断層」のように、観察、実験による直接体験が難しい内容について、実感を伴って理解することについて、課題が見られる。

②「水の温度変化と物質のとけ方、再結晶」のように、観察、実験の結果から見いだしたことを当てはめて考え、表現することについて、課題が見られる。

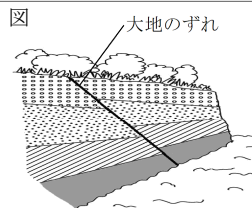
## 3 今後の指導

直接体験が困難な内容について、実感を伴った理解につながる学習活動を工夫する。

- 直接観察、実験をすることが困難なものについては、モデルや模型等を用いたり、映像資料を効果的に活用したりすることで、自然の事物・現象をより具体的に捉えさせ、実感を高めることが大切である。
- 通し番号(5)については、身近に起きた地震等を調べさせることが困難な場合は、例えば、断層が生じたりずれたりする様子をモデルを用いた模擬実験で示すことや、ICT端末で示した写真や映像資料を用いて地震によって生じる現象を説明する活動を取り入れることが考えられる。

[参考 通し番号(5)]

- (1) 優さんは、大地のずれについて調べたことを、次のようにまとめました。<まとめ>が正しくなるように、Xに当てはまる語句を書きなさい。



<まとめ>

このような大地のずれを ( X ) といいます。( X ) が生じたり、くり返しずれたりすると地震が起きます。

観察、実験の結果から見いだしたことを自然の事物・現象と関連付けて解釈し、表現する活動を充実させる。

- 自然の事物・現象が起きた要因を、観察、実験の結果を科学的な根拠として説明する場面を設定する。その際、視点を明確にできるよう発問を吟味することや、生徒の具体的な姿をイメージして問い返しを行うことが大切である。
- 通し番号(12)については、例えば、【実験Ⅰ】～【実験Ⅲ】の結果からそれぞれどのようなことが言えるかを話し合わせ、「水の温度変化と物質の溶ける量の関係」を整理させる。整理した内容を「再結晶」と関連付けながら考察させることで、段階的に思考を深められるよう学習活動を展開していくことが考えられる。

[参考 通し番号(12)]

- (2) (前略) 実験Ⅰ～Ⅲの結果や表をもとに、次のようにまとめました。<わかったこと>が正しくなるように、Xには当てはまる語句を、Yには「溶解度」という語句を用いて当てはまる内容をそれぞれ書きなさい。

| 実験<br>試験管 | 【実験Ⅰ】  | 【実験Ⅱ】  | 【実験Ⅲ】          |
|-----------|--------|--------|----------------|
| A         | とけ残った。 | とけ残った。 | 変化がはっきりしない。    |
| B         | とけ残った。 | 全てとけた。 | 固体の硝酸カリウムが現れた。 |

<わかったこと>

塩化ナトリウムは、硝酸カリウムと比べて、水の温度変化によるとける量の変化が ( X )。また、硝酸カリウムは、水の温度を上げて一度水にとかした後、水の温度を下げていくと再び結晶となって出てくる。このようにして、 Y を利用すると、溶液から溶質を結晶としてとり出すことができる。

令和4年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 理科 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 領<br>域                | 内<br>容                                        | 評<br>価<br>規<br>準                           | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点                |                                      |
|------------------|-----------------------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------|
|                  |                       |                                               |                                            |                  | 知<br>識<br>・<br>技<br>能 | 思<br>考<br>・<br>判<br>断<br>・<br>表<br>現 |
| 第<br>1<br>学<br>年 | 物<br>理<br>的<br>領<br>域 | (1)ア<br>(イ)㊦                                  | ・力の大きさはばねの変形の量で測定できることを理解している。             | (1)              | ○                     |                                      |
|                  |                       | (1)ア<br>(イ)㊦                                  | ・力を矢印を用いて表すことに関する技能を身に付けている。               | (2)              | ○                     |                                      |
|                  |                       | (1)ア<br>(ア)㊧                                  | ・実像と虚像の違いを理解している。                          | (3)              | ○                     |                                      |
|                  |                       | (1)ア<br>(ア)㊦                                  | ・光の反射の道筋を作図することに関する技能を身に付けている。             | (4)              | ○                     |                                      |
|                  | 地<br>学<br>的<br>領<br>域 | (2)ア<br>(ウ)㊦                                  | ・火成岩の組織の違いを成因と関連付けて理解している。                 | (5)              | ○                     |                                      |
|                  |                       | (2)イ                                          | ・火山の形の違いをマグマの性質と関連付けて考察し、表現している。           | (6)              |                       | ○                                    |
|                  |                       | (2)イ                                          | ・地層が傾いている方向について、地形図を柱状図と関連付けて考察し、表現している。   | (7)              |                       | ○                                    |
| 第<br>2<br>学<br>年 | 化<br>学<br>的<br>領<br>域 | (2)ア<br>(ア)㊦                                  | ・物質の密度を求める方法を理解している。                       | (8)              | ○                     |                                      |
|                  |                       | (4)ア<br>(イ)㊦                                  | ・還元の実験に関する技能を身に付けている。                      | (9)              | ○                     |                                      |
|                  |                       | (4)イ                                          | ・酸化銅と炭素の混合物を加熱したときの化学変化をモデルを用いて考え、表現している。  | (10)             |                       | ○                                    |
|                  |                       | (4)ア<br>(イ)㊧                                  | ・酸化と還元は酸素をやりとりする逆向きの反応であることを理解している。        | (11)             | ○                     |                                      |
|                  | 生<br>物<br>的<br>領<br>域 | (3)ア<br>(ア)㊦                                  | ・組織が集まって器官をつくることを理解している。                   | (12)             | ○                     |                                      |
|                  |                       | (3)イ                                          | ・光合成の実験において、葉を入れない試験管を用意した理由を考え、表現している。    | (13)             |                       | ○                                    |
|                  |                       | (3)イ                                          | ・光合成では二酸化炭素が使われることを、実験の結果と関連付けて考察し、表現している。 | (14)             |                       | ○                                    |
| (3)ア<br>(イ)㊦     |                       | ・葉、茎の道管の位置を理解している。                            | (15)                                       | ○                |                       |                                      |
| (3)イ             |                       | ・水は根から吸収され、茎と葉の道管を通ることを実験の結果と関連付けて考察し、表現している。 | (16)                                       |                  | ○                     |                                      |
| (3)ア<br>(ウ)㊦     |                       | ・ベネジクト液を用いて調べる方法に関する技能を身に付けている。               | (17)                                       | ○                |                       |                                      |
|                  | (3)イ                  | ・だ液の働きをヨウ素液やベネジクト液の反応の結果と関連付けて考察し、表現している。     | (18)                                       |                  | ○                     |                                      |

中学校 2年 理科 小問別通過率と設定通過率

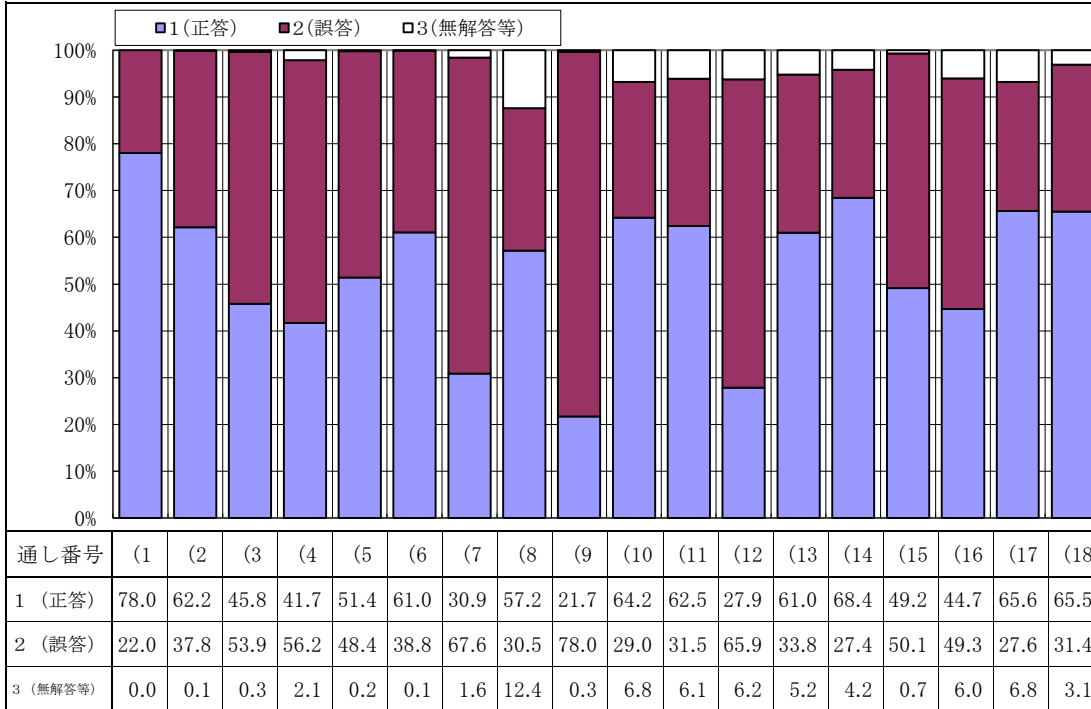
平均通過率 53.3%

| 通し番号 | 出題内容            | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% <span style="float: right;">100%</span> |
|------|-----------------|---------|-----------|--------------------------------------------|
| (1)  | 力の大きさとばねの変形の量   | 78.0    | 80.0      |                                            |
| (2)  | 力の表し方           | 62.2    | 70.0      |                                            |
| (3)  | 実像と虚像のちがい       | 45.8    | 70.0      |                                            |
| (4)  | 反射した光の進み方       | 41.7    | 70.0      |                                            |
| (5)  | 火成岩のでき方のちがい     | 51.4    | 60.0      |                                            |
| (6)  | 火山の形とマグマの性質     | 61.0    | 70.0      |                                            |
| (7)  | 地層の傾き           | 30.9    | 70.0      |                                            |
| (8)  | 密度の求め方          | 57.2    | 65.0      |                                            |
| (9)  | 還元の実験の方法        | 21.7    | 70.0      |                                            |
| (10) | 化学変化のモデルを用いた表し方 | 64.2    | 70.0      |                                            |
| (11) | 酸化と還元           | 62.5    | 70.0      |                                            |
| (12) | 器官              | 27.9    | 70.0      |                                            |
| (13) | 光合成に関する実験方法     | 61.0    | 70.0      |                                            |
| (14) | 光合成と二酸化炭素の関係    | 68.4    | 70.0      |                                            |
| (15) | 茎と葉の道管          | 49.2    | 80.0      |                                            |
| (16) | 道管のつながり         | 44.7    | 70.0      |                                            |
| (17) | 糖の有無を調べる実験の方法   | 65.6    | 70.0      |                                            |
| (18) | 唾液の働き           | 65.5    | 70.0      |                                            |

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (110校)

は県平均通過率

| 通し番号     | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%     | 3   |     | 1   | 2   |     | 2   |     | 2   | 1   | 5    | 3    |      | 2    | 4    |      | 2    | 7    | 1    |       |
| 90%~100% | 5   | 1   | 1   | 3   |     |     |     |     |     | 5    | 3    |      | 3    | 6    |      | 1    | 6    | 9    |       |
| 80%~90%  | 44  | 17  | 2   | 8   | 2   | 2   | 1   | 12  | 1   | 17   | 9    |      | 7    | 18   | 1    | 4    | 10   | 17   |       |
| 70%~80%  | 39  | 15  | 6   | 4   | 6   | 19  | 1   | 14  | 3   | 24   | 20   |      | 17   | 29   | 10   | 10   | 25   | 18   | 6     |
| 60%~70%  | 14  | 33  | 15  | 8   | 17  | 42  | 2   | 19  | 2   | 20   | 29   |      | 22   | 29   | 12   | 13   | 18   | 24   | 19    |
| 50%~60%  | 2   | 24  | 29  | 15  | 32  | 28  | 3   | 35  | 3   | 17   | 28   | 5    | 33   | 12   | 29   | 15   | 22   | 18   | 48    |
| 40%~50%  |     | 8   | 19  | 16  | 27  | 14  | 16  | 15  | 9   | 15   | 11   | 11   | 14   | 6    | 28   | 22   | 9    | 8    | 27    |
| 30%~40%  |     | 8   | 13  | 20  | 17  | 2   | 21  | 6   | 14  | 6    | 4    | 29   | 6    | 5    | 20   | 15   | 6    | 6    | 8     |
| 20%~30%  |     |     | 14  | 15  | 6   |     | 45  | 3   | 16  |      | 1    | 30   | 2    |      | 6    | 20   | 4    | 5    | 1     |
| 10%~20%  |     | 2   | 5   | 13  |     |     | 17  | 1   | 31  |      | 1    | 28   | 1    |      | 2    | 4    | 1    | 1    | 1     |
| 0%~10%   | 3   | 2   | 5   | 6   | 3   | 1   | 4   | 3   | 30  | 1    | 1    | 7    | 3    | 1    | 2    | 4    | 2    | 3    |       |



# 中学校 2年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 設定通過率の分類  | 観 点 別 |          | 領 域 別 |    |    |    | 計  |
|-----------|-------|----------|-------|----|----|----|----|
|           | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 物理    | 地学 | 化学 | 生物 |    |
| +10% より高い | 0     | 0        | 0     | 0  | 0  | 0  | 0  |
| ±10% の範囲内 | 6     | 5        | 2     | 2  | 3  | 4  | 11 |
| -10% より低い | 5     | 2        | 2     | 1  | 1  | 3  | 7  |
| 計         | 11    | 7        | 4     | 3  | 4  | 7  | 18 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①18問中7問が設定通過率の「-10%より低い」であり、改善は見られるものの学習内容の定着状況は十分とは言えない。
- ②「知識・技能」に関する設問では11問中5問が設定通過率の「-10%より低い」であり、課題が見られる。

### (2) 成果

- ①「思考・判断・表現」に関する設問では、7問中5問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、定着が図られている。
- ②類似問題については、10問中5問で通過率が上昇し、昨年度の調査で課題の見られた「力の表し方」や「実像と虚像のちがい」に関する設問では、10ポイント以上上昇し、指導の改善が図られている。

### (3) 課題

- ①光の反射の道筋を作図することに関する技能について、課題が見られる。
- ②葉、茎、根の道管の位置を理解するとともに、道管がつながっていることを実験の結果と関連付けて考察し、表現することに課題が見られる。

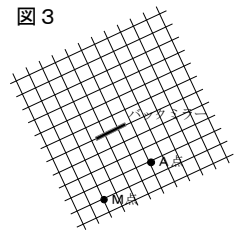
## 3 今後の指導

理科の学習で得た知識及び技能を活用し、自然の事物・現象を総合的に見たり考えたりする活動を充実させる。

- ・自然の事物・現象について、学んだことを当てはめて考えさせたり、説明させたりすることは科学の有用性を実感する上で大切である。
- ・通し番号(4)については、例えば、鏡に映る像を光の反射と関連付けて理解したことを、鏡の角度を変えた場合や鏡を2枚組み合わせ合わせた場合等においても適用できるかを考えさせたり、グループで説明させたりするなどの活動が考えられる。

### [参考 通し番号(4)]

- (1) 図3は、守さんの目の位置をM点、運転手の目の位置をA点として表したものです。運転手から出た光がバックミラーで反射して守さんの目に届くまでの光の道筋を、(例)にしたがって、解答用紙の図3に矢印でかきなさい。ただし、光の道筋を作図するために用いた補助線は、点線にすることとします。

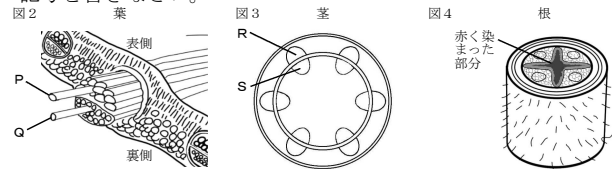


観察、実験の結果などについて分析して、解釈する活動を充実させる。

- ・観察、実験から得られた各グループの結果を基に、全体で傾向を捉えたり現象との関連に気付いたりするためには、結果のデータや記録そのものが整理されていることが求められる。
- ・通し番号(15)(16)については、例えば、植物の体で赤く染まった部分について、グループによって捉え方が違うということがないようにするため、葉の表側と裏側をそろえた上で道管の位置を確認させたり、茎の外側と内側に注目させたりするなどの指導が考えられる。その後、部分と全体の視点で葉、茎、根を道管と関連付けて考察させることで、ねらいとする資質・能力の育成につながると思われる。

### [参考 通し番号(15)、(16)]

- (1) 図2の葉の断面、図3の茎の断面で赤く染まった部分はどこですか。P、Qから1つ、R、Sから1つ、それぞれ選んで、記号を書きなさい。



- (2) 春子さんは、植物の葉、茎、根の内部のつくりについて、次のようにまとめました。<まとめ>が正しくなるようにXに当てはまる内容を書きなさい。

<まとめ>

葉、茎、根のそれぞれの内部に、赤く染まった部分が共通して見られたことから、根から吸収された水の通り道は、と考えられる。

4 結果と考察 (5) 英語

令和4年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 英語 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 領<br>域           | 内<br>容                                           | 評<br>価<br>規<br>準                                | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点                |                                      |
|------------------|------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------|
|                  |                  |                                                  |                                                 |                  | 知<br>識<br>・<br>技<br>能 | 思<br>考<br>・<br>判<br>断<br>・<br>表<br>現 |
| 第<br>1<br>学<br>年 | 聞<br>く<br>こ<br>と | イ<br>(ア)                                         | [正確な聞き取り]<br>・短い英文を聞いて、内容を正確に聞き取ることができる。        | (1               | ○                     |                                      |
|                  |                  | イ<br>(エ)                                         | [適切な聞き取り]<br>・まとまりのある英語を聞いて、要点を適切に聞き取ることができる。   | (2 (3            |                       | ○                                    |
|                  |                  | イ<br>(エ)                                         | [正確な聞き取り]<br>・短い会話を聞いて、内容を正確に聞き取ることができる。        | (4               | ○                     |                                      |
|                  |                  | イ<br>(ウ)                                         | [適切な聞き取り]<br>・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる。       | (5               |                       | ○                                    |
|                  | 読<br>む<br>こ<br>と | ウ<br>(イ)                                         | [正確な読み取り]<br>・書かれた内容について、正確に読み取ることができる。         | (6               | ○                     |                                      |
|                  |                  | ウ<br>(イ)                                         | [適切な読み取り]<br>・書かれた内容について、必要な情報を適切に読み取ることができる。   | (7               |                       | ○                                    |
|                  |                  | ウ<br>(エ)                                         | [正確な読み取り]<br>・書かれた内容について、要点を正しく読み取ることができる。      | (8               | ○                     |                                      |
|                  |                  | ウ<br>(ウ)                                         | [適切な読み取り]<br>・話の流れをつかみながら、文章を適切に読み取ることができる。     | (9 (10           |                       | ○                                    |
|                  | 書<br>く<br>こ<br>と | カ<br>(ウ)                                         | [正確な筆記]<br>・正しい語法や文法を理解し、文脈の中で正確に用いることができる。     | (11 (12          | ○                     |                                      |
|                  |                  | カ<br>(ウ)                                         | [正確な筆記]<br>・与えられた情報を基に、正しく英文を書くことができる。          | (13              | ○                     |                                      |
|                  |                  | カ<br>(ア)                                         | [適切な筆記]<br>・自分のことについて、読み手に伝わるように適切に英文を書くことができる。 | (14              |                       | ○                                    |
|                  |                  | カ<br>(イ)                                         | [適切な筆記]<br>・読み取った内容を基に、適切に英文を書くことができる。          | (15              |                       | ○                                    |
| カ<br>(ウ)         |                  | [正確な筆記]<br>・与えられた語を用いて、会話が成り立つように正しく英文を書くことができる。 | (16 (17                                         | ○                |                       |                                      |
| カ<br>(ウ)         |                  | [正確な筆記]<br>・正しい語順を用いて、文を構成する知識を身に付けている。          | (18                                             | ○                |                       |                                      |

中学校 1 年 英語 小問別通過率と設定通過率

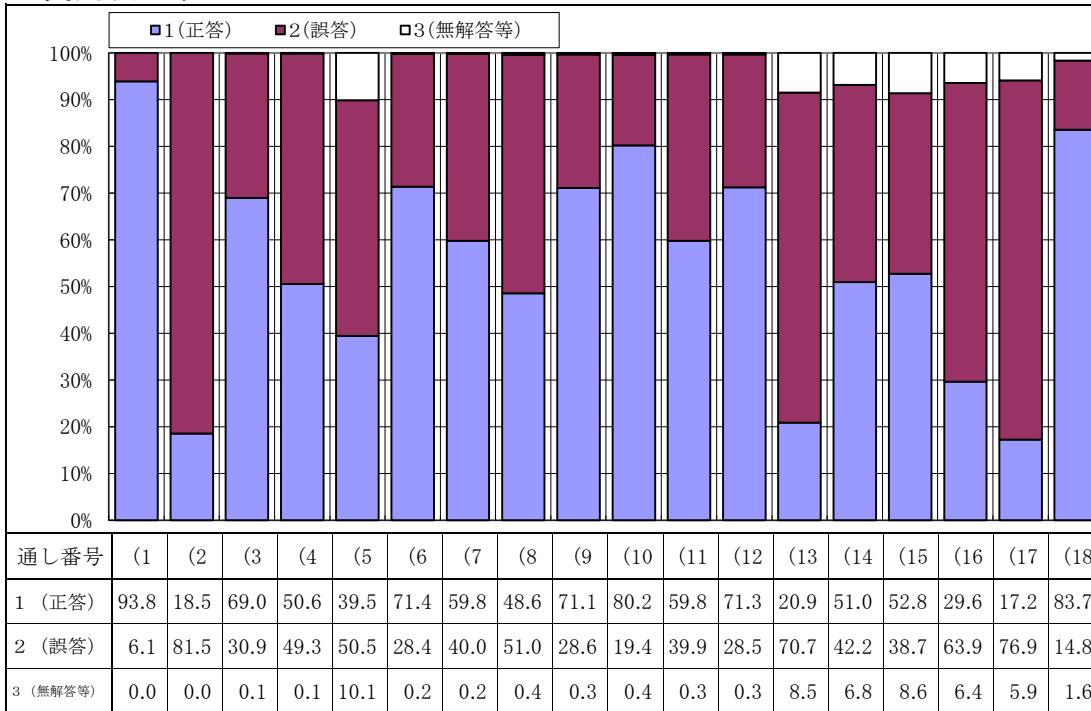
平均通過率 54.9%

| 通し番号 | 出題内容                                        | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% 100% |
|------|---------------------------------------------|---------|-----------|---------|
| (1)  | (聞) 時刻と行動の聞き取り                              | 93.8    | 80.0      |         |
| (2)  | (聞) 昨日体験したことについての聞き取り                       | 18.5    | 70.0      |         |
| (3)  | (聞) 夏祭りで食べたものとその人物についての聞き取り                 | 69.0    | 75.0      |         |
| (4)  | (聞) 対話している人物がするスポーツについての聞き取り                | 50.6    | 70.0      |         |
| (5)  | (聞) 質問の内容 (放課後にすること) に対する適切な応答              | 39.5    | 65.0      |         |
| (6)  | (読) 日課表についての会話の読み取り                         | 71.4    | 75.0      |         |
| (7)  | (読) イベントのパンフレットの内容の読み取りと適切な対応               | 59.8    | 75.0      |         |
| (8)  | (読) アンケートについての会話の読み取り                       | 48.6    | 70.0      |         |
| (9)  | (読) 適切な会話の構成                                | 71.1    | 75.0      |         |
| (10) | (読) 適切な会話の構成                                | 80.2    | 75.0      |         |
| (11) | (書) 正しいbe動詞の選択                              | 59.8    | 65.0      |         |
| (12) | (書) 正しい前置詞の選択                               | 71.3    | 80.0      |         |
| (13) | (書) 与えられた情報に基づく英文の作成                        | 20.9    | 60.0      |         |
| (14) | (書) 得意なこと, 又はできることについての英文の作成                | 51.0    | 60.0      |         |
| (15) | (書) メール文の内容を踏まえた英文の作成                       | 52.8    | 60.0      |         |
| (16) | (書) 与えられた語を用いて, 会話を成り立たせる英文の作成 (canを用いた依頼文) | 29.6    | 70.0      |         |
| (17) | (書) 与えられた語を用いて, 会話を成り立たせる英文の作成 (三単現否定文)     | 17.2    | 65.0      |         |
| (18) | (書) 疑問詞の疑問文 (How ~?) の構造                    | 83.7    | 70.0      |         |

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 英語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (109校)

は県平均通過率

| 通し番号     | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%     | 21  |     | 2   | 2   |     | 4   |     | 2   | 7   | 10   | 4    | 6    |      | 2    | 2    |      |      | 10   |       |
| 90%~100% | 71  |     | 2   |     |     | 2   | 1   | 1   | 2   | 8    | 1    | 3    |      | 1    | 1    |      |      | 29   |       |
| 80%~90%  | 12  |     | 18  | 1   | 5   | 17  | 3   | 4   | 18  | 38   | 7    | 16   |      | 9    | 3    | 1    |      | 39   | 1     |
| 70%~80%  | 4   |     | 36  | 5   | 4   | 39  | 12  | 6   | 36  | 42   | 11   | 45   |      | 10   | 17   |      | 1    | 22   | 5     |
| 60%~70%  |     | 2   | 29  | 15  | 12  | 37  | 30  | 7   | 33  | 6    | 33   | 22   | 3    | 18   | 8    | 2    |      | 6    | 21    |
| 50%~60%  |     |     | 20  | 21  | 10  | 8   | 47  | 28  | 9   | 4    | 30   | 11   | 4    | 20   | 36   | 6    | 1    | 1    | 46    |
| 40%~50%  |     |     | 1   | 36  | 15  | 1   | 13  | 33  | 3   |      | 16   | 3    | 2    | 15   | 25   | 14   | 2    | 1    | 34    |
| 30%~40%  |     | 7   |     | 15  | 23  |     | 1   | 21  | 1   |      | 6    | 1    | 14   | 18   | 8    | 20   | 6    |      | 1     |
| 20%~30%  |     | 30  |     | 8   | 25  |     |     | 6   |     |      | 1    | 1    | 27   | 13   | 8    | 33   | 22   |      |       |
| 10%~20%  |     | 51  |     | 5   | 10  |     |     |     |     |      |      | 1    | 35   |      |      | 21   | 44   |      | 1     |
| 0%~10%   | 1   | 19  | 1   | 1   | 5   | 1   | 2   | 1   |     | 1    |      |      | 24   | 3    | 1    | 12   | 33   | 1    |       |

# 中学校 1 年 英語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別 |          | 領 域 別 |      |      | 計  |
|--------------|-------|----------|-------|------|------|----|
|              | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 聞くこと  | 読むこと | 書くこと |    |
| +10% より高い    | 2     | 0        | 1     | 0    | 1    | 2  |
| ±10% の範囲内    | 3     | 5        | 1     | 3    | 4    | 8  |
| -10% より低い    | 5     | 3        | 3     | 2    | 3    | 8  |
| 計            | 10    | 8        | 5     | 5    | 8    | 18 |

## 2 考察

### (1) 全体について

18問中 2問が設定通過率の「+10%より高い」という結果であるものの、8問が「-10%より低い」という結果であり、学習内容の定着状況は十分とは言えない。

### (2) 成果

①「読むこと」と「書くこと」において、設問の半数以上が「±10%の範囲内」であり、英文から必要な情報を読み取ることと、テーマに応じたまとまりのある英文を書くことについて、指導の成果が見られる。

②昨年度調査と比較すると、必要な情報を正確に聞き取ることや、前述の内容を踏まえて英文を書くことに関する設問において通過率が上昇しており、指導の成果が見られる。

### (3) 課題

①三人称単数現在形を用いた会話文の完成について、課題が見られる。

②コミュニケーションの目的や場面、状況等に応じて、話の概要を聞き取ることや、正しい語法や語順を用いて伝えたい内容を書くことに引き続き課題が見られる。

## 3 今後の指導

既習の語句や基本的な表現などを、意味のある文脈の中でのコミュニケーションを通して繰り返し活用しながら定着を図ることができる言語活動の充実を図る。

- ・小学校で学んだ簡単な語句や基本的な表現などについては、小学校で扱った「場面」や「言語活動」を想起させるとともに、複数の領域を関連付けた言語活動を単元の学習過程に位置付け、語句や表現などを繰り返し活用できるようにする。
- ・帯活動等の工夫により、関心のある事柄についての考えを伝え合ったり、質問にその場で適切に応答したりすることを繰り返し、会話を継続しようとする意識を高める。
- ・言語活動においては具体的な課題を設定するなどし、生徒が目的や相手、言語の使用場面を意識しながらコミュニケーションを行うことができるようにする。

聞いたり読んだりして理解したことについて、コミュニケーションの目的や場面、状況等に応じて、文脈に沿った適切な英語で話したり書いたりする言語活動の充実を図る。

- ・聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや気持ちを話したり書いたりする言語活動を計画的に位置付け、段階的・継続的に指導する。
- ・聞き取ったり読み取ったりした内容を確かめ、設定されたコミュニケーションの目的等を改めて意識付ける場を設けることで、伝える内容を整理したり再構成したりすることができるようにする。
- ・表現が正確であるか、相手に正しく伝わる英文になっているかなどについて確認しながら学び合ったり、教師によるフィードバックを得たりする中間評価の場面を設定する。

### ※指導例：通し番号(2、(13、(17

教科書を活用し、文脈に沿った内容を適切に話したり、コミュニケーションの目的等に応じた内容を正確に書いたりすることができる力の育成を目指す言語活動の例

【Summarizing】教科書の内容を要約し、ペアで伝え合う。

S1: Asami have... a brother.

S2: Yes. He is Takuya. He live.. in the Philippines.

【Retelling】学び合いを通して内容や語句等を修正するなどし、再度伝え合う。

S1: Asami has a brother. He is Takuya.

S2: Yes. He lives in the Philippines and likes Cebu.

S1: He goes to a language school there.

【Writing】伝え合ったことを基に、正確さを意識しながら紹介文を作成し、ICT端末で共有する。

Asami has a brother. He is Takuya and 20 years old.

He goes to a language school and studies English. He likes Cebu and enjoys scuba diving there.

### 【指導のポイント】

- ・会話の場面を的確に理解させる。
- ・話して伝え合う際は、多少の間違いは許容し、会話を継続することに意識を向けるよう促す。
- ・活動途中で振り返ったり、話したことを書いて共有したりして、内容や表現について学び合う場を設定する。
- ・友達との相互評価や教師からのフィードバックなどを基に、内容面・言語面の適切さや正確さに留意しながら内容や表現を再構築するための活動を取り入れる。

令和4年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 英語 評価規準と評価の観点

| 学<br>年           | 領<br>域           | 内<br>容   | 評<br>価<br>規<br>準                                 | 通<br>し<br>番<br>号 | 観<br>点                |                                      |
|------------------|------------------|----------|--------------------------------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------|
|                  |                  |          |                                                  |                  | 知<br>識<br>・<br>技<br>能 | 思<br>考<br>・<br>判<br>断<br>・<br>表<br>現 |
| 第<br>2<br>学<br>年 | 聞<br>く<br>こ<br>と | イ<br>(ア) | [正確な聞き取り]<br>・短い英文を聞いて、内容を正確に聞き取ることができる。         | (1               | ○                     |                                      |
|                  |                  | イ<br>(エ) | [適切な聞き取り]<br>・会話を聞いて、要点を適切に聞き取ることができる。           | (2 (3            |                       | ○                                    |
|                  |                  | イ<br>(ア) | [正確な聞き取り]<br>・まとまりのある英語を聞いて、内容を正確に聞き取ることができる。    | (4 (5            | ○                     |                                      |
|                  |                  | イ<br>(ウ) | [適切な聞き取り]<br>・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる。        | (6               |                       | ○                                    |
|                  | 読<br>む<br>こ<br>と | ウ<br>(イ) | [適切な読み取り]<br>・書かれた内容について、必要な情報を適切に読み取ることができる。    | (7               |                       | ○                                    |
|                  |                  | ウ<br>(ウ) | [適切な読み取り]<br>・話の流れをつかみながら、文章を適切に読み取ることができる。      | (8               |                       | ○                                    |
|                  |                  | ウ<br>(イ) | [正確な読み取り]<br>・書かれた内容について、正確に読み取ることができる。          | (9               | ○                     |                                      |
|                  |                  | ウ<br>(ウ) | [適切な読み取り]<br>・書かれた内容について、概要を適切に読み取ることができる。       | (10              |                       | ○                                    |
|                  |                  | ウ<br>(エ) | [適切な読み取り]<br>・書かれた内容について、要点を適切に読み取ることができる。       | (11              |                       | ○                                    |
|                  | 書<br>く<br>こ<br>と | カ<br>(ウ) | [正確な筆記]<br>・正しい語法や文法を理解し、文脈の中で正確に用いることができる。      | (12 (13          | ○                     |                                      |
|                  |                  | カ<br>(エ) | [適切な筆記]<br>・読み取った内容を基に、適切に英文を書くことができる。           | (14              |                       | ○                                    |
|                  |                  | カ<br>(ア) | [適切な筆記]<br>・自分のことについて、読み手に伝わるように適切に英文を書くことができる。  | (15              |                       | ○                                    |
|                  |                  | カ<br>(ウ) | [正確な筆記]<br>・与えられた語を用いて、会話が成り立つように正しく英文を書くことができる。 | (16 (17          | ○                     |                                      |
|                  |                  | カ<br>(ウ) | [正確な筆記]<br>・正しい語順を用いて、文を構成する知識を身に付けている。          | (18              | ○                     |                                      |

中学校2年 英語 小問別通過率と設定通過率

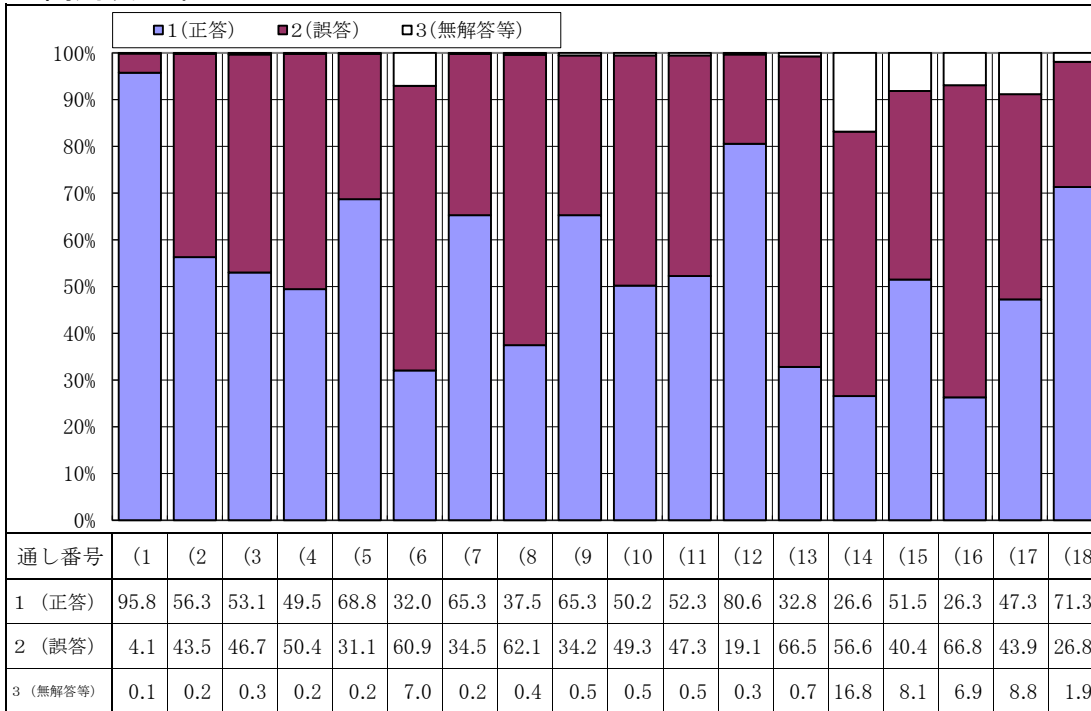
平均通過率 53.5%

| 通し番号 | 出題内容                                            | 通過率 (%) | 設定通過率 (%) | 0% <span style="float: right;">100%</span> |
|------|-------------------------------------------------|---------|-----------|--------------------------------------------|
| (1)  | (聞) 時刻と行動の聞き取り                                  | 95.8    | 90.0      |                                            |
| (2)  | (聞) 清掃ボランティアの活動時間についての聞き取り                      | 56.3    | 65.0      |                                            |
| (3)  | (聞) 友人からの助言の内容についての聞き取り                         | 53.1    | 70.0      |                                            |
| (4)  | (聞) 行動の指示についての聞き取り                              | 49.5    | 70.0      |                                            |
| (5)  | (聞) スピーチの内容の聞き取り                                | 68.8    | 75.0      |                                            |
| (6)  | (聞) 内容に応じた英文(疑問文)の作成                            | 32.0    | 60.0      |                                            |
| (7)  | (読) 買い物についての会話文の読み取り                            | 65.3    | 75.0      |                                            |
| (8)  | (読) 適切な文章の構成                                    | 37.5    | 70.0      |                                            |
| (9)  | (読) ポスターの内容についての読み取り                            | 65.3    | 75.0      |                                            |
| (10) | (読) スピーチの概要についての読み取り                            | 50.2    | 60.0      |                                            |
| (11) | (読) 社会的な話題に関する文の要点の読み取り                         | 52.3    | 70.0      |                                            |
| (12) | (書) 正しい動詞の選択                                    | 80.6    | 75.0      |                                            |
| (13) | (書) 正しい定型表現(誘う表現)の選択                            | 32.8    | 75.0      |                                            |
| (14) | (書) メールの内容を踏まえた英文の作成                            | 26.6    | 60.0      |                                            |
| (15) | (書) 与えられたテーマについて、まとめた英文の作成                      | 51.5    | 60.0      |                                            |
| (16) | (書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成(三単現否定文)           | 26.3    | 70.0      |                                            |
| (17) | (書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成(疑問詞を用いた過去進行形の疑問文) | 47.3    | 65.0      |                                            |
| (18) | (書) enjoy + 動名詞の文の構造                            | 71.3    | 75.0      |                                            |

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 英語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (110校)

は県平均通過率

| 通し番号     | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | 平均通過率 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 100%     | 33  | 1   |     | 1   | 4   | 1   | 1   | 2   | 1   | 1    | 2    | 8    | 1    |      | 4    |      |      | 5    |       |
| 90%~100% | 72  | 2   |     |     | 4   |     | 4   |     | 1   |      |      | 13   |      |      | 1    |      |      | 4    |       |
| 80%~90%  | 4   | 7   | 2   | 2   | 16  | 1   | 6   |     | 5   | 2    | 3    | 44   | 1    | 1    | 10   |      | 3    | 22   | 1     |
| 70%~80%  | 1   | 15  | 6   | 2   | 28  | 2   | 27  |     | 22  | 1    | 3    | 28   |      | 1    | 11   | 1    | 8    | 30   | 3     |
| 60%~70%  |     | 20  | 15  | 17  | 34  | 8   | 34  | 4   | 52  | 16   | 19   | 15   | 4    | 2    | 18   | 1    | 15   | 31   | 18    |
| 50%~60%  |     | 29  | 33  | 38  | 17  | 15  | 27  | 11  | 22  | 37   | 31   | 1    | 4    | 4    | 23   | 4    | 25   | 12   | 51    |
| 40%~50%  |     | 22  | 35  | 33  | 6   | 18  | 6   | 23  | 4   | 33   | 29   |      | 15   | 8    | 17   | 9    | 23   | 4    | 29    |
| 30%~40%  |     | 9   | 12  | 13  |     | 22  | 1   | 45  | 2   | 14   | 20   |      | 28   | 26   | 9    | 21   | 17   | 1    | 6     |
| 20%~30%  |     | 2   | 3   | 1   |     | 16  |     | 19  |     | 3    |      |      | 26   | 32   | 9    | 33   | 11   |      | 1     |
| 10%~20%  |     |     | 2   | 1   |     | 19  | 1   | 4   |     | 1    |      |      | 21   | 24   | 5    | 30   | 5    |      |       |
| 0%~10%   |     | 3   | 2   | 2   | 1   | 8   | 3   | 2   | 1   | 2    | 3    | 1    | 10   | 12   | 3    | 11   | 3    | 1    | 1     |



# 中学校2年 英語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

| 分類<br>設定通過率の | 観 点 別 |          | 領 域 別 |      |      | 計  |
|--------------|-------|----------|-------|------|------|----|
|              | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 聞くこと  | 読むこと | 書くこと |    |
| +10% より高い    | 0     | 0        | 0     | 0    | 0    | 0  |
| ±10% の範囲内    | 5     | 4        | 3     | 3    | 3    | 9  |
| -10% より低い    | 4     | 5        | 3     | 2    | 4    | 9  |
| 計            | 9     | 9        | 6     | 5    | 7    | 18 |

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 18問中9問が設定通過率の「-10%より低い」という結果であり、学習内容の定着状況は十分とは言えない。
- ② 「書くこと」の7問中4問が設定通過率の「-10%より低い」という結果であり、課題が見られる。

### (2) 成果

- ① 英文を聞いたり読んだりして、その内容を正しく理解することに関する設問について、概ね設定通過率の「±10%の範囲内」であり、指導の成果が見られる。
- ② 「読むこと」における必要な情報の適切な読み取りについて、昨年度調査から通過率が大幅に上昇しており、指導の改善が図られている。

### (3) 課題

- ① 「読むこと」において、話の流れをつかみながら、書かれた文章を適切に読み取ることに課題が見られる。
- ② 昨年度調査と同様に、「書き手の状況や意向、疑問を正しく理解し、適切な英文を書いて応じること」において、引き続き課題が見られる。

## 3 今後の指導

言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、知識及び技能と思考力、判断力、表現力等を一体的に育成する指導の充実を図る。

- ・新しい言語材料を学習する際は、自然な場面を設定し、当該言語材料が使用されている英語を聞いたり読んだりすることを通して、その意味や用法への気付きを促す。
- ・使用する言語材料の明示がない中で、自分の考えや気持ちなどを話したり書いたりする活動に繰り返し取り組むことを通して、活用しながら当該言語材料に関する理解を深め、目的や場面、状況等に応じて適切に使用することができるようにする。

聞いたり読んだりして理解したことについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、場面や状況等に応じて、相手に伝わるように話したり、書いたりする言語活動の充実を図る。

- ・聞いたことを基に即興でやり取りすることや、読んだことについて自分の意見を書くことなど、領域間の統合的な言語活動を計画的に位置付け、段階的・継続的に指導する。
- ・聞き取ったり読み取ったりした内容を確かめ、設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況等を改めて意識付ける場を設けることで、自分の考えや気持ちを整理できるようにする。
- ・話したり書いたりした英文を生徒同士が相互に評価し、言語面の正確さや内容面の適切さについて助言し合ったり、教師が適切なフィードバックをしたりする場面を設ける。

### ※指導例：通し番号(14)

書かれた内容を理解した上で、目的や場面、状況等に応じて、伝えるべき内容を整理し、適切な英文を書いて応答する、領域間の統合的な言語活動の例

〈ALTからのメッセージを読み、依頼に応じる〉

My friend will come to Japan from the U.S. He loves Japanese food. Are there any good restaurants in your city?

- ① 読み取った内容を踏まえ、伝える内容を考える。

日本食が好きな友達だから、お寿司屋さんを紹介しよう。「北寿司」ならいろいろなお寿司が食べられるな。



- ② ALTとの対話を想定して、ペアで考えを伝え合う。
- ③ 考えを全体で共有する。

そうか。前に習ったshouldを使うと「行った方がよい」とおすすめできるな。



- ④ ALTへの応答文を書いて互いに読み合い、助言し合う。

これから先のことを伝えるからwillを使うのでは。

お店の場所も伝えたらもっと分かりやすくなりそう。



- ⑤ 学び合いを基に再構築する。

You should go to Kita-zushi. You can enjoy many kinds of sushi there. Your friend will like it. It's near the station.

#### 【指導のポイント】

- ・相互評価や教師のフィードバックを基に、用いる語句や伝える内容について吟味する時間を保障する。
- ・英語の正確さや内容の適切さについて、生徒自身が考えたり修正したりする活動を取り入れる。